

医師法第16条の10の規定に基づく専門研修に関する知事の意見（案）について

参考資料編

1	令和5年8月30日付け 医師法第16条の10の規定に基づく専門研修に関する協議について	P1～
2	令和5年10月23日付け 厚生労働大臣から日本専門医機構への意見及び要請についての回答	P6～
3	令和6年度の専攻医採用と令和7年度の専攻医募集について (令和6年7月19日 令和6年度第1回 医道審議会医師分科会医師専門研修部会 資料1)	P9～
4	日本専門医機構 2025年度プログラム募集シーリング数（案） (令和6年7月19日 令和6年度第1回 医道審議会医師分科会医師専門研修部会 資料2)	P21～
5	シーリングに関する研究の報告 (令和6年7月19日 令和6年度第1回 医道審議会医師分科会医師専門研修部会 資料3)	P35～
6	本県の専門研修の運用状況に関するデータ集	P43～
7	令和7年度（2025年度）専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧	P47～

滋 医 政 第 870 号
令和5年(2023年)8月30日

厚生労働大臣 様

滋賀県知事 三日月 大造
(公印省略)

医師法第16条の10の規定に基づく専門研修に関する協議について

標記のことについて、本県の各プログラムの内容について協議を行った結果、別紙のとおり意見を取りまとめましたので、提出いたします。

滋賀県健康医療福祉部医療政策課
医療人材確保係 長谷
TEL : 077-528-3613
FAX : 077-528-4859
E-mail : ef00070@pref.shiga.lg.jp

国から都道府県への協議に関する意見

都道府県名： 滋賀県

1. 令和6（2024）年度シーリング案に関する意見

- 「医師確保計画」では、国のガイドラインに基づき、産科と小児科は個別の計画を策定することとなっており、相対的に医師が多い地域でも医師確保が必要とされている。このことと整合を図るため、シーリングにより小児科医の確保に支障が出ることがないように、小児科についても産科と同様、シーリング対象外とすべき。
特に本県においては、不登校や発達障害などの心の問題を抱えた児童の増加に伴い、児童・思春期に係る精神外来の待機患者数が増加していることなどから、こどもの「こころの健康」に力を入れて取り組んでおり、子供のこころを専門とする小児科医および精神科医の確保・育成が必要である。
また、本県の年少人口の減少は大変緩やかであり、令和2年（2020年）から令和27年（2045年）の年少人口減少率では、推計で本県19.3%に対して全国26.6%と7.3%の差がみられ、将来の小児科医の医療需要が全国と比べ高くなることが推測されることから、地域の実情を踏まえ、小児科をシーリングの対象外とすること。
- 令和6年度シーリング（案）について、直近2021年から2023年の3か年の採用数を用いて再計算を行うこと。もしくは、各都道府県の判断で、現行の計算方法である2018年から2020年の3か年の採用数と直近3か年の採用数のどちらかを選択できるようにすること。また、再計算を行わない場合は、合理的な理由を説明すること。
- そもそもシーリングの基となる必要医師数については、機械的に算出された数値であり、適切なものとは言えないため、地域の実情等を考慮した適切な都道府県別診療科ごとの将来必要な医師数に基づき実施すべきであることを強く求める。
- 都道府県が日本専門医機構のシーリング案の内容等について検証できるよう、シーリングに係る算定基礎データや改善効果等について、提供いただきたい。

2. 令和7（2025）年度以降に向けて検討中の子育て支援加算に関する意見

- 子育て支援加算については、そもそも各医療機関が当然に子育て支援に取り組むべきものであり、シーリングの趣旨に合わないのではないかと。
- 子育て支援加算を導入するのであれば、各医療機関の規模等に配慮しながら、子育て支援に関する一定の基準を設ける必要があるのではないかと。

3. その他の意見

- 特別地域連携プログラムの定員については、現行シーリングの枠外に設けられているため、都市部等のシーリング対象都道府県の医師が増え、今まで以上に地域偏在が助長されることが懸念されることから、地域偏在と診療科偏在の解消というシーリング本来の趣旨を踏まえて、シーリングの枠内で実施されることが望ましい。
- 連携先について、原則足下充足率が0.7以下である医師不足がより顕著な都道府県とされているが、都道府県内においても地域偏在があることから、地域医療により効果が及ぶよう二次医療圏ごとの足下充足率に基づき設定することとされたい。
- 連携プログラム都道府県限定分の連携先については、足下充足率が0.8以下である医師不足が顕著な都道府県とされているが、都道府県内においても地域偏在があることから、地域医療により効果が及ぶよう二次医療圏ごとの足下充足率に基づき設定することとされたい。
- 地域枠医師等をシーリング枠外とする運用については、従事義務のある都道府県に限り対象となることを各基幹施設に対して周知徹底すること。（令和2年度、県外基幹施設の専門研修プログラム責任者が、地域枠等医師であれば、すべて枠外で採用できるという誤った認識をしていたことで、本県地域枠医師が専門研修を開始できなかった事案があった）
- シーリング対象となった場合の定員調整の主体は関係領域学会とされているが、その調整手法等について必ずしも明確でないため、示していただきたい。
- 専門研修プログラムシステム（各基幹施設が専門研修プログラムの情報を登録し、機構がプログラム情報を一元管理できるシステム）については都道府県が情報閲覧できるようになった部分は評価できるが、未だ情報が不十分であったり正確性を欠くものであるなど課題があるため、地域医療対策協議会の議論に必要な情報については県が独自調査を実施しているところ。早急に改善されたい。
- 都道府県の地域医療対策協議会における議論の前提となる情報については、厚生労働大臣の意見陳述に当たって都道府県知事への意見聴取を義務づけた医師法の趣旨を十分踏まえ、地域医療対策協議会において実のある議論ができるよう、必ず迅速かつ適切な情報提供を行うようにしていただきたい。

特に、以下の項目について、適切な時期に情報提供等を行うこと。

ア 厚生労働大臣の意見に対する日本専門医機構の回答内容

イ 「ア」のうち、「今後検討する」等とした事項についてはその実施状況

令和5年10月23日

厚生労働大臣
武見 敬三 殿

一般社団法人日本専門医機構
理事長 渡辺



厚生労働大臣から日本専門医機構への意見及び要請についての回答

平素は当機構の運営に関し、ご支援及びご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、「令和6年度専門研修プログラム等に対する意見及び要請について」（令和5年10月4日付け厚生労働省発医政1003第4号）で拝受いたしました「医師法第16条の10に基づく厚生労働大臣から一般社団法人日本専門医機構への意見」及び「医師法第16条の11に基づく厚生労働大臣から一般社団法人日本専門医機構への要請」に対しまして、当機構内にて検討させていただきましたので、下記のとおり回答申し上げます。

記

1. 医療提供体制の確保に重大な影響を与える可能性に関すること (医師法第16条の10関係)

○令和6年度専攻医募集におけるシーリング案について

【厚生労働大臣からの意見】

・ 特別地域連携プログラムについて、日本専門医機構及び対象の基本領域学会は、都道府県と協力し、医師少数区域の一覧や、地域医療確保暫定特例水準を予定している施設の一覧等を活用して、連携施設の候補の一覧を作成、公表する等、研修プログラム基幹施設が特別地域連携プログラムの連携先を検討、設定しやすいように配慮すること。

【回答】

特別地域連携プログラムの連携先となる施設について、足下充足率が0.7以下（小児科については0.8以下）の都道府県のうち、連携先の条件に含まれる医師少数区域（なお、小児科については小児科医師偏在指標に基づく相対的医師少数区域）に関して、

- ・ 令和6年度については、既に貴省のホームページにて公開されております医師少数区域の一覧を参照し、基本領域毎に、足下充足率が0.7以下（小児科については0.8以下）の都道府県の医師少数区域の一覧を作成し、令和5年10月20日迄に公表いたします。
- ・ 令和7年度以降に向けては、連携施設の候補の一覧を作成する方法を検討して

まいります。

加えて、宿日直許可の取得やタスクシフト／シェア等の取組を行ってもなお、令和6年4月時点における時間外・休日労働時間数が年通算1,860時間超となる見込みの医師がいる医療機関・診療科については、連携先の候補と考えられるので、基本領域学会、都道府県に協力いただきながら、連携施設候補一覧を令和5年10月20日迄に作成、公表することにより、設置を検討されているプログラムにおいて、連携先を検討しやすくするよう対応してまいります。

【厚生労働大臣からの意見】

・ 特別地域連携プログラムにおいては、連携施設での医療提供体制の確保の観点から、必要に応じて、日本専門医機構及び対象の基本領域学会が研修プログラム基幹施設及び連携施設と調整し、当該施設で毎年、専攻医が途切れることなく研修できるよう配慮すること。

【回答】

継続的な医療提供体制の観点から、基本領域学会とも相談し、当該施設が毎年専攻医が途切れることなく当該プログラムの運用ができる仕組みを検討してまいります。令和6年度については、当座の対応として、令和5年度の特別地域連携プログラムの連携先施設一覧を診療科別に作成し、10月20日までにプログラム責任者にて閲覧できるように致します。

【厚生労働大臣からの意見】

・ 日本専門医機構及び対象の基本領域学会は、特別地域連携プログラムに認定された連携先施設において1年以上の研修が実際に行われているか、定期的に確認を行い、適切に特別地域連携プログラムを運用すること。

【回答】

特別地域連携プログラムで採用された専攻医が、実際に認定された連携先の施設にて1年以上、適切に研修がされているかを研修管理システムにて毎年確認し、適切に運用がされていないプログラムがあった場合には改善を要請・確認するなど、特別地域連携プログラムを適切に運用してまいります。なお、プログラム名や連携先施設の情報等を含む確認結果については、個人の医師を特定できない形で、求めに応じて、連携先施設が所在する都道府県に報告いたします。

1. 研修機会の確保に関すること (医師法第 16 条の 11 関係)

○子育て支援加算について

【厚生労働大臣からの要請】

- ・ 子育て支援については、原則全ての研修施設が検討すべきことであることから、各研修施設の基本的な施設要件とすること等を適切に検討すること。
- ・ その際、研修施設の規模や地域によって、子育て支援サービスの提供のし易さや方法が異なることから、規模の小さい研修施設や医師不足地域にも配慮すること。

【回答】

ご指摘の通り、子育て支援については研修施設の規模や医師の充足度などにより支援可能な方法が異なるため、すべての研修施設に一律の基本的な施設要件を設定することは困難です。各施設の状況に配慮した施設要件となるように検討いたします。一方、研修施設要件として設定する基準よりも充実した支援策が可能な施設に対しては、基本的な施設要件に加えて、子育て支援の促進策を検討してまいります。

【厚生労働大臣からの要請】

- ・ 子育て支援の対象者については、子育て中の医師だけでなく、妊娠中の医師や子育てを支える医師等も含めて検討すること。例えば、休暇を取得する場合や時短勤務を行う場合には、周りの医師の理解やサポートを得られる体制を構築する方法についても併せて検討すること。

【回答】

子育て支援の対象者には妊娠中の医師も含まれております。また、妊娠・子育て中の医師を支える医師等を対象とした支援策・体制整備などについても検討いたします。

【厚生労働大臣からの要請】

- ・ 仮にシーリングに関連して子育て支援を検討する場合には、シーリング対象都道府県の各研修施設における子育て支援の取組状況に応じて研修施設間で定員数を移動する等、既存のシーリングの枠内での調整とし、地域偏在を助長しない方法での支援を検討すること。

【回答】

子育て支援加算は、きわめて充実した子育て支援が可能な施設に対する促進策と考えております。地域偏在を助長しないよう、引き続き加算方法など検討いたします。

令和6年度の専攻医採用と 令和7年度の専攻医募集について

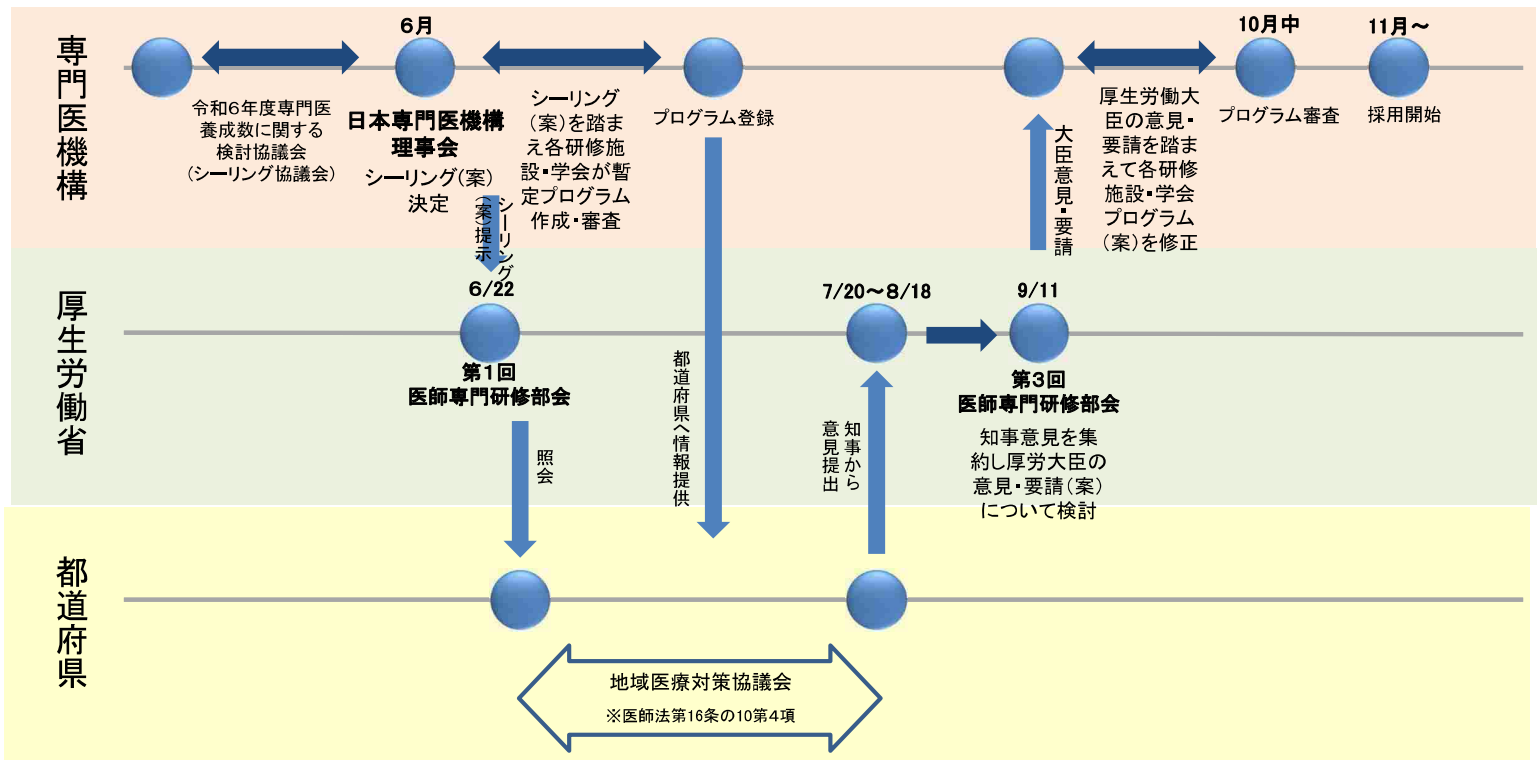
1

1. 令和6年度の専攻医採用結果について

2

令和6年度専門研修プログラムの募集スケジュール

令和5年



令和6年度専門研修プログラムシーリングについて

【令和6年度のシーリングの実施状況について】

- シーリングの効果検証については、医師専門研修部会よりその必要性の指摘を受けたことを踏まえて、令和5年度に検証を開始することとしたため、シーリング数についても、拙速に更新するのではなく、同検証の結果を踏まえて検討すべきとの考えより、プログラムのシーリング数については、令和5年度と同数とした。
- <特別地域連携プログラム> 研修プログラム基幹施設が、特別地域連携プログラムの連携先を検討し、設定しやすいように、都道府県と協力し、連携先の施設の候補一覧を作成、公表する予定とした。
- <子育て支援> 厚生労働大臣からの意見を踏まえて、今後の重要課題として日本専門医機構の将来構想検討委員会で引き続き検討していくこととした。具体的には、主な意見として、子育て支援は原則全ての研修施設が検討すべきことであることから、各研修施設の基本的な施設要件とすること等を検討すること、また仮にシーリングに関連して子育て支援を検討する場合は、地域偏在を助長しない方法での支援を検討することとした。
- 令和6年度の専攻医は、全てのシーリング対象の都道府県・診療科において、シーリング数内で採用された。

令和6年度専攻医採用におけるシーリング

	シーリング対象 の診療科数	内科	小児科	皮膚科	精神科	整形外科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	形成外科	リハビリ テーション科
北海道	1											20+3+[6]		
青森県	0													
岩手県	0													
宮城県	0													
秋田県	0													
山形県	0													
福島県	0													
茨城県	0													
栃木県	0													
群馬県	0													
埼玉県	0													
千葉県	0													
東京都	12	398+123+[52]	98+19+[11]	54+18+[11]	74+12+[14]+(5)	104+13+[9]	52+16+[6]	44+11+[3]		41+7+[6]	36+7+[5]	75+15+[11]	30+10+[6]	16+4+[15]
神奈川県	1			14+1+[1]										
新潟県	0													
富山県	0													
石川県	2				9+0+[2]	10+0+[1]								
福井県	0													
山梨県	0													
長野県	0													
岐阜県	0													
静岡県	0													
愛知県	1							16+1+[1]						
三重県	0													
滋賀県	1		7+0+[0]											
京都府	9	62+18+[8]	9+0+[2]	8+2+[2]		16+1+[1]	14+3+[2]	8+2+[1]	19+0+[0]		14+0+[0]	11+2+[4]		
大阪府	8	200+10+[21]				41+2+[4]	22+4+[5]	17+2+[1]	18+1+[0]		14+3+[2]	30+2+[6]	15+2+[2]	
兵庫県	4			13+0+[0]			12+1+[0]	14+0+[0]					13+0+[2]	
奈良県	0													
和歌山県	2	20+3+[2]				9+0+[1]								
鳥取県	1	15+1+[2]												
島根県	0													
岡山県	5	55+7+[6]	14+0+[0]		10+1+[2]					9+0+[0]	14+3+[6]			
広島県	0													
山口県	0													
徳島県	1	16+4+[2]												
香川県	0													
愛媛県	0													
高知県	0													
福岡県	8	118+29+[15]		11+1+[0]	17+5+[3]+(1)	33+10+[3]	11+0+[2]			15+0+[2]	20+4+[4]	7+0+[2]		
佐賀県	1				8+0+[1]									
長崎県	4	33+4+[4]	9+0+[0]			7+0+[0]					6+0+[0]			
熊本県	3	33+0+[3]			11+0+[2]	8+0+[1]								
大分県	0													
宮崎県	0													
鹿児島県	0													
沖縄県	2				7+0+[1]							8+0+[0]		

※都道府県の各診療科の数値は通常募集プログラム数+連携プログラム数+【特別地域連携プログラム数】(精神科のみ:精神保健指定医連携枠)

5

専攻医採用実績数 都道府県別一覧表

令和6年3月28日時点 確定値

都道府県	H30年 (2018)	R1年 (2019)	R2年 (2020)	R3年 (2021)	R4年 (2022)	R5年 (2023)	R6年 (2024)	都道府県	H30年 (2018)	R1年 (2019)	R2年 (2020)	R3年 (2021)	R4年 (2022)	R5年 (2023)	R6年 (2024)
1 北海道	296	317	305	303	342	296	298	25 滋賀県	90	89	87	94	113	96	115
2 青森県	61	72	68	72	71	67	79	26 京都府	284	269	260	283	295	272	262
3 岩手県	62	65	71	77	74	80	54	27 大阪府	649	652	683	669	684	676	733
4 宮城県	159	142	172	144	181	170	192	28 兵庫県	338	381	454	452	478	490	499
5 秋田県	60	49	55	55	47	52	48	29 奈良県	103	97	115	104	122	116	126
6 山形県	55	66	57	55	54	54	60	30 和歌山県	72	67	90	67	89	79	83
7 福島県	86	76	87	106	86	79	104	31 鳥取県	45	55	53	45	48	43	50
8 茨城県	130	142	134	151	138	154	154	32 島根県	37	44	46	61	28	40	57
9 栃木県	120	121	122	130	147	149	124	33 岡山県	215	221	243	221	244	221	207
10 群馬県	79	78	84	105	103	102	99	34 広島県	148	141	145	144	155	161	159
11 埼玉県	228	256	343	317	381	366	378	35 山口県	45	46	59	61	55	58	62
12 千葉県	267	332	381	388	395	397	410	36 徳島県	60	65	48	52	41	38	44
13 東京都	1,824	1,770	1,783	1,748	1,749	1,832	1,791	37 香川県	48	59	37	53	48	40	47
14 神奈川県	497	516	546	607	639	665	652	38 愛媛県	88	65	85	74	72	57	64
15 新潟県	100	95	123	99	109	90	101	39 高知県	50	36	44	60	58	55	49
16 富山県	54	53	52	51	50	50	45	40 福岡県	450	444	424	451	470	434	475
17 石川県	109	122	113	118	131	97	86	41 佐賀県	58	53	53	59	61	50	48
18 福井県	39	50	57	45	44	53	51	42 長崎県	84	111	87	95	102	90	85
19 山梨県	37	57	53	66	58	58	58	43 熊本県	104	122	113	111	89	111	101
20 長野県	112	109	124	103	121	111	100	44 大分県	64	61	58	63	80	74	69
21 岐阜県	98	85	111	113	105	92	115	45 宮崎県	37	52	45	56	54	64	46
22 静岡県	114	150	173	181	171	154	204	46 鹿児島県	94	107	105	118	102	92	84
23 愛知県	450	476	520	552	571	612	585	47 沖縄県	108	85	112	115	102	99	113
24 三重県	102	94	102	89	91	89	88	計	8,410	8,615	9,082	9,183	9,448	9,325	9,454

※青いセルは医師少数県、黄色いセルは医師多数県(令和6年度医師確保計画に用いられる医師偏在指標に基づく)

専攻医採用実績数 診療科別一覧表

令和6年3月28日時点 確定値

診療科		平成30年 (2018年) 採用実績	平成31年 (2019年) 採用実績	令和2年 (2020年) 採用実績	令和3年 (2021年) 採用実績	令和4年 (2022年) 採用実績	令和5年 (2023年) 採用実績	令和6年 (2024年) 採用実績
1	内科	2,670	2,794	2,923	2,977	2,915	2,855	2,850
2	小児科	573	548	565	546	551	526	532
3	皮膚科	271	321	304	303	326	348	297
4	精神科	441	465	517	551	571	562	570
5	外科	805	826	829	904	846	835	807
6	整形外科	552	514	671	623	644	651	739
7	産婦人科	441	437	476	475	517	481	482
8	眼科	328	334	344	329	343	310	331
9	耳鼻咽喉科	267	282	266	217	256	203	206
10	泌尿器科	274	255	323	312	310	338	343
11	脳神経外科	224	252	247	255	237	217	219
12	放射線科	260	234	247	268	299	341	343
13	麻酔科	495	489	455	463	494	466	486
14	病理	114	118	102	95	99	93	90
15	臨床検査	6	19	14	21	22	36	18
16	救急科	267	286	279	325	370	408	472
17	形成外科	163	193	215	209	253	234	226
18	リハビリテーション科	75	69	83	104	145	136	153
19	総合診療	184	179	222	206	250	285	290
	計	8,410	8,615	9,082	9,183	9,448	9,325	9,454

※黄緑色のセルはシーリング対象の診療科

令和6年度専攻医募集 都道府県診療科別一覧表 ①

令和6年3月28日時点 確定値

診療科	1 北海道		2 青森県		3 岩手県		4 宮城県		5 秋田県		6 山形県		7 福島県		8 茨城県		9 栃木県		10 群馬県		11 埼玉県		12 千葉県	
	2023年採用数	2024年シーリング数	2023年採用数	2024年シーリング数	2023年採用数	2024年シーリング数	2023年採用数	2024年シーリング数	2023年採用数	2024年シーリング数	2023年採用数	2024年シーリング数	2023年採用数	2024年シーリング数	2023年採用数	2024年シーリング数	2023年採用数	2024年シーリング数	2023年採用数	2024年シーリング数	2023年採用数	2024年シーリング数	2023年採用数	2024年シーリング数
内科	70	74	23	15	33	20	64	58	14	24	20	16	24	24	55	50	45	38	25	23	95	111	127	109
小児科	15	15	3	5	3	2	8	5	2	2	2	1	3	5	6	11	12	10	9	10	33	26	19	19
皮膚科	11	14	1	4	5	2	2	2	1	0	0	2	1	5	4	5	3	3	2	11	7	8	9	9
精神科	15	10	3	3	5	3	8	6	2	3	3	5	8	13	9	8	15	13	11	12	28	32	21	20
外科	23	27	6	9	6	5	13	23	4	2	3	10	9	8	15	14	10	6	9	8	34	22	29	25
整形外科	27	23	6	4	5	5	9	12	4	4	5	5	6	11	12	12	9	3	2	8	21	32	33	49
産婦人科	19	20	1	2	3	2	9	12	4	0	4	4	2	4	7	8	7	7	5	4	18	32	9	13
眼科	9	10	6	3	1	0	9	8	1	1	1	3	3	3	4	3	2	2	2	2	5	11	18	17
耳鼻咽喉科	12	6	1	2	1	2	2	7	1	2	2	0	1	4	0	3	1	3	2	1	7	6	5	7
泌尿器科	9	14	1	8	6	2	5	9	2	4	0	3	3	5	7	6	7	6	7	2	7	10	17	18
脳神経外科	8	10	0	2	2	1	5	4	4	0	4	1	1	5	2	3	3	3	4	2	9	9	11	7
放射線科	11	10	2	5	0	1	9	11	1	1	3	1	4	2	6	4	3	5	5	7	23	12(1)	26	18
麻酔科	16	29(3)[6]	18[1]	3	2	4	2	14	10	3	2	3	6	5	2	7	5	2	1	5	20	27	24	18
病理	9	3	0	1	0	0	1	1	2	0	0	0	0	1	3	2	2	1	1	1	1	3	4	3
臨床検査	3	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	1	0	0	0
救急科	13	14	3	5	0	1	4	11	3	0	2	3	3	7	4	4	6	9	8	7	17	15	19	37
形成外科	10	5	2	0	1	4	3	1	0	0	3	2	1	1	3	5	7	6	3	2	11	14	12	12
リハビリ科	4	3	0	2	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	5	2	0	2	1	0	8	11	3	12
総合診療科	12	20	6	7	5	2	2	6	2	1	0	3	3	5	9	8	7	5	2	3	8	9	12	17
計	296	298[1]	87	79	80	54	170	192	52	48	54	60	79	104	154	154	149	124	102	99	366	378(1)	397	410

診療科	13 東京都			14 神奈川県			15 新潟県			16 富山県			17 石川県			18 福井県			19 山梨県			20 長野県			21 岐阜県			22 静岡県			23 愛知県		
	2023年採用数	2024年シーリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シーリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シーリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シーリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シーリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シーリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シーリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シーリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シーリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シーリング数	2024年採用数			
内科	337(180)	573(123)[52]	623(106)[19]	216		200	28	27	16	18	32	33	21	14	21	16	35	23	34	43	45	62	168	172									
小児科	125(8)[8]	128(19)[11]	110(19)[3][4]	33		34	6	8	4	2	2	1	3	4	2	5	8	4	7	8	12	11	33	27									
皮膚科	70(7)	83(18)[11]	73(18)	18(1)	18(1)[1]	13(1)	2	1	1	2	6	2	2	2	1	2	4	5	3	4	5	39	16										
精神科	190(11)[9]	105(12)[14][6]	88(11)[7][2][1]	44		50	2	6	4	2	7[2]	11[2]	8[2]	6	4	3	7	7	8	3	4	11	8	28	31								
外科	176		164	68		39	10	8	5	4	13	7	3	5	4	4	6	10	9	11	11	22	40	45									
整形外科	113(7)	126(13)[9]	119(11)	31		52	9	11	3	2	7[1]	11[1]	8	2	0	7	4	5	9	5	9	12	17	52	64								
産婦人科	143		134	29		24	6	4	0	0	4	2	4	2	2	2	7	6	5	5	6	7	37	24									
眼科	68(10)	74(18)[6]	68(15)	24		20	2	5	2	0	2	2	2	1	3	4	1	2	6	3	2	7	24	27									
耳鼻咽喉科	55(7)	58(11)[3]	48(4)	7		13	5	5	1	1	3	0	1	0	4	0	3	3	2	3	2	5	18(1)[1]	16									
泌尿器科	72		70	15		20	2	0	2	2	1	2	2	4	5	3	4	4	3	1	8	4	28	14									
脳神経外科	43(2)	54(7)[6]	41(1)	9		17	2	2	0	0	4	3	2	1	0	0	3	0	0	2	2	1	15	25									
放射線科	48(7)[5]	48(7)[5]	50(7)[5]	31		21(1)	2	5	3	1	6	3	0	2	2	2	1	3	2	3	7	12	22	27(1)									
麻酔科	75(1)[1]	101(15)[11]	78(1)[1]	48		52	4	5	0	3	3	5	0	2	0	2	5	5	2	7	7	9	37	27									
病理	18[2]		22	7		3	1	0	0	0	2	2	0	0	1	0	0	1	2	4	5	3	6	6									
臨床検査	6		4	1		1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	4	1	0	1	0	1	0									
救急科	76		85	47		44	5	6	3	4	2	2	2	2	1	2	7	4	3	5	6	8	12	17									
形成外科	42(4)[2]	46(10)[6]	41(10)	19		25	3	2	3	4	3	1	0	2	1	1	2	2	0	2	5	6	15	10									
リハビリ科	24(3)[3]	35(4)[15]	23(4)[1]	6		10	2	2	0	0	0	0	0	2	0	1	2	2	0	0	7	9	11	13									
総合診療科	41		39[1]	16		14	1	4	3	0	0	1	2	3	0	3	11	7	4	4	2	6	32	24									
計	1832(180)	47[1][1][5]	1791(207)[95]	665(1)		652(2)	80	101	50	45	97[3]	86[2]	53	51	58	58	111	100	92	115	154	204	612	585(1)									

※ 内訳については、()内は連携プログラム数、[]内は特別地域連携プログラム数、<>内は精神保健指定医連携枠の数。 ※ []内は採用数のうちシーリング対象外で確保した地域医師等の数 ※ 2024年シーリング数および採用数の内訳が0の場合、非表示とする。

令和6年度専攻医募集 都道府県診療科別一覧表 ②

令和6年3月28日時点 確定値

	24 三重県		25 滋賀県		26 京都府		27 大阪府		28 兵庫県		29 奈良県		30 和歌山県		31 鳥取県		32 島根県		33 岡山県		34 広島県		35 山口県						
	2023年採用数	2024年シリーング数	2023年採用数	2024年シリーング数	2023年採用数	2024年シリーング数	2023年採用数	2024年シリーング数	2023年採用数	2024年シリーング数	2023年採用数	2024年シリーング数	2023年採用数	2024年シリーング数	2023年採用数	2024年シリーング数	2023年採用数	2024年シリーング数	2023年採用数	2024年シリーング数	2023年採用数	2024年シリーング数	2023年採用数	2024年シリーング数					
内科	38	27	43	38	78(16)	88(18)[3]	78(10)	216(9)[3]	231(10)[2]	211(8)[2]	182	187[1]	43	41	24[4]	25(3)[2]	26[6]	11[1]	18(1)[2]	14[2]	7	22	50[2]	68(7)[6]	58(2)[4]	45	51	10	14
小児科	2	6	2	7	6	10[1]	11[2]	8	49	49	33	29	6	7	3	5	3	3	0	4	12[1]	14	9[1]	5	7	4	5		
皮膚科	3	1	4	4	11	12(2)[2]	10(2)	41	34	14	13	13	6	3	5	4	2	2	2	3	6	0	4	6	5	0			
精神科	1	4	4	6	13	14	47	52	19	22	13	9	4	11	10	3	4	2	9	13(1)[2]	11(1)	6	6	1	4				
外科	13	9	6	9	23	19	70	88	42	25	5	6	8	1	6	2	1	28	29	12	11	5	8						
整形外科	5	3	7	5	18(1)[1]	18(1)[1]	44(1)[2]	47(2)[4]	43(1)[1]	40	48	6	14	5	10[1]	1	2	4	3	0	23	15	15	12	7	5			
産婦人科	4	4	4	3	11	15	30	53	18	15	2	11	4	3	3	3	1	1	1	8	5	7	6	4	3				
眼科	6	4	5	6	14	19(3)[2]	18(3)	25(3)	31(4)[5]	28(4)	12	13(1)	11	2	6	0	3	1	2	2	2	5	7	4	7	1	2		
耳鼻咽喉科	2	1	0	2	8	11(2)[1]	6	15	20(2)[1]	7	5	14	11	0	0	3	4	1	2	0	5	10	2	5	4	2			
泌尿器科	2	5	3	5	13	19	13	22(1)	19(1)	22(1)	15	12	6	5	3	4	2	1	4	3	8	9	10	6	1	4			
脳神経外科	2	2	0	0	3	8	16	22	11	12	3	0	1	0	0	2	1	0	5	5	5	1	3	1					
放射線科	3	7	3	3	15[1]	14	15	19(3)[2]	15(1)	13	23	5	9	3	3	1	0	2	3	9	9	9	6	5	4	4			
麻酔科	3	7	3	12	11	17(2)[4]	11	23	38(2)[6]	31	24	38	1	2	6	4	3	2	4	1	18(3)[1]	23(3)[6]	10	13	8	2	2		
病理	0	0	1	1	4	2	6	5	6	4	1	0	1	1	0	1	1	0	1	5	2	0	0	0	0				
臨床検査	0	1	0	0	3	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0			
救急科	3	2	1	11	14	7	29	38	20	19	4	3	4	2	1	3	3	4	12	11	8	7	2	4					
形成外科	0	1	2	0	9	9	15	19(2)[2]	17(1)	12	15[2]	12	2	3	3	2	1	2	0	2	10	3	3	4	0	0			
リハビリ科	1	1	1	0	5	5	8	8	12	10	1	1	2	0	0	0	0	5	5	8	10	1	1						
総合診療科	1	3	7	4	11	7	3	12	10	8	10	7	2	2	1	0	5	9	6	5	6	6	4	3					
計	89	88	96	115	272(17)[3]	262	676(14)[22]	733(16)[5]	490	498	116	126	79[4]	83[6]	43[1]	50[2]	40	57	221(3)[1][3]	207(3)[5]	161	159	58	82					

	36 徳島県		37 香川県		38 愛媛県		39 高知県		40 福岡県		41 佐賀県		42 長崎県		43 熊本県		44 大分県		45 宮崎県		46 鹿児島県		47 沖縄県					
	2023年採用数	2024年シリーング数	2023年採用数	2024年シリーング数	2023年採用数	2024年シリーング数	2023年採用数	2024年シリーング数	2023年採用数	2024年シリーング数	2023年採用数	2024年シリーング数	2023年採用数	2024年シリーング数	2023年採用数	2024年シリーング数	2023年採用数	2024年シリーング数	2023年採用数	2024年シリーング数	2023年採用数	2024年シリーング数	2023年採用数	2024年シリーング数				
内科	9[3]	22(4)[2]	15[6]	13	15	11	22	14	11	148(27)	162(29)[15]	153(28)[3]	13	19	32[1]	41(40)[4]	34[1]	30[8]	36[3]	34[6]	23	28	23	14	25	26	24	19
小児科	0	2	2	4	6	6	3	12	3	12	28	2	0	5[2]	9	3	2	6	4	0	3	4	4	5	4	8		
皮膚科	2	1	1	2	0	6	3	4	10	12(1)	14(1)	4	1	4	2	6	2	3	5	2	1	5	2	1	0			
精神科	2	3	6	5	4	2	5	3	25(2)[2]	28(3)[1]	25(4)[2]	10[1]	9[1]	9	4	4	12	13[2]	5[1]	5	4	3	3	5	1	7[1]	8[1]	7
外科	3	3	1	2	3	5	8	2	47	43	5	0	9	11	10	14	5	7	6	4	14	8	5	12				
整形外科	1	6	3	1	5	3	5	6	41(8)[1]	46(10)[3]	43(8)[1]	2	4	3[2]	7	4[2]	1	9[1]	8	9	3	3	6	7	9	11	15	
産婦人科	2	0	3	3	6	1	1	0	20	34	2	2	4	3	6	6	0	0	4	1	1	1	3	5	2			
眼科	0	0	0	4	2	3	2	2	14[2]	13[2]	11	0	1	3	2	5	4	1	1	3	0	5	5	1	2			
耳鼻咽喉科	2	0	0	0	2	3	0	1	8	6	1	2	5	1	3	0	1	2	0	0	1	2	2	1				
泌尿器科	0	1	0	1	2	2	0	2	12	15	0	0	4	5	6	3	2	3	3	4	4	6	3	1				
脳神経外科	2	3	1	3	1	0	1	5	18	11	0	1	3	0	3	0	0	1	1	0	3	3	1	0				
放射線科	0	4	2	2	7	4	3	2	16[1]	17[2]	16[1]	3	2	1	0	6	3	3	3	0	1	1	2	5				
麻酔科	5	1	4	3	5	4	2	3	20[1]	28(4)[4]	20	6	3	4[1]	6	5[1]	3	2	6	4	1	3	2	5	8	8	8	
病理	2	1	0	0	0	0	1	0	4	4	0	2	0	2	1	0	1	1	1	0	0	0	1	3				
臨床検査	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0				
救急科	5	3	0	0	1	1	6	3	13	27[1]	0	1	2	3	8	7	4	4	2	3	8	4	12	13				
形成外科	2	1	3	1	0	0	0	0	7	9[2]	7[1]	1	0	2	2	3	4	5	2	1	0	1	2	3	4			
リハビリ科	0	0	0	1	1	0	1	1	6	4	0	0	1	1	3	2	0	2	1	2	2	0	3					
総合診療科	1	0	1	0	1	1	0	1	14[2]	14	1	1	1	3	3	1	1	1	3	1	4	0	9	10				
計	38[3]	44[6]	40	47	57	64	55	49	434(37)[5][4]	475(41)[4][5]	50[1]	48	90[6]	85[4]	111[8]	101[7]	74	89	64	46	92	84	99[1]	113				

※内訳について、()内は連携プログラム数、[]内は特別地域連携プログラム数、<>内は精神保健指定医連携枠の数。 ※ []内は採用数のうちシリーング対象外で採用となった地域連携医師等の数 ※2024年シリーング数および採用数の内訳が101の場合、非表示とする。

特別地域連携プログラム採用実績

令和6年3月28日時点 確定値

診療科	令和5年(2023年)採用実績	令和6年(2024年)採用実績
1 内科	21(1)	21
2 小児科	8	3
3 皮膚科	0	0
4 精神科	15(1)	9
5 外科	0	0
6 整形外科	2	2
7 産婦人科	0	0
8 眼科	2	0
9 耳鼻咽喉科	0	0
10 泌尿器科	0	0
11 脳神経外科	0	0
12 放射線科	6	6
13 麻酔科	1(1)	0
14 病理	0	0
15 臨床検査	0	0
16 救急科	0	0
17 形成外科	2	0
18 リハビリテーション科	3	1
19 総合診療	0	0
計	60(3)	42(0)

※()内は特別地域連携枠で採用された専攻医のうち、連携先が年通算の時間外・休日労働時間が1860時間を超える医師等が所属する施設であることを理由に認められたもの

※黄緑色のセルはシリーング対象の診療科

	内科 ※	足下充足率	小児科 ※	足下充足率	精神科	足下充足率	整形外科	足下充足率	放射線科	足下充足率	リハビリテーション科	足下充足率	総計
山形県	2	0.70/0.66											2
福島県	1	0.71/0.69											1
茨城県	9	0.68/0.70			2	0.62/0.69			5	0.53/0.53			16
栃木県					1	0.65/0.72							1
埼玉県	6	0.69/0.70	2	0.74/0.78			2	0.69/0.70	1	0.50/0.56	1	0.65/0.68	12 ※
千葉県			3	0.76/0.77									3 ※
新潟県	4	0.72/0.70			6	0.68/0.67							10 ※
総計	22 (21)		5 (3)		9		2		6		1		45 (42)

足下充足率:2016年/2018年

※内科、小児科は複数県で研修する専攻医が含まれるため、延べ人数を示す。

()内は実人数

令和6年度専攻医採用のまとめ

【シーリングの効果について】

- 都道府県別の効果については、医師多数の大都市圏の医師数が減少し、その周辺県で増加している例を認めるが、必ずしも全国全ての医師少数県における専攻医数の増加には至っていない。
- 令和5年度厚生労働科学特別研究において、シーリングの効果検証を実施しており、当該研究結果を踏まえて、改めてシーリングの在り方の検討が必要。

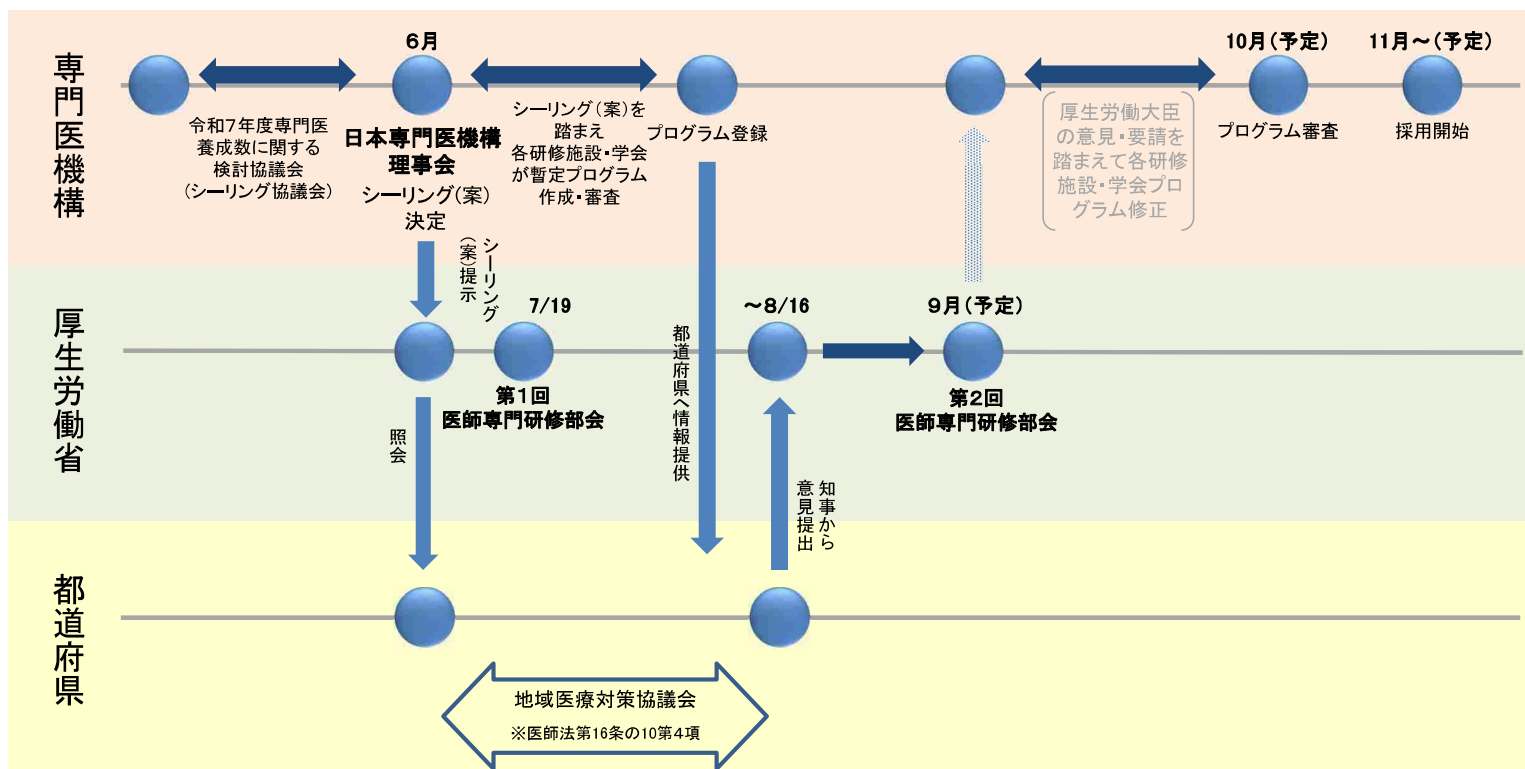
【特別地域連携プログラムについて】

- 令和5年度から導入しており、令和5年度は60名、令和6年度は42名の採用があった。
- 令和6年度採用の専攻医における連携先は、都道府県別では茨城県が最多の16名、診療科別では内科が最多の21名、次いで精神科9名、放射線科6名の採用があった。
- 専攻医の期間に医師少数地域で地域医療を経験できる貴重なプログラムであり、来年度も専攻医の積極的な応募を期待したい。

2. 令和7年度の専攻医募集について

令和7年度専門研修プログラム募集のスケジュール(案)

令和6年



シーリング数について(案)

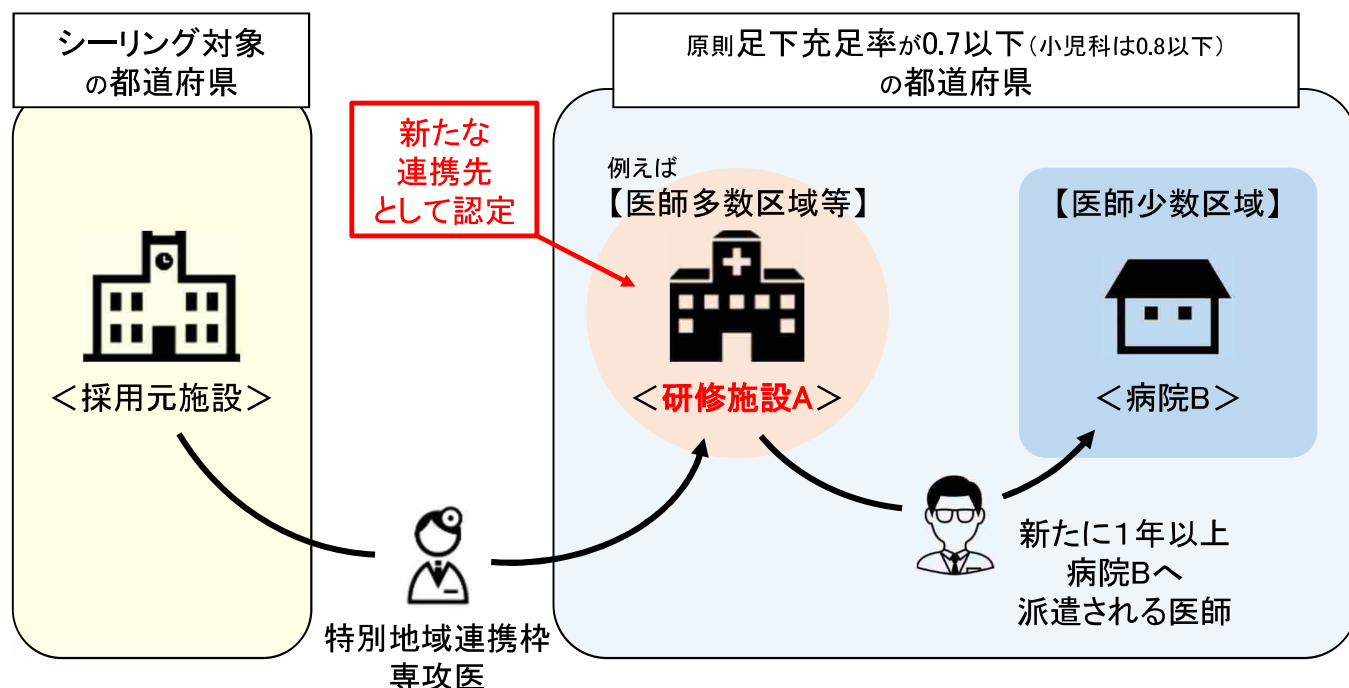
- シーリングの効果検証の実施については、本部会よりその必要性の指摘を受けており、日本専門医機構としても昨年度から厚生労働科学研究などにおいて検証を開始し、制度改善の検討を進めている。そのため、シーリング数についても、拙速に更新するのではなく、同検証の結果を踏まえて検討すべきであると考えている。
 - 特別地域連携枠においては、設置要件である足下充足率が0.7以下(小児は0.8以下)の都道府県にある医師少数区域にある施設が、研修施設としての要件を満たす施設が少なく、設置するのが困難との意見が複数の領域学会からあがった。
 - 医師少数県の大学病院や基幹病院等に専攻医を派遣すると、その大学病院や基幹病院等から医師少数区域の施設に他の医師を派遣することができるのではないか。
 - これらのことから、2025年度のシーリング数は2024年度と同じ数値とし、特別地域連携枠の設置要件として、既存の足下充足率が0.7以下(小児は0.8以下)の都道府県にある医師少数区域にある施設の他に、当該連携先都道府県の医師少数区域の病院Bに新規に医師を1年以上派遣する研修施設A(前年度に派遣実績がある場合は、それに加えて新たに派遣する)としてはどうか。(※)
- (※)研修施設Aは、当該要件で派遣を受けた専攻医数、前年度と当該年度に研修施設Aから病院Bに派遣した医師数を明記し、派遣した翌年に派遣の実績報告書を提出することとする。この場合、具体的な派遣実績については、県の地域医療対策協議会が確認する。なお、派遣実績が確認できない場合は、翌年度の「特別地域連携枠」について該当分を減ずる。
- また、医師の働き方改革を踏まえ、令和5・6年度開始プログラムの専攻医募集時に、年通算の時間外・休日労働時間が1860時間を超えるもしくは超えるおそれがある医師が所属する施設として、特別地域連携プログラムの連携先となった施設であって、引き続き、連携が必要となる、B水準の特定労務管理対象機関としてはどうか。

特別地域連携枠の連携先の新たな要件について

【特別地域連携プログラムの連携先の新たな要件】

医師少数区域の病院に新規に医師を1年以上派遣する研修施設であること(前年度に派遣実績がある場合は、それに加えて新たに派遣する)。

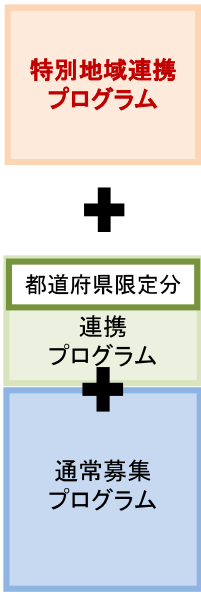
なお、特別連携枠プログラムにおいて、特別連携枠専攻医登録数と新規に派遣する医師少数区域の病院の前年度と当該年度の派遣数を明記し、翌年派遣の実績報告書を提出することとする。この場合、具体的な派遣は、県の地域医療対策協議会が確認する。なお、新たな派遣が確認できない場合は、翌年度の「特別地域連携枠」を該当分減ずる。



2025年度専攻医募集におけるシーリング(案)の基本的な考え方

- 足下医師充足率が低い都道府県のうち、医師少数区域等にある施設に加え、新たに医師少数区域の病院に新規に医師を1年以上派遣する施設を連携先とする特別地域連携プログラムを通常募集プログラム等のシーリングの枠外として別途設ける。

（特別地域連携プログラムを加えた2023～2025年シーリング）



【連携先】

原則 足下充足率^{※1}が0.7以下(小児科については0.8以下)

- の都道府県のうち、
- 医師少数区域にある施設^{※2}
- 令和5・6年度開始プログラムの専攻医募集時に年通算の時間外・休日労働時間が1860時間を超える医師等が所属する施設^{※3} であり引き続き連携が必要となる、B水準の特定労務管理対象機関
- 医師少数区域の病院に新規に医師を1年以上派遣する研修施設**

【採用数】

原則 **都道府県限定分と同数** 全診療科共通で**1年以上**

注：特別地域連携プログラムの採用数については、診療科別の個別事情も考慮し設定

【研修期間】

- 通常募集及び連携プログラムにおけるシーリング数の計算は2024年度と同様とする。
- シーリング対象の都道府県別診療科が「連携プログラム」を設定するためには、通常プログラムの地域貢献率^{※4}を原則20%以上とし、通常プログラムにおいて医師が不足する都道府県や地域で研修する期間をあらかじめ確保する。
- 連携プログラムにおける連携先(シーリング対象外の都道府県)での研修期間は、全診療科共通で1年6ヶ月以上とする。
- 連携プログラム採用数＝連携プログラム基礎数^{※5} ×

20%	：(専攻医充足率≤100%の診療科の場合)
15%	：(100%<専攻医充足率≤150%の診療科の場合)
10%	：(専攻医充足率>150%の診療科の場合)
- **連携プログラム採用数の基礎数の5%は、「都道府県限定分」として足下充足率が0.8以下の医師不足が顕著な都道府県で研修を行うプログラムとして採用。**

※1 足下充足率＝2016足下医師数/2024必要医師数、もしくは、2018足下医師数/2024必要医師数

※2 小児科については小児科医師偏在指標に基づく相対的医師少数区域にある施設

※3 宿日直許可の取得、タスクシフト/シェアの推進などの取組を行ってもなお、地域医療を維持するために年通算の時間外・休日労働時間が1860時間を超えるもしくは超えるおそれがある医師が所属する施設であって、指導医・指導体制が確保され、かつ、適切な労働時間となるように、研修・労働環境が十分に整備されている施設。なお、その際、年通算の時間外・休日労働時間が1860時間を超える又は超えるおそれがある医師の労働時間の短縮に資する分野の専攻医が連携先において研修を行う場合に限り設置可能とする。

※4 地域貢献率＝
$$\frac{\sum(\text{各専攻医が「シーリング対象外の都道府県」および「当該都道府県の医師少数区域」で研修を実施している期間})}{\sum(\text{各専攻医における専門研修プログラムの総研修期間})}$$

※5 連携プログラム基礎数＝(過去3年の平均採用数－2024年の必要医師数を達成するための年間養成数)

参考

令和6年度シーリング計算方法のまとめ①

シーリングの対象

- 「2018年医師数」が「2018年の必要医師数¹⁾」および「2024年の必要医師数²⁾」と同数あるいは上回る都道府県別診療科
- 例外として、外科・産婦人科³⁾、病理・臨床検査⁴⁾、救急・総合診療科⁵⁾の6診療科はシーリングの対象外とする

1,2)各診療科別勤務時間等(「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」結果を基に作成)及び医師需給分科会第3次中間取りまとめにおけるマクロ需要推計の推計値(需要ケース2)、DPCデータを用いた疾病別診療科別患者数シェア等を利用して算出 3)平成6年度と比較して平成28年度の医師数自体が減少しているなどの理由 4)専攻医が著しく少数である等の理由 5)今後の役割についてさらなる議論が必要とされている等の理由

シーリング数(通常募集プログラム)

「2018年～2020年の3年間の平均採用数」から
(「2018年～2020年の3年間の平均採用数」-「2024年の必要医師数を達成するための年間養成数」)×20% を除いた数とする

連携(地域研修)プログラム

- 上記のシーリング案による急激な変化によってもたらされる影響への配慮などの理由から、専攻医不足の都道府県との「連携(地域研修)プログラム」を追加可能。但し、連携プログラムの設定には、連携プログラムを除く令和3年度募集プログラムの地域貢献率が原則20%以上が必須条件。
- 地域貢献率は次の式で計算する。
$$\frac{\sum(\text{各専攻医が「シーリング対象外の都道府県」および「当該都道府県の医師少数区域」で研修を実施している期間})}{\sum(\text{各専攻医における専門研修プログラムの総研修期間})}$$

定義

○ 連携(地域研修)プログラム

シーリング対象外の都道府県の施設において1年6ヵ月以上の専門研修を行える環境が整った場合、募集可能とする。
ただし、都道府県限定分に関しては、以下の条件が整った場合のみ募集可能とする

○ 連携(地域研修)プログラムのうち都道府県限定分

2016年または2018年の足下充足率(=足下医師数/必要医師数)が0.8以下であり、医師不足が顕著である都道府県の施設において1年6ヵ月以上の専門研修を行える環境が整った場合、募集可能とする

計算方法

- 「2018年～2020年の3年間の平均採用数」-「2024年の必要医師数を達成するための年間養成数」に対して、診療科ごとの「専攻医充足率」に応じて以下の割合を乗じた数とする

専攻医充足率 ≤ 100%の場合:	20%	(内科・整形外科・脳神経外科)
100% < 専攻医充足率 ≤ 150%の場合:	15%	(眼科・耳鼻科・泌尿器科・リハビリテーション科)
150% ≤ 専攻医充足率の場合:	10%	(小児科・皮膚科・精神科・放射線科・麻酔科・形成外科)

- 上記のうち都道府県限定分を5%分とする

令和6年度シーリング計算方法のまとめ②

シーリング数の下限

- シーリング数合計(通常+連携)の下限を、2020年の95%とし、95%に満たない数を連携プログラム(都道府県限定分)として追加する。

精神保健指定医連携枠

- 精神科について、指定医連携枠を設け、シーリング数の合計が2020年のシーリング数(通常+連携)と同数になるように追加する。
- 指定医連携枠で採用を行う場合の要件は下記の通りとする。
 - ・指定医が相対的に少ない下位1/3の都道府県※と連携を組み、研修期間の半分(1年6ヵ月)を当該都道府県で研修を行うこと。
 - ・専攻医が研修を行う連携先に常勤の指導医が1名以上いること。
- 精神科専門医の更新要件として、指定医業務の実績をいれ、指定医業務を行っていない者の更新要件を厳しくすることを前提とする。

※ 日本精神神経学会が算出した業務換算指定医数に基づき、下記の都道府県とする。

青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県、千葉県、福井県、長野県、静岡県、滋賀県、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、徳島県、長崎県

採用数が少数の県に対する例外

- 2018年～2020年の採用数のいずれかが10未満である都道府県別診療科のシーリング数を、2018年～2020年の採用数のうち最も大きい数とする。
- 過去3年の採用数の平均が少数(5以下)の都道府県別診療科はシーリングの対象外とする。

特別地域連携プログラム

- 原則足下充足率(※¹⁾)が0.7以下(小児科については0.8以下)の都道府県のうち、医師少数区域(小児科については小児科医師偏在指標に基づく相対的医師少数区域)にある施設、もしくは、年通算の時間外・休日労働時間が1860時間を超える医師等が所属する施設(※²⁾)を連携先とするプログラムを別途設けることを可能とする。

※¹ 2016年または2018年の足下充足率(2016足下医師数/2024必要医師数、もしくは、2018足下医師数/2024必要医師数)

※² 宿日直許可の取得、タスクシフト/シェアの推進などの取組を行ってもなお、地域医療を維持するために年通算の時間外・休日労働時間が1860時間を超えるもしくは超えるおそれがある医師が所属する施設であって、指導医・指導体制が確保され、かつ、適切な労働時間となるように、研修・労働環境が十分に整備されている施設。なお、その際、年通算の時間外・休日労働時間が1860時間を超える又は超えるおそれがある医師の労働時間の短縮に資する分野の専攻医が連携先において研修を行う場合に限り設置可能とする。

- 枠数は、原則連携プログラムのうち都道府県限定分と同数とし、連携先における研修期間は全診療科共通で1年以上とする。

シーリングの対象外とする医師

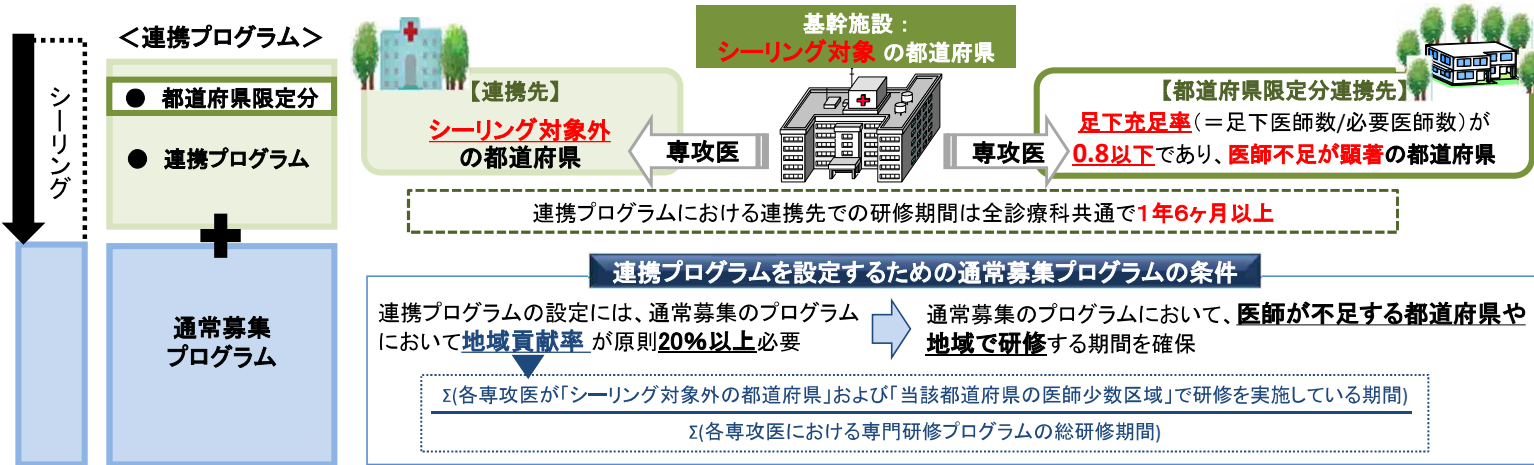
- ①又は②の医師のうち、専攻医期間に医師少数区域又は医師少数スポットで専門研修を行う予定の者。
 - ① 都道府県と卒業後一定期間、当該都道府県内で医師として就業する契約を締結した者(修学資金の貸与の有無を問わない)
 - ② 自治医科大学を卒業した医師
- 既に基本領域専門医を取得済みのダブルボード取得希望者。 - 18 -

連携プログラムの概要

基幹施設がシーリング対象の都道府県において、一定の条件の下、通常のプログラムに加え、**シーリング対象外の都道府県において1年6か月以上研修を行うプログラム(連携プログラム)**を策定できるとされている。

<見込まれる効果>

- ① 基幹施設としては十分な研修体制を整備できない都道府県において、研修プログラムの一貫として勤務する専攻医が増加する。
- ② 連携プログラムを設置する前提条件を満たすため、通常プログラムにおける医師が比較的少ない都道府県や地域での研修期間が長くなる。
- ③ 多様な地域での経験を積んだ専門医が多く養成され、医師の質の向上にもつながり得る。



連携プログラムの計算方法

- 連携(地域研修)プログラム採用数=

(過去3年の平均採用数-2024年の必要医師数を達成するための年間養成数) ×

- 都道府県限定分= (過去3年の平均採用数-2024年の必要医師数を達成するための年間養成数)のうちの**5%分**

【連携(地域研修プログラム)の実績】

	連携プログラム	うち都道府県限定分
2020年	271	67
2021年	388	145

- 20% : (専攻医充足率^{※1} ≤ 100%の診療科の場合)
- 15% : (100% < 専攻医充足率 ≤ 150%の診療科の場合)
- 10% : (専攻医充足率 > 150%の診療科の場合)

※1 診療科の専攻医充足率 = $\frac{\text{過去3年の専攻医採用数の平均}}{\text{2024年の必要医師数を達成するための年間養成数} \times \text{補正項}^{*2}}$

※2 補正項 = $\frac{\text{過去3年の平均数の全診療科合計}}{\text{年間養成数の全診療科合計}}$

令和6年度 特別地域連携プログラム連携先都道府県(実績)(詳細版)

令和6年3月28日時点 確定値

	内科 ※	足下充足率	採用元 都道府県	小児科 ※	足下充足率	採用元 都道府県	精神科	足下充足率	採用元 都道府県	整形外科	足下充足率	採用元 都道府県	放射線科	足下充足率	採用元 都道府県	リハビリテーション科	足下充足率	採用元 都道府県	総計
山形県	2	0.70/ 0.66	東京都2																2
福島県	1	0.71/ 0.69	東京都1																1
茨城県	9	0.68/ 0.70	東京都9				2	0.62/ 0.69	東京都2				5	0.53/ 0.53	東京都5				16
栃木県							1	0.65/ 0.72	東京都1										1
埼玉県	6	0.69/ 0.70	東京都5 大阪府1	2	0.74/ 0.78	東京都2				2	0.69/ 0.70	大阪府1 福岡県1	1	0.50/ 0.56	福岡県1	1	0.65/ 0.68	東京都1	12 ※
千葉県				3	0.76/ 0.77	東京都3													3 ※
新潟県	4	0.72/ 0.70	東京都2 大阪府2				6	0.68/ 0.67	東京都4 福岡県2										10 ※
総計	22 (21)			5 (3)			9			2			6			1			45 (42)

足下充足率: 2016年/2018年

※内科、小児科は複数県で研修する専攻医が含まれるため、延べ人数を示す。
()内は実人数

令和6年度 連携プログラム(都道府県限定分)連携先研修施設都道府県

令和6年3月28日時点 確定値

	内科 ※	採用元 都道府県	小児科 ※	採用元 都道府県	皮膚科 ※	採用元 都道府県	精神科 ※	採用元 都道府県	整形外科 ※	採用元 都道府県	眼科	採用元 都道府県	放射線科 ※	採用元 都道府県	形成外科 ※	採用元 都道府県	リハビリ テーション 科	採用元 都道府県	総計
北海道											1	東京都1							1
宮城県													1	東京都1					1
山形県											2	東京都1 大阪府1							2
福島県	1	福岡県1	4	東京都4															5
茨城県					1	東京都1			1	東京都1	2	東京都2							4
栃木県			3	東京都3			1	東京都1							1	東京都1			5
群馬県															3	東京都3			3
埼玉県	1	東京都1	3	東京都3	1	東京都1	4	東京都4	1	東京都1			3	東京都3	5	東京都5	1	東京都1	19
千葉県	5	東京都4 福岡県1	3	東京都3	9	東京都9	1	東京都1					2	東京都2	5	東京都5			25
福井県	1	京都府1																	1
静岡県	4	東京都2 京都府2	2	東京都2	2	東京都1 神奈川県1	2	東京都2			2	東京都1 京都府1							12
愛知県							2	福岡県1											2
滋賀県					2	京都府2													2
愛媛県							2	岡山県1 福岡県1											2
不明	(14)																		-
総計	12 (23)		15 (7)		15 (14)		12 (9)		2 (1)		7		6 (5)		14 (6)		1		84 (73)

※内科、小児科、皮膚科、精神科、整形外科、放射線科、形成外科は複数県で研修する専攻医が含まれるため、延べ人数を示す。
()内は実人数

日本専門医機構資料

日本専門医機構 2025年度プログラム募集シーリング数(案)

内科															
	2016年 足下充足率	2018年 足下充足率	2025年シーリング					2018年		2024年	2024年の必要 医師数を 達成するための 年間養成数を	採用数平均 過去3年	2020年度 専攻医採用数 (地域枠採用除く)	2019年度 専攻医 採用数	2018年度 専攻医 採用数
			通常募集 プログラム数	連携プログラム 数	連携プログラムのうち 都道府県限定分	特別地域連携プログラム	シーリング数合計 (通常+連携+特別地域 連携)	2018年 医師数(仕事量)	必要医師数 (勤務時間調整後)	必要医師数 (勤務時間補正後)					
北海道	0.89	0.86						4,824	5,614	5,820	253	90	79	101	90
青森県	0.64	0.63						899	1,435	1,446	102	18	20	17	18
岩手県	0.67	0.65						905	1,384	1,378	90	27	32	27	21
宮城県	0.93	0.91						2,125	2,322	2,427	88	57	67	53	52
秋田県	0.70	0.65						791	1,212	1,190	77	15	12	16	16
山形県	0.70	0.66						835	1,261	1,242	79	21	17	25	21
福島県	0.71	0.69						1,376	1,995	2,011	128	26	29	28	21
茨城県	0.68	0.70						1,960	2,812	2,933	184	42	39	46	41
栃木県	0.83	0.87						1,648	1,898	1,957	79	40	45	40	35
群馬県	0.81	0.78						1,605	2,053	2,118	112	25	24	24	26
埼玉県	0.69	0.70						4,332	6,231	6,778	452	89	113	85	70
千葉県	0.75	0.74						4,287	5,819	6,255	376	113	150	104	84
東京都	1.20	1.27	398	123	31	52	573	15,205	12,002	12,646	-95	521	513	515	535
神奈川県	0.86	0.87						6,930	8,007	8,638	388	180	178	186	176
新潟県	0.72	0.70						1,724	2,466	2,479	150	45	55	36	44
富山県	0.84	0.84						949	1,127	1,145	50	17	15	17	19
石川県	1.05	1.00						1,182	1,176	1,212	29	38	36	40	39
福井県	0.80	0.80						640	796	803	38	11	11	9	13
山梨県	0.79	0.81						686	845	858	40	16	20	9	19
長野県	0.75	0.75						1,703	2,273	2,297	126	40	47	37	35
岐阜県	0.87	0.83						1,669	2,000	2,049	93	33	47	21	30
静岡県	0.69	0.73						2,688	3,680	3,821	225	47	51	45	44
愛知県	0.87	0.90						5,931	6,574	7,010	276	151	157	162	135
三重県	0.86	0.85						1,525	1,784	1,821	79	34	31	30	40
滋賀県	0.91	0.89						1,120	1,264	1,329	54	31	32	33	28
京都府	1.23	1.25	62	18	5	8	88	3,163	2,528	2,653	-12	80	75	80	85
大阪府	1.08	1.07	200	10	2	21	231	8,994	8,396	8,852	161	210	202	211	217
兵庫県	0.93	0.93						4,969	5,323	5,590	197	145	185	137	113
奈良県	0.93	0.95						1,259	1,325	1,377	43	33	43	25	32
和歌山県	1.08	1.12	20	3	1	2	25	1,119	1,000	988	6	23	21	24	23
鳥取県	1.01	1.03	15	1	0	2	18	647	628	627	12	16	15	19	15
島根県	0.99	0.94						739	787	774	21	13	9	19	12
岡山県	1.09	1.07	55	7	2	6	68	2,127	1,979	2,017	29	62	59	61	66
広島県	0.96	0.97						2,732	2,829	2,923	89	53	54	59	47
山口県	0.83	0.78						1,198	1,543	1,543	80	18	19	21	14
徳島県	1.11	1.12	16	4	3	2	22	917	822	815	6	18	12	24	19
香川県	0.93	0.90						917	1,022	1,033	37	20	16	31	13
愛媛県	0.88	0.86						1,288	1,500	1,507	62	20	25	15	21
高知県	1.00	0.96						815	850	833	21	8	1	16	8
福岡県	1.21	1.21	118	29	7	15	162	6,001	4,954	5,206	3	147	141	143	157
佐賀県	1.02	0.96						829	862	869	24	15	12	15	19
長崎県	1.08	1.05	33	4	3	4	41	1,533	1,456	1,457	24	35	28	44	34
熊本県	1.06	1.05	33	0	0	3	36	1,985	1,898	1,914	34	33	34	36	28
大分県	0.99	0.98						1,245	1,267	1,279	32	25	23	26	25
宮崎県	0.78	0.80						950	1,187	1,199	58	11	7	16	9
鹿児島県	0.99	0.96						1,684	1,748	1,734	46	37	39	42	30
沖縄県	0.93	0.98						1,148	1,174	1,262	40	30	36	24	31
			950	199	54	115	1264								

日本専門医機構 2025年度プログラム募集シーリング数(案)

小児科

	2016年 足下充足率	2018年 足下充足率	2025年シーリング					2018年		2024年	2024年の必要 医師数を 達成するための 年間養成数を	過去3年 採用数平均	2020年度 専攻医採用数 (地域枠採用除く)	2019年度 専攻医 採用数	2018年度 専攻医 採用数
			通常募集 プログラム数	連携プログラム 数	連携プログラムのうち 都道府県限定分	特別地域 連携プログラム	シーリング数合計 (通常+連携+特別地域 連携)	2018年 医師数(仕事量)	必要医師数 (勤務時間調整後)	必要医師数 (勤務時間補正後)					
北海道	0.85	0.92						616	671	573	10	19	21	17	20
青森県	0.73	0.78						126	161	132	4	5	4	7	4
岩手県	0.77	0.84						136	162	137	4	4	6	4	1
宮城県	0.88	0.85						278	328	285	8	12	11	11	13
秋田県	0.87	1.10						121	110	89	-2	3	1	4	5
山形県	0.86	0.91						136	150	128	2	3	3	4	1
福島県	0.77	0.85						211	248	209	5	6	5	5	7
茨城県	0.71	0.71						285	404	346	16	10	9	12	10
栃木県	0.80	0.85						238	282	245	7	9	6	10	11
群馬県	0.94	0.95						265	279	239	3	5	4	6	4
埼玉県	0.74	0.78						774	998	890	37	23	30	21	19
千葉県	0.76	0.77						645	834	738	30	23	18	31	20
東京都	1.22	1.19	98	19	11	11	128	2,354	1,972	1,839	-27	129	123	123	141
神奈川県	0.92	0.84						1,078	1,287	1,148	37	29	36	26	24
新潟県	0.82	0.89						270	305	263	6	5	5	6	4
富山県	1.05	0.98						137	141	120	1	3	3	5	1
石川県	1.06	1.00						176	177	155	1	3	2	3	4
福井県	1.12	1.05						118	112	98	0	3	2	3	3
山梨県	1.05	1.16						125	108	91	-2	2	2	3	1
長野県	0.96	0.94						277	293	250	3	7	8	9	5
岐阜県	0.85	0.86						252	293	252	6	7	4	6	12
静岡県	0.70	0.76						413	541	469	19	13	16	14	8
愛知県	0.79	0.80						909	1,137	1,022	38	27	29	23	30
三重県	0.78	0.82						208	255	221	8	6	9	5	5
滋賀県	1.11	1.02	7	0	0	0	7	235	231	208	1	7	6	7	7
京都府	1.16	1.21	9	0	0	2	11	429	354	309	-8	9	9	9	8
大阪府	0.95	0.91						1,224	1,342	1,172	21	48	56	42	46
兵庫県	0.89	0.94						742	787	682	10	29	35	20	32
奈良県	0.84	0.94						171	182	155	2	7	9	5	6
和歌山県	0.82	1.01						131	129	111	0	3	1	5	4
鳥取県	1.31	1.53						128	83	74	-5	4	3	2	7
島根県	1.00	0.97						94	97	85	1	2	2	3	2
岡山県	1.10	1.01	14	0	0	0	14	291	288	257	2	9	5	14	7
広島県	0.87	0.82						357	435	389	14	6	5	6	6
山口県	0.88	0.92						174	189	163	3	3	3	2	4
徳島県	0.90	1.03						99	96	82	0	1	2	2	0
香川県	1.03	1.07						146	137	119	0	4	1	7	3
愛媛県	0.94	0.95						177	186	159	2	4	3	3	5
高知県	0.90	1.09						102	93	78	-1	1	2	0	2
福岡県	1.06	0.92						839	915	830	18	27	25	28	29
佐賀県	0.94	0.87						116	134	119	3	2	4	3	0
長崎県	0.96	1.01	9	0	0	0	9	198	197	169	1	6	3	7	9
熊本県	0.86	0.92						253	276	248	6	8	7	8	9
大分県	0.89	1.04						173	166	145	0	4	2	4	7
宮崎県	0.67	0.71						123	172	150	7	5	7	4	3
鹿児島県	0.74	0.75						190	252	220	10	4	1	4	8
沖縄県	1.17	0.82						245	299	277	11	8	4	5	16

137 19 11 13 169

日本専門医機構 2025年度プログラム募集シーリング数(案)

皮膚科

	2016年足下充足率	2018年足下充足率	2025年シーリング					2018年		2024年	2024年の必要医師数を達成するための年間養成数を	過去3年採用数平均	2020年度専攻医採用数 (地域枠採用除く)	2019年度専攻医採用数	2018年度専攻医採用数
			通常募集プログラム数	連携プログラム数	連携プログラムのうち 都道府県限定分	特別地域連携プログラム	シーリング数合計 (通常+連携+特別地域連携)	2018年医師数(仕事量)	必要医師数(勤務時間調整後)	必要医師数(勤務時間補正後)					
北海道	0.89	0.87						352	403	394	14	7	6	11	3
青森県	0.75	0.71						69	98	93	5	2	2	3	2
岩手県	0.66	0.63						58	93	88	6	2	2	2	1
宮城県	0.80	0.84						143	170	168	7	4	6	1	6
秋田県	0.67	0.65						52	81	75	5	2	2	0	4
山形県	0.85	0.78						67	86	81	4	1	2	1	0
福島県	0.52	0.52						73	139	134	11	2	2	3	2
茨城県	0.74	0.75						151	202	199	10	6	8	5	5
栃木県	0.87	0.84						119	142	139	5	3	2	5	2
群馬県	0.73	0.67						99	148	145	9	1	1	2	1
埼玉県	0.78	0.82						380	463	468	22	9	11	12	5
千葉県	0.79	0.76						322	425	428	23	8	10	10	5
東京都	1.49	1.53	54	18	11	11	83	1,586	1,037	1,043	-48	79	63	86	88
神奈川県	0.97	1.12	14	1	1	1	16	628	561	566	4	16	17	15	16
新潟県	0.83	0.76						133	176	169	8	4	5	6	2
富山県	1.00	0.96						76	79	77	2	1	2	1	1
石川県	1.27	1.21						102	84	83	-1	3	5	2	1
福井県	1.01	1.08						61	56	54	0	3	4	3	2
山梨県	0.86	0.79						48	61	59	3	3	2	5	1
長野県	0.74	0.61						99	162	156	11	2	2	3	2
岐阜県	0.71	0.83						122	147	142	6	3	2	5	1
静岡県	0.78	0.76						207	272	267	14	6	5	6	6
愛知県	0.94	0.95						494	523	526	16	23	27	22	20
三重県	0.83	0.82						111	134	130	5	3	1	6	2
滋賀県	0.78	0.81						79	98	98	4	3	3	4	2
京都府	1.20	1.23	8	2	2	2	12	229	186	184	-2	11	10	10	14
大阪府	0.98	0.96						647	677	672	18	23	25	20	25
兵庫県	0.91	1.00	13	0	0	0	13	378	377	374	8	10	6	13	12
奈良県	1.05	1.07						104	97	95	1	3	3	3	3
和歌山県	0.96	0.87						67	76	72	2	3	1	5	3
鳥取県	0.94	0.90						42	46	44	1	1	2	1	0
島根県	0.96	0.84						45	53	50	2	1	1	2	1
岡山県	1.00	0.97						141	145	142	3	10	12	12	7
広島県	0.97	0.92						193	210	207	7	3	6	1	3
山口県	0.81	0.83						87	105	101	4	3	5	1	3
徳島県	1.20	1.10						65	59	56	0	2	4	1	0
香川県	0.95	0.85						64	75	73	3	0	1	0	0
愛媛県	0.75	0.76						80	105	101	5	1	1	1	1
高知県	0.96	0.89						51	58	54	2	2	3	0	2
福岡県	1.10	1.06	11	1	0	0	12	406	381	380	5	13	13	16	11
佐賀県	1.00	0.99						57	57	55	1	2	3	2	0
長崎県	1.09	0.97						98	102	97	2	2	2	3	0
熊本県	1.12	1.05						142	136	132	2	3	4	3	1
大分県	0.81	0.78						68	87	84	4	3	4	3	1
宮崎県	0.77	0.73						60	81	79	4	2	2	1	2
鹿児島県	0.82	0.76						93	121	115	6	1	2	2	0
沖縄県	0.85	0.88						84	95	97	4	2	2	2	2

100 22 14 14 136

日本専門医機構 2025年度プログラム募集シーリング数(案)

精神科

	2016年 足下充足率	2018年 足下充足率	2025年シーリング						2018年			2024年	2024年の必要 医師数を 達成するための年間 養成数を	過去3年 採用数平均	2020年度専攻医採用数 (地域枠採用除く)	2019年度専攻医 採用数	2018年度専攻医 採用数
			通常募集プログラム数	連携プログラム数	連携プログラムのうち 都道府県限定分	特別地域連携プログラム	精神科指定医連携枠	シーリング数合計 (通常+連携+特別地域連携+指定医連携)	2018年 医師数(仕事量)	必要医師数(勤務時間調整後)	必要医師数(勤務時間補正後)						
北海道	1.00	0.95							695	729	701	16	13	14	13	11	
青森県	0.81	0.81							148	182	171	7	4	4	4	4	
岩手県	0.72	0.71							124	174	164	9	2	3	2	2	
宮城県	0.89	0.90							273	303	296	9	5	11	1	3	
秋田県	0.97	1.03							149	145	134	1	4	7	2	3	
山形県	0.96	0.99							154	156	146	2	5	5	4	7	
福島県	0.83	0.80							202	252	239	10	7	11	6	4	
茨城県	0.62	0.69							258	374	364	21	6	6	9	4	
栃木県	0.65	0.72							192	265	257	13	6	6	4	9	
群馬県	0.85	0.84							224	265	256	9	6	8	3	7	
埼玉県	0.73	0.71							654	927	921	51	21	27	17	19	
千葉県	0.75	0.75							657	879	868	43	22	28	18	19	
東京都	1.22	1.24	74	12	6	14	5	105	2,116	1,709	1,700	-22	98	91	95	108	
神奈川県	0.91	0.93							1,044	1,127	1,117	29	28	33	27	25	
新潟県	0.68	0.67							204	307	292	18	5	8	4	3	
富山県	0.88	0.91							129	141	135	4	2	2	3	2	
石川県	1.02	1.00	9	0	0	2	0	11	159	159	154	3	9	9	9	9	
福井県	0.90	0.87							90	103	99	3	4	5	4	2	
山梨県	0.83	0.89							96	108	103	3	5	8	5	2	
長野県	0.81	0.81							229	284	271	11	6	4	7	6	
岐阜県	0.66	0.72							184	256	245	13	5	8	4	3	
静岡県	0.71	0.71							353	495	478	25	8	7	8	8	
愛知県	0.80	0.79							767	969	959	42	23	21	28	19	
三重県	0.91	0.85							207	243	233	8	3	1	4	3	
滋賀県	0.75	0.80							133	167	165	7	5	6	4	4	
京都府	1.02	0.99							353	356	346	6	11	8	12	13	
大阪府	0.90	0.87							1,069	1,229	1,193	38	37	45	38	29	
兵庫県	0.87	0.87							604	693	675	22	17	24	19	9	
奈良県	0.97	0.93							159	170	163	3	9	7	10	9	
和歌山県	0.80	0.84							97	115	108	4	3	3	5	2	
鳥取県	1.10	1.15							90	79	75	0	3	3	3	3	
島根県	1.17	1.23							118	96	90	-2	3	6	2	1	
岡山県	1.17	1.15	10	1	1	2	0	13	291	253	245	0	12	11	13	11	
広島県	0.97	0.92							352	383	372	10	5	6	5	5	
山口県	1.07	1.11							203	183	173	0	2	4	2	0	
徳島県	1.19	1.30							130	100	94	-3	3	3	1	4	
香川県	1.07	1.19							152	128	122	-1	2	4	3	0	
愛媛県	0.77	0.85							154	181	171	6	6	6	3	9	
高知県	1.19	1.34							131	98	91	-3	4	2	3	6	
福岡県	1.33	1.33	17	5	3	3	1	26	896	673	665	-16	25	23	28	25	
佐賀県	1.35	1.49	8	0	0	1	0	9	172	115	111	-6	8	8	7	8	
長崎県	1.18	1.21							218	181	171	-2	2	4	1	2	
熊本県	1.40	1.30	11	0	0	2	0	13	315	243	233	-5	6	4	11	4	
大分県	1.16	1.13							175	156	149	0	3	0	3	5	
宮崎県	1.22	1.29							193	150	143	-3	2	2	3	2	
鹿児島県	1.20	1.23							260	211	200	-3	2	3	2	1	
沖縄県	1.58	1.58	7	0	0	1	0	8	270	171	173	-8	7	7	6	7	
			136	18	10	25	6	185									

日本専門医機構 2025年度プログラム募集シーリング数(案)

整形外科

	2016年 足下充足率	2018年 足下充足率	2025年シーリング					2018年			2024年	2024年の必要 医師数を 達成するための 年間養成数を	過去3年 採用数平均	2020年度 専攻医採用数 (地域枠採用除く)	2019年度 専攻医 採用数	2018年度 専攻医 採用数
			通常募集 プログラム数	連携プログラム 数	連携プログラムのうち 都道府県限定分	特別地域 連携プログラム	シーリング数合計 (通常+連携+特別地域 連携)	2018年 医師数(仕事量)	必要医師数 (勤務時間調整後)	必要医師数 (勤務時間補正後)	2024年					
北海道	0.88	0.83						924	1,115	1,157	57	21	22	21	20	
青森県	0.72	0.67						196	293	293	19	4	3	5	4	
岩手県	0.60	0.61						166	272	269	19	6	5	5	7	
宮城県	0.80	0.79						350	442	459	25	8	10	5	8	
秋田県	0.76	0.72						175	241	235	13	4	4	4	3	
山形県	0.89	0.84						215	255	250	10	7	7	6	7	
福島県	0.71	0.73						289	396	397	23	4	1	3	7	
茨城県	0.76	0.77						399	519	542	30	9	8	10	9	
栃木県	0.84	0.86						316	366	377	16	5	5	5	6	
群馬県	0.89	0.84						346	413	426	20	6	7	9	1	
埼玉県	0.69	0.70						852	1,210	1,315	88	11	19	10	3	
千葉県	0.83	0.83						915	1,100	1,180	60	25	32	22	21	
東京都	1.02	1.06	104	13	3	9	126	2,516	2,368	2,492	50	117	124	110	116	
神奈川県	0.91	0.93						1,456	1,558	1,680	65	32	38	25	32	
新潟県	0.73	0.73						353	484	485	28	6	7	5	6	
富山県	0.86	0.88						197	224	227	9	1	0	1	2	
石川県	1.03	1.04	10	0	0	1	11	237	228	235	5	9	10	10	8	
福井県	0.95	0.94						147	156	157	5	2	2	2	1	
山梨県	0.96	0.95						159	167	170	5	3	4	5	0	
長野県	0.83	0.83						362	434	437	20	7	8	4	10	
岐阜県	0.76	0.76						294	387	396	22	6	7	6	5	
静岡県	0.80	0.81						588	725	752	38	10	16	7	6	
愛知県	0.83	0.84						1,074	1,281	1,365	67	36	48	25	34	
三重県	0.93	0.89						307	347	354	14	5	7	4	4	
滋賀県	0.92	0.92						215	234	246	10	6	9	5	3	
京都府	1.12	1.09	16	1	0	1	18	556	510	536	10	17	17	17	17	
大阪府	1.06	1.09	41	2	1	4	47	1,777	1,627	1,716	32	43	52	41	36	
兵庫県	1.00	1.03						1,083	1,050	1,103	28	28	38	17	29	
奈良県	1.03	1.03						275	266	277	7	7	9	6	5	
和歌山県	1.04	1.11	9	0	0	1	10	227	204	202	1	7	8	3	9	
鳥取県	1.01	0.96						117	122	121	4	3	3	5	1	
島根県	0.87	0.88						134	153	150	5	2	1	1	5	
岡山県	0.97	0.97						380	394	402	12	13	21	10	9	
広島県	0.98	0.93						528	569	588	22	9	13	7	8	
山口県	0.86	0.83						248	298	298	14	4	3	3	5	
徳島県	0.97	1.01						164	162	160	4	2	2	2	3	
香川県	1.13	1.16						231	199	202	1	4	1	4	8	
愛媛県	0.97	0.93						274	295	296	10	6	10	2	6	
高知県	1.19	1.04						177	170	166	3	3	3	2	5	
福岡県	1.31	1.27	33	10	2	3	46	1,250	983	1,032	-5	43	42	45	41	
佐賀県	1.15	1.22						204	168	168	-1	3	1	4	3	
長崎県	1.11	1.04	7	0	0	0	7	300	288	287	6	6	4	7	6	
熊本県	1.08	1.11	8	0	0	1	9	399	358	360	4	8	8	8	8	
大分県	0.95	0.89						225	252	254	10	4	4	5	2	
宮崎県	1.02	1.01						233	232	233	6	5	4	5	5	
鹿児島県	0.93	0.90						311	347	342	12	9	10	4	12	
沖縄県	1.01	1.01						232	230	245	7	6	11	2	6	
			228	26	6	20	274									

日本専門医機構 2025年度プログラム募集シーリング数(案)

眼科

	2016年 足下充足率	2018年 足下充足率	2025年シーリング					2018年		2024年	2024年の必要 医師数を 達成するための 年間養成数を	過去3年 採用数平均	2020年度 専攻医採用数 (地域枠採用除く)	2019年度 専攻医 採用数	2018年度 専攻医 採用数
			通常募集 プログラム数	連携 プログラム数	連携プログラムのうち 都道府県限定分	特別地域 連携プログラム	シーリング数合計 (通常+連携+特別地域 連携)	2018年 医師数(仕事量)	必要医師数 (勤務時間調整後)	必要医師数 (勤務時間補正後)					
北海道	0.81	0.79						472	596	596	29	11	13	11	9
青森県	0.54	0.51						77	150	146	12	0	1	0	0
岩手県	0.71	0.70						99	142	137	8	1	0	1	2
宮城県	0.85	0.87						206	237	241	10	7	6	6	9
秋田県	0.71	0.67						83	124	118	7	2	2	2	2
山形県	0.73	0.76						97	127	122	6	1	1	1	2
福島県	0.70	0.68						142	208	205	13	2	0	4	3
茨城県	0.78	0.77						228	297	302	16	4	4	4	3
栃木県	0.75	0.71						145	205	207	13	5	4	6	6
群馬県	0.80	0.79						164	208	209	10	1	1	1	2
埼玉県	0.81	0.86						595	693	720	31	13	13	13	13
千葉県	0.90	0.85						496	582	601	26	16	19	14	16
東京都	1.35	1.36	52	16	6	6	74	1,901	1,395	1,425	-30	73	67	75	76
神奈川県	0.97	1.00						862	864	894	23	18	15	20	19
新潟県	0.68	0.67						170	255	250	16	2	3	3	1
富山県	0.95	0.92						111	120	119	4	2	1	4	2
石川県	0.99	0.95						121	126	127	4	5	5	5	6
福井県	0.93	0.88						78	89	88	3	2	3	2	2
山梨県	0.98	0.96						83	87	86	2	2	2	5	0
長野県	0.75	0.75						171	229	226	12	2	4	2	0
岐阜県	0.97	0.93						196	211	210	6	3	2	5	1
静岡県	0.74	0.76						306	400	401	21	5	6	4	4
愛知県	1.03	1.00						771	769	791	20	18	17	18	18
三重県	0.87	0.92						177	191	190	6	7	7	6	7
滋賀県	1.11	0.96						126	132	135	4	3	4	3	2
京都府	1.09	1.21	14	3	1	2	19	337	280	282	-1	18	17	17	19
大阪府	1.20	1.20	22	4	1	5	31	1,080	903	909	-1	28	26	28	30
兵庫県	1.13	1.11	12	1	0	0	13	635	570	577	6	14	14	18	10
奈良県	1.09	0.96						137	142	143	4	2	5	1	1
和歌山県	1.03	1.01						113	112	108	2	3	4	1	4
鳥取県	0.81	0.92						58	63	62	2	1	1	1	1
島根県	0.89	0.78						63	80	78	4	2	4	0	1
岡山県	0.96	0.96						199	207	206	6	9	12	8	6
広島県	0.93	0.99						296	298	299	8	6	7	4	6
山口県	0.80	0.81						131	161	156	7	2	2	1	3
徳島県	0.99	1.00						82	82	80	2	1	1	2	0
香川県	0.99	1.00						106	107	106	3	2	3	2	2
愛媛県	1.01	0.94						148	158	155	4	3	4	1	5
高知県	0.93	0.93						79	85	81	2	2	3	0	3
福岡県	1.04	1.06	11	0	0	2	13	561	527	538	9	12	16	11	10
佐賀県	0.90	0.87						76	88	87	3	4	5	4	4
長崎県	0.93	0.89						137	154	150	5	2	3	2	0
熊本県	0.97	0.93						185	200	197	6	5	5	4	6
大分県	0.74	0.79						96	122	120	6	3	2	3	4
宮崎県	0.77	0.91						112	123	121	4	2	3	2	2
鹿児島県	0.86	0.88						153	175	170	6	4	5	4	4
沖縄県	0.90	0.97						122	125	132	4	3	2	5	2
			111	24	8	15	150								

日本専門医機構 2025年度プログラム募集シーリング数(案)

耳鼻咽喉科

	2016年 足下充足率	2018年 足下充足率	2025年シーリング					2018年		2024年	2024年の必要 医師数を 達成するための 年間養成数を	採用数平均 過去3年	2020年度 専攻医採用数 (地域枠採用除く)	2019年度 専攻医 採用数	2018年度 専攻医 採用数
			通常募集 プログラム数	連携プログラム 数	連携プログラムのうち 都道府県限定分	特別地域 連携プログラム	シーリング数合計 (通常+連携+特別地域 連携)	2018年 医師数(仕事量)	必要医師数 (勤務時間調整後)	必要医師数 (勤務時間補正後)					
北海道	0.93	0.91						372	411	394	13	10	11	10	8
青森県	0.71	0.67						75	112	105	7	4	4	3	6
岩手県	0.64	0.60						58	97	91	7	1	1	1	2
宮城県	0.93	0.94						168	178	173	5	7	5	6	10
秋田県	0.80	0.80						65	81	74	3	2	4	0	1
山形県	0.93	0.87						86	98	92	3	3	3	2	4
福島県	0.84	0.78						114	145	137	6	1	0	2	1
茨城県	0.64	0.63						136	214	206	14	4	4	3	5
栃木県	0.84	0.86						125	146	140	6	2	1	3	1
群馬県	0.70	0.69						104	151	146	9	2	2	2	3
埼玉県	0.73	0.74						378	508	505	28	10	13	6	11
千葉県	0.78	0.72						338	470	465	27	6	5	10	4
東京都	1.30	1.29	44	11	4	3	58	1,332	1,030	1,028	-14	58	54	57	63
神奈川県	0.96	0.90						589	656	652	24	15	11	19	15
新潟県	0.76	0.75						133	177	168	9	4	3	5	5
富山県	1.00	0.95						78	82	78	2	1	1	2	1
石川県	1.12	1.00						91	92	89	2	5	6	6	3
福井県	1.32	1.22						72	59	56	-1	2	4	0	2
山梨県	1.07	1.00						62	62	59	1	1	0	4	0
長野県	0.75	0.75						120	160	152	8	2	4	2	1
岐阜県	0.94	0.99						146	148	142	3	3	1	5	3
静岡県	0.82	0.87						241	278	268	10	6	6	7	6
愛知県	0.93	1.01	16	1	0	1	18	558	553	548	12	17	22	14	14
三重県	0.82	0.84						108	128	123	5	2	2	0	3
滋賀県	0.97	1.07						108	101	100	1	3	3	3	4
京都府	1.36	1.31	8	2	1	1	11	256	195	189	-4	11	10	12	10
大阪府	1.13	1.11	17	2	1	1	20	740	667	650	5	20	20	20	21
兵庫県	0.96	1.02	14	0	0	0	14	419	410	399	8	11	13	14	7
奈良県	1.09	1.13						114	101	96	0	4	0	5	7
和歌山県	0.98	1.04						77	74	69	1	4	8	3	0
鳥取県	0.98	1.06						46	44	42	0	2	1	3	3
島根県	0.89	0.79						42	54	51	2	0	0	0	0
岡山県	1.11	1.07						156	146	140	2	4	4	7	2
広島県	1.03	1.00						212	212	206	5	4	3	6	4
山口県	0.94	1.02						109	107	101	2	0	0	0	1
徳島県	1.10	1.24						73	59	55	-1	2	1	2	3
香川県	1.11	1.23						89	72	69	-1	2	1	1	3
愛媛県	1.18	1.18						125	107	101	0	5	3	7	4
高知県	1.01	1.06						59	56	52	1	1	2	0	1
福岡県	0.96	0.95						367	386	379	11	11	13	11	10
佐賀県	0.95	0.98						59	60	58	1	2	2	3	2
長崎県	0.93	1.02						105	103	97	2	2	2	3	1
熊本県	0.75	0.84						113	135	129	6	4	3	4	5
大分県	0.64	0.67						61	90	86	5	2	3	2	1
宮崎県	0.74	0.79						68	86	81	4	1	1	3	0
鹿児島県	0.77	0.78						97	124	117	6	2	3	2	1
沖縄県	0.81	0.83						85	102	103	5	3	2	2	5
			99	16	6	6	121								

日本専門医機構 2025年度プログラム募集シーリング数(案)

泌尿器科

	2016年 足下充足率	2018年 足下充足率	2025年シーリング					2018年		2024年	2024年の必要 医師数を 達成するための 年間養成数	過去3年 採用数平均	2020年度 専攻医採用数 (地域枠採用除く)	2019年度 専攻医 採用数	2018年度 専攻医 採用数
			通常募集 プログラム数	連携プログラム 数	連携プログラムのうち 都道府県限定分	特別地域 連携プログラム	シーリング数合計 (通常+連携+特別地域 連携)	2018年 医師数(仕事量)	必要医師数 (勤務時間調整後)	必要医師数 (勤務時間補正後)					
北海道	0.95	0.97						370	382	389	13	12	14	10	11
青森県	1.09	1.08						102	94	94	2	2	2	1	2
岩手県	0.95	0.98						86	88	88	2	4	4	3	5
宮城県	0.84	0.76						123	162	169	10	4	3	5	3
秋田県	1.06	1.07						87	81	79	1	3	4	1	5
山形県	0.90	0.93						79	84	83	3	2	4	1	1
福島県	0.78	0.72						97	136	138	9	3	5	4	0
茨城県	0.71	0.65						124	190	197	14	4	7	2	4
栃木県	0.67	0.66						87	133	137	9	6	8	5	4
群馬県	0.85	0.85						122	144	148	7	3	3	4	3
埼玉県	0.74	0.71						301	422	447	29	6	7	7	4
千葉県	0.79	0.82						336	410	430	22	11	10	13	11
東京都	0.88	1.01						867	862	896	24	55	65	50	51
神奈川県	0.89	0.88						488	554	585	26	18	23	15	15
新潟県	0.62	0.57						95	167	167	13	1	1	0	2
富山県	0.72	0.76						58	77	78	4	2	1	3	1
石川県	0.98	0.94						75	80	82	3	5	6	5	4
福井県	1.03	0.93						51	55	56	2	2	2	3	0
山梨県	1.01	0.96						54	56	57	2	2	0	3	2
長野県	0.69	0.70						112	160	161	10	4	4	5	4
岐阜県	0.69	0.71						97	136	138	9	2	1	4	2
静岡県	0.83	0.81						209	258	264	14	6	8	8	2
愛知県	0.74	0.75						356	477	499	30	12	16	11	10
三重県	0.83	0.73						88	120	121	7	4	6	3	4
滋賀県	1.03	1.06						93	88	92	2	5	5	3	6
京都府	1.19	1.31	19	0	0	0	19	224	171	176	-2	12	13	5	19
大阪府	1.14	1.07	18	1	0	0	19	651	607	623	12	19	18	19	20
兵庫県	0.92	0.97						352	362	374	13	11	12	10	11
奈良県	1.14	1.09						98	90	92	2	3	4	3	2
和歌山県	0.92	0.92						65	70	68	2	3	5	3	2
鳥取県	1.02	1.00						42	41	41	1	3	4	4	2
島根県	1.02	0.93						49	53	52	2	1	0	0	2
岡山県	0.88	0.90						118	131	132	5	9	10	5	11
広島県	0.77	0.82						157	192	196	10	5	4	0	11
山口県	1.09	1.05						105	100	99	2	2	2	1	2
徳島県	1.16	1.13						64	57	57	1	2	3	1	2
香川県	1.32	1.34						96	71	72	-1	2	4	1	0
愛媛県	1.24	1.11						112	101	101	1	4	3	6	4
高知県	1.15	1.18						66	55	54	0	2	1	4	2
福岡県	0.99	1.01						342	338	352	10	14	18	9	15
佐賀県	1.07	0.98						54	56	56	2	1	2	0	2
長崎県	0.97	0.98						92	94	94	3	3	1	4	3
熊本県	1.17	1.07						136	127	128	2	4	6	4	2
大分県	1.07	1.03						87	85	85	2	1	0	1	2
宮崎県	0.92	0.92						73	80	80	3	2	1	3	1
鹿児島県	1.08	1.01						113	113	113	3	1	0	1	3
沖縄県	0.80	0.71						58	81	87	6	2	3	2	0
			37	1	0	0	38								

日本専門医機構 2025年度プログラム募集シーリング数(案)

脳神経外科

	2016年 足下充足率	2018年 足下充足率	2025年シーリング					2018年		2024年	2024年の必要 医師数を達成 するための年間 養成数を	採用数平均 過去3年	2020年度 専攻医採用数 (地域枠採用除く)	2019年度 専攻医 採用数	2018年度 専攻医 採用数
			通常募集 プログラム数	連携プログラム 数	連携プログラムのうち 都道府県限定分	特別地域 連携プログラム	シーリング数合計 (通常+連携+特別地域 連携)	2018年 医師数(仕事量)	必要医師数 (勤務時間調整後)	必要医師数 (勤務時間補正後)					
北海道	1.02	1.03						419	407	428	12	10	8	11	12
青森県	0.52	0.51						54	105	107	9	2	2	3	0
岩手県	0.82	0.92						88	96	96	4	2	0	1	4
宮城県	0.64	0.67						110	164	173	12	6	5	4	9
秋田県	0.82	0.79						70	89	88	4	2	1	2	3
山形県	0.69	0.63						58	92	91	7	2	3	2	0
福島県	0.68	0.73						108	148	150	9	4	3	2	7
茨城県	0.78	0.83						173	209	221	11	2	2	4	1
栃木県	0.65	0.70						93	133	138	9	2	1	2	2
群馬県	0.66	0.64						97	151	157	12	2	2	1	2
埼玉県	0.64	0.69						315	460	507	37	9	13	8	7
千葉県	0.73	0.66						284	428	466	34	5	3	5	7
東京都	1.12	1.16	41	7	2	6	54	946	817	871	12	48	46	55	43
神奈川県	0.82	0.80						461	577	632	37	11	11	11	11
新潟県	0.73	0.67						121	181	183	13	3	5	4	0
富山県	0.82	0.79						65	83	85	5	1	1	0	1
石川県	0.94	0.89						76	85	89	4	3	3	4	2
福井県	0.91	0.93						55	59	60	2	2	2	2	1
山梨県	0.88	0.88						55	62	64	3	2	4	2	0
長野県	0.73	0.71						118	166	170	11	2	1	3	2
岐阜県	0.77	0.88						116	132	137	6	4	3	4	5
静岡県	0.76	0.80						219	275	288	16	3	4	3	3
愛知県	0.82	0.87						413	473	511	24	15	16	18	12
三重県	0.77	0.80						102	128	132	7	3	1	2	5
滋賀県	0.85	0.84						75	89	95	5	1	1	2	0
京都府	0.96	1.02						190	185	197	6	11	9	13	10
大阪府	1.03	1.01						603	598	641	21	18	20	19	15
兵庫県	0.86	0.87						334	386	411	20	9	15	8	4
奈良県	0.94	0.89						88	98	104	5	3	3	1	4
和歌山県	1.02	0.99						74	74	74	2	3	5	2	1
鳥取県	0.65	0.67						31	46	46	3	1	2	1	0
島根県	0.68	0.66						39	59	58	4	1	1	1	1
岡山県	1.09	0.99						141	143	147	4	11	14	4	14
広島県	0.97	0.94						194	207	217	9	3	3	3	3
山口県	0.99	0.90						102	113	114	5	0	1	0	0
徳島県	1.03	1.04						64	61	61	1	2	1	2	2
香川県	1.08	1.19						87	73	75	0	1	0	2	2
愛媛県	0.97	0.96						104	109	111	4	1	1	1	2
高知県	1.18	1.16						73	63	62	0	3	4	3	3
福岡県	1.04	1.04						368	355	378	10	14	12	15	16
佐賀県	1.07	0.98						66	68	69	2	1	1	2	1
長崎県	0.81	0.79						82	104	105	6	2	0	5	1
熊本県	0.74	0.76						105	137	140	8	5	4	5	5
大分県	0.89	0.90						83	93	95	4	1	1	0	1
宮崎県	0.79	0.76						66	86	88	5	1	1	3	0
鹿児島県	0.91	0.86						111	129	129	6	4	7	4	0
沖縄県	0.87	0.75						63	84	90	6	1	1	3	0
			41	7	2	6	54								

日本専門医機構 2025年度プログラム募集シーリング数(案)

放射線科

	2016年 足下充足率	2018年 足下充足率	2025年シーリング					2018年		2024年	2024年の必要 医師数を 達成するための 年間養成数を	採用数平均 過去3年	2020年度 専攻医採用数 (地域枠採用除く)	2019年度 専攻医 採用数	2018年度 専攻医 採用数
			通常募集 プログラム数	連携 プログラム数	連携プログラムのうち 都道府県限定分	特別地域 連携プログラム	シーリング数合計 (通常+連携+特別地域 連携)	2018年 医師数(仕事量)	必要医師数 (勤務時間調整後)	必要医師数 (勤務時間補正後)					
北海道	0.66	0.68						224	328	322	19	11	10	9	13
青森県	0.43	0.48						39	81	77	7	2	2	2	1
岩手県	0.58	0.59						46	77	73	5	1	0	1	1
宮城県	0.96	0.78						107	137	136	7	2	3	1	3
秋田県	0.45	0.54						36	67	63	5	2	3	0	2
山形県	0.83	0.80						56	70	67	3	1	2	1	0
福島県	0.66	0.67						77	115	111	7	3	3	2	4
茨城県	0.53	0.53						87	164	162	13	5	5	6	3
栃木県	0.70	0.78						89	114	113	6	3	2	5	3
群馬県	0.93	0.88						112	127	125	4	5	4	6	6
埼玉県	0.50	0.56						208	372	378	30	7	8	8	4
千葉県	0.62	0.61						213	351	354	26	5	5	7	4
東京都	1.31	1.27	36	7	5	5	48	1,005	788	798	-7	47	44	46	50
神奈川県	0.85	0.84						416	494	502	22	13	13	10	15
新潟県	0.68	0.69						97	140	135	8	2	2	1	3
富山県	0.95	0.91						59	65	63	2	0	0	0	0
石川県	1.46	1.38						95	69	68	-2	3	0	3	6
福井県	1.43	1.45						67	46	45	-2	2	4	0	2
山梨県	0.87	0.94						45	48	47	1	2	2	4	1
長野県	0.67	0.70						90	129	125	7	3	3	4	3
岐阜県	0.60	0.61						71	117	114	8	3	3	2	4
静岡県	0.60	0.67						149	220	217	13	2	1	3	3
愛知県	0.86	0.84						353	419	422	18	13	19	5	14
三重県	0.95	0.95						99	104	101	3	5	3	5	6
滋賀県	1.17	1.18						92	78	78	0	2	1	3	3
京都府	1.66	1.68	14	0	0	0	14	254	151	150	-10	11	10	14	9
大阪府	1.22	1.20	14	3	2	2	19	628	525	520	0	18	16	16	22
兵庫県	0.94	0.96						303	317	315	9	8	11	9	5
奈良県	1.36	1.45						114	78	77	-3	5	6	3	5
和歌山県	0.93	1.11						67	60	57	0	4	3	3	6
鳥取県	1.17	1.07						38	36	35	0	2	2	2	1
島根県	1.12	1.16						51	44	42	0	2	3	1	3
岡山県	1.38	1.46	9	0	0	0	9	168	116	113	-4	6	4	6	9
広島県	0.93	0.88						149	169	167	6	6	5	10	3
山口県	1.09	1.06						91	86	82	1	1	3	0	0
徳島県	1.34	1.49						69	46	44	-2	3	1	4	4
香川県	1.18	1.14						68	60	58	0	1	1	0	2
愛媛県	1.46	1.48						128	86	83	-3	4	3	5	5
高知県	1.06	1.08						50	46	44	0	1	2	1	1
福岡県	1.26	1.23	15	0	0	2	17	375	305	306	-1	12	13	8	15
佐賀県	1.14	1.23						59	48	47	0	1	1	1	2
長崎県	1.14	1.18						98	84	80	0	5	4	5	5
熊本県	1.18	1.28						139	108	105	-2	4	5	3	3
大分県	1.15	1.10						80	73	70	1	2	3	1	2
宮崎県	1.10	1.06						73	69	67	1	2	4	0	1
鹿児島県	0.96	1.00						99	100	95	2	4	5	6	1
沖縄県	1.11	0.87						66	76	78	3	1	0	2	2
			88	10	7	9	107								

日本専門医機構 2025年度プログラム募集シーリング数(案)

麻酔科

	2016年 足下充足率	2018年 足下充足率	2025年シーリング					2018年		2024年	2024年の必要 医師数を 達成するための 年間養成数を	過去3年 採用数平均	2020年度 専攻医採用数 (地域枠採用除く)	2019年度 専攻医 採用数	2018年度 専攻医 採用数
			通常募集 プログラム数	連携プログラム 数	連携プログラムのうち 都道府県限定分	特別地域 連携プログラム	(通常+連携+特別地域 連携) シーリング 数合計	2018年 医師数(仕事量)	必要医師数 (勤務時間調整後)	必要医師数 (勤務時間補正後)					
北海道	1.21	1.21	20	3	1	6	29	568	470	460	-1	25	23	29	22
青森県	0.68	0.67						78	116	111	7	3	4	2	3
岩手県	0.57	0.57						63	110	105	8	2	1	0	4
宮城県	0.88	0.88						172	195	193	8	5	4	6	5
秋田県	0.60	0.56						53	96	89	7	3	3	3	3
山形県	0.62	0.64						64	100	95	6	2	0	3	2
福島県	0.67	0.67						111	165	158	10	5	3	3	10
茨城県	0.66	0.70						165	236	233	14	8	7	8	10
栃木県	0.92	0.92						151	164	162	5	6	7	3	7
群馬県	0.93	0.90						159	177	174	7	7	9	5	6
埼玉県	0.70	0.70						384	549	558	35	16	21	16	11
千葉県	0.74	0.67						338	503	508	34	14	21	14	7
東京都	1.21	1.25	75	15	10	11	101	1,408	1,129	1,138	-7	96	79	103	105
神奈川県	0.96	0.94						668	712	722	24	32	40	29	28
新潟県	0.54	0.57						115	201	193	15	6	7	4	7
富山県	1.00	0.99						93	94	91	2	5	5	3	7
石川県	0.98	1.00						99	99	98	3	6	8	7	4
福井県	0.81	0.80						54	67	65	3	2	2	3	2
山梨県	0.84	0.97						67	69	67	2	3	1	2	5
長野県	0.88	0.83						153	184	178	8	3	3	1	4
岐阜県	0.56	0.56						94	169	164	13	6	7	6	5
静岡県	0.70	0.67						211	315	310	20	7	12	6	4
愛知県	0.82	0.81						484	599	603	28	28	29	26	30
三重県	0.49	0.51						76	150	146	12	6	4	7	6
滋賀県	0.91	0.90						101	111	112	4	4	1	7	5
京都府	1.17	1.17	11	2	2	4	17	256	219	217	0	14	11	13	19
大阪府	1.06	1.07	30	2	1	6	38	802	748	740	11	35	32	38	34
兵庫県	1.00	1.00						456	457	453	11	25	20	30	24
奈良県	0.84	0.84						96	115	112	5	4	5	2	4
和歌山県	0.84	0.83						72	86	82	3	2	1	3	1
鳥取県	0.95	1.00						51	51	49	1	2	2	2	3
島根県	1.27	1.36						84	62	59	-2	2	2	3	2
岡山県	1.27	1.21	14	3	2	6	23	199	165	162	0	17	11	18	21
広島県	0.96	0.93						225	242	239	8	9	12	7	9
山口県	0.84	0.86						105	123	117	5	3	3	2	4
徳島県	0.90	1.02						67	66	63	1	4	0	6	6
香川県	1.12	1.12						95	85	82	0	2	0	0	5
愛媛県	0.77	0.85						105	123	119	5	5	5	3	6
高知県	1.04	1.11						73	66	62	0	2	4	0	3
福岡県	1.11	1.10	20	4	3	4	28	479	435	435	5	24	17	31	24
佐賀県	1.05	1.07						74	69	67	1	4	1	6	5
長崎県	0.88	1.02	6	0	0	0	6	122	119	114	2	6	6	6	6
熊本県	1.02	1.04						158	152	148	3	5	5	6	4
大分県	1.00	0.99						102	103	100	3	2	2	3	1
宮崎県	0.90	0.88						86	97	94	3	2	3	1	3
鹿児島県	0.98	0.97						137	141	135	3	4	5	5	2
沖縄県	1.19	1.13	8	0	0	0	8	123	108	111	1	6	2	8	7
			184	29	19	37	250								

日本専門医機構 2025年度プログラム募集シーリング数(案)

形成外科

	2016年 足下充足率	2018年 足下充足率	2025年シーリング					2018年		2024年	2024年の必要 医師数を達成 するための年間 養成数を	採用数平均 過去3年	2020年度 専攻医採用数 (地域枠採用除く)	2019年度 専攻医 採用数	2018年度 専攻医 採用数
			通常募集 プログラム数	連携プログラム 数	連携プログラム のうち 都道府県限定分	特別地域 連携プログラム	シーリング 数合計 (通常+連携+特別 地域連携)	2018年 医師数(仕事量)	必要医師数 (勤務時間調整 後)	必要医師数 (勤務時間補正 後)					
北海道	0.80	0.71						127	179	183	11	5	1	9	4
青森県	0.41	0.47						22	46	45	4	1	0	3	0
岩手県	0.58	0.64						27	43	42	3	2	3	2	1
宮城県	0.96	1.00						73	73	75	2	2	2	2	2
秋田県	0.32	0.28						11	38	37	4	0	0	0	0
山形県	0.47	0.41						16	40	39	4	0	0	0	
福島県	0.76	0.61						39	64	63	5	1	1	0	2
茨城県	0.58	0.50						44	88	91	8	2	3	3	0
栃木県	0.87	0.77						46	60	61	3	5	6	4	5
群馬県	0.45	0.44						30	67	68	6	0	0	0	
埼玉県	0.74	0.72						143	200	213	14	8	10	10	5
千葉県	0.88	0.80						150	186	196	10	11	12	15	5
東京都	1.84	2.00	30	10	6	6	46	791	395	410	-36	47	42	48	50
神奈川県	1.02	1.05						270	258	273	7	17	23	17	12
新潟県	0.46	0.44						34	78	77	7	2	4	2	1
富山県	0.68	0.59						21	36	36	3	0	0	0	
石川県	1.17	1.08						40	37	38	1	5	6	5	4
福井県	0.51	0.48						12	25	25	2	1	2	0	0
山梨県	0.63	0.57						15	27	27	2	1	2	0	0
長野県	1.05	1.04						74	71	71	1	3	5	0	4
岐阜県	0.34	0.39						24	62	63	6	0	0	0	
静岡県	0.81	0.83						99	119	122	5	4	5	5	3
愛知県	0.52	0.67						143	215	225	16	8	12	6	5
三重県	0.25	0.27						16	57	57	6	0	0	0	
滋賀県	0.76	0.77						31	40	42	2	0	0	0	
京都府	1.02	0.97						80	82	85	3	8	8	7	8
大阪府	1.10	1.16	15	2	1	2	19	317	273	282	3	18	17	19	18
兵庫県	0.98	1.05	13	0	0	2	15	179	171	177	4	11	13	9	10
奈良県	0.68	0.70						30	43	44	3	2	1	1	3
和歌山県	0.46	0.52						17	33	32	3	1	0	1	2
鳥取県	0.34	0.36						7	20	20	2	1	1	0	
島根県	0.65	0.63						15	25	24	2	0	0	0	
岡山県	1.24	1.17						74	63	64	0	5	7	5	4
広島県	0.61	0.58						53	92	94	7	1	2	1	1
山口県	0.35	0.32						16	48	48	5	0	0	0	0
徳島県	1.17	1.04						27	26	25	1	2	1	1	3
香川県	1.08	1.04						34	32	32	1	1	2	1	0
愛媛県	0.83	0.75						36	48	47	3	1	3	1	0
高知県	1.12	0.92						24	27	26	1	0	0	0	1
福岡県	1.17	1.13	7	0	0	2	9	181	160	166	2	6	7	7	3
佐賀県	0.72	0.70						19	27	27	2	2	2	1	2
長崎県	1.14	1.16						53	46	45	1	5	5	5	4
熊本県	0.48	0.51						30	59	59	5	0	0	0	
大分県	0.72	0.85						35	41	41	2	1	2	1	0
宮崎県	0.50	0.52						20	38	37	3	0	0	0	
鹿児島県	0.53	0.51						28	55	54	5	1	1	0	
沖縄県	1.18	0.98						38	39	41	1	2	4	2	1
			65	12	7	12	89								

日本専門医機構 2025年度プログラム募集シーリング数(案)

リハビリテーション科

	2016年 足下充足率	2018年 足下充足率	2025年シーリング					2018年		2024年	2024年の必要 医師数を 達成するための 年間養成数を	過去3年 採用数平均	2020年度 専攻医採用数 (地域枠採用除く)	2019年度 専攻医 採用数	2018年度 専攻医 採用数
			通常募集 プログラム数	連携プログラム 数	連携プログラムのうち 都道府県限定分	特別地域 連携プログラム	シーリング 数合計 (通常+連携+特別地域 連携)	2018年 医師数(仕事量)	必要医師数 (勤務時間調整後)	必要医師数 (勤務時間補正後)					
北海道	0.86	0.86						102	119	120	5	3	3	4	3
青森県	0.34	0.38						11	30	30	3	1	2	0	0
岩手県	0.43	0.61						17	29	28	2	0	0	0	0
宮城県	1.41	1.21						60	49	50	0	1	0	1	1
秋田県	1.03	0.91						23	25	24	1	0	0	0	0
山形県	0.53	0.49						13	26	25	2	0	0	1	0
福島県	0.27	0.32						13	42	41	4	0	0	0	0
茨城県	0.53	0.51						31	60	61	5	2	2	2	1
栃木県	0.73	0.83						34	41	41	2	0	0	0	1
群馬県	0.92	0.98						43	44	44	1	1	1	0	3
埼玉県	0.65	0.68						92	136	143	9	3	4	3	1
千葉県	0.96	0.90						114	127	132	5	3	1	3	5
東京都	1.29	1.37	16	4	1	15	35	361	264	273	-5	21	20	21	21
神奈川県	0.89	0.93						161	174	182	6	5	6	4	4
新潟県	0.58	0.61						31	52	51	4	1	0	1	1
富山県	0.83	0.87						21	24	24	1	0	0	0	0
石川県	1.18	1.00						25	25	25	1	1	0	2	1
福井県	1.05	0.97						16	17	17	0	0	0	0	
山梨県	1.13	1.32						24	18	18	0	0	0	0	
長野県	0.70	0.72						34	47	47	3	1	2	1	0
岐阜県	0.46	0.45						19	42	42	4	1	1	0	1
静岡県	1.00	0.97						77	79	80	2	1	2	1	0
愛知県	0.86	0.96						140	145	151	5	5	4	7	4
三重県	0.61	0.66						25	38	38	2	1	0	2	0
滋賀県	1.04	0.87						24	27	28	1	0	0	0	0
京都府	1.08	1.23						67	54	56	0	2	4	0	2
大阪府	1.21	1.18						217	183	188	1	3	4	1	4
兵庫県	0.95	0.98						111	114	117	3	6	8	6	5
奈良県	1.38	1.28						36	28	29	0	0	0	0	0
和歌山県	1.63	1.45						31	21	21	-1	3	6	1	3
鳥取県	1.55	1.31						17	13	13	0	0	0	0	0
島根県	1.49	1.71						28	16	16	-1	1	2	0	0
岡山県	1.70	1.46						61	42	42	-2	1	1	0	1
広島県	0.83	0.95						58	61	62	2	3	3	4	2
山口県	1.04	1.01						32	32	31	1	0	0	0	0
徳島県	0.86	1.31						22	17	17	0	1	0	1	2
香川県	0.82	0.68						15	21	21	1	0	0	0	0
愛媛県	1.25	1.16						36	31	31	0	0	0	0	0
高知県	1.14	0.96						17	17	17	0	0	0	0	0
福岡県	1.21	1.17						126	107	110	1	3	3	1	4
佐賀県	0.84	0.83						15	18	18	1	1	1	0	1
長崎県	0.62	0.70						21	31	30	2	0	0	0	
熊本県	0.99	0.84						33	40	39	2	0	1	0	0
大分県	0.76	0.78						21	27	26	1	0	0	0	0
宮崎県	0.91	0.57						14	25	25	2	0	0	0	0
鹿児島県	1.54	1.44						53	37	36	-1	2	2	2	2
沖縄県	1.36	1.35						36	26	28	0	1	0	0	2
			16	4	1	15	35								

日本専門医機構 2025年度プログラム募集シーリング数（案）

全体

	2025年シーリング					
	通常募集プログラム数	連携プログラム数	連携プログラムのうち 都道府県限定分	特別地域連携プログラム	精神科指定医連携	（通常+連携+特別地域+連携+精神科指定医） シーリング数合計
北海道	20	3	1	6	0	29
青森県						
岩手県						
宮城県						
秋田県						
山形県						
福島県						
茨城県						
栃木県						
群馬県						
埼玉県						
千葉県						
東京都	1,022	255	96	149	5	1,431
神奈川県	14	1	1	1	0	16
新潟県						
富山県						
石川県	19	0	0	3	0	22
福井県						
山梨県						
長野県						
岐阜県						
静岡県						
愛知県	16	1	0	1	0	18
三重県						
滋賀県	7	0	0	0	0	7
京都府	161	28	11	20	0	209
大阪府	357	26	9	41	0	424
兵庫県	52	1	0	2	0	55
奈良県						
和歌山県	29	3	1	3	0	35
鳥取県	15	1	0	2	0	18
島根県						
岡山県	102	11	5	14	0	127
広島県						
山口県						
徳島県	16	4	3	2	0	22
香川県						
愛媛県						
高知県						
福岡県	232	49	15	31	1	313
佐賀県	8	0	0	1	0	9
長崎県	55	4	3	4	0	63
熊本県	52	0	0	6	0	58
大分県						
宮崎県						
鹿児島県						
沖縄県	15	0	0	1	0	16
	2,192	387	145	287	6	2,872

シーリングに関する研究の報告

1

研究の概要

研究の概要

- 令和5年度厚生労働行政推進調査事業補助金（厚生労働科学特別研究）により、「日本専門医機構における医師専門研修シーリングによる医師偏在対策の効果検証」（研究代表者：日本専門医機構理事長 渡辺毅）を実施した。
- 医師養成過程を通じた医師偏在対策は、従来、地域枠を中心とした医学部定員の増員や臨床研修制度における募集定員の上限設定が行われてきた。また、医師の専門研修においては、2018年度専攻医募集より5大都市（東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、福岡県）の14基本領域に対して、2020年度専攻医募集からは、13基本領域に対して、都道府県別・診療科別の必要医師数に基づいて、専門研修プログラムにシーリングが設定されるようになったが、その効果・影響について、これまで報告された研究はなかった。
- 本研究では、日本専門医機構における専門研修プログラム登録データベースの解析、専攻医及び専門研修プログラム統括責任者を対象としてアンケート調査等を行った。
- その結果、
【専攻医の都道府県・基本領域の選択行動】
 - ・募集定員等の制約がなければ他の都道府県・基本領域を選択したという専攻医が一定程度みられた中でも、基本領域を変更するよりは研修先の都道府県を変更する専攻医のほうが多かった
 - 現行のシーリングは、専攻医の都道府県・基本領域の選択行動に一定の効果があったと考えられる**
- 【専門研修終了後の専攻医の動向】
 - ・専門研修終了後、派遣先の都道府県での勤務を希望する専攻医が一定程度みられた
 - ただし、自記式アンケートのため、回答者の属性に留意が必要である
 - 連携プログラムや特別地域連携プログラムは、専門研修終了後もその地域への定着を期待できる取組と評価できると考えられた。**
- 本研究により、専攻医が専門研修プログラム（領域、地域、プログラム）を選択する上で重要なこと、基本領域を決定する時期、専門研修終了後も地域に定着する上で必要な取組・支援等、今後の医師偏在対策のあり方を検討する上で重要な示唆が得られた。

2

研究目的

- 日本専門医機構がもつデータ、専攻医に対する網羅的なアンケート調査、ならびに現時点で利用可能なデータを用いて、現在行われているシーリングが医師の地域・診療科偏在に対する効果を検証することである。
- さらに、専攻医がいかにして専門研修を行う都道府県や診療科を選択しているのか、その要因の分析を試みる。

研究方法

1 データベース解析

専攻医の研修履歴情報等のデータベースを、匿名化して抽出し、卒業大学所在地、臨床研修実施病院所在地、専門研修プログラム期間中の研修施設所在地、専門研修後の勤務地について集計・分析

調査内容：

- ・ 専攻医が専門医取得するまでの間の都道府県移動
- ・ 専攻医期間中の医師不足地域への勤務状況
- ・ 研修プログラム不合格者の動向分析
- ・ 大学・臨床研修・専門研修実施地と勤務地の関係把握
- ・ シーリング設定が専門研修プログラム採用者数に与えた影響の確認

2 アンケート調査

専門研修プログラム専攻医アンケート調査（以下「専攻医調査」）、専門研修プログラム統括責任者アンケート調査（以下「責任者調査」）の2種類をWEB形式で実施

① 専攻医調査

対象：2020年度～2023年度に19基本領域の専門研修プログラムに登録した専攻医（既にプログラムを修了した者を含む）

回答率：46.3%（15,857名/36,427名）

主な調査項目：属性、経歴、プログラム選択要因、専門研修修了後の進路等

② 責任者調査

対象：基本領域19領域の専門研修プログラム統括責任者

回答率：60.5%（2,249名/3,716名）

対象：基本領域19領域の専門研修プログラム統括責任者
主な調査項目：属性、シーリングへの対応や影響について、専門研修プログラム作成について等

3 海外調査

ドイツ及びフランスの専門医の偏在対策調査

研究結果

1. データベース解析

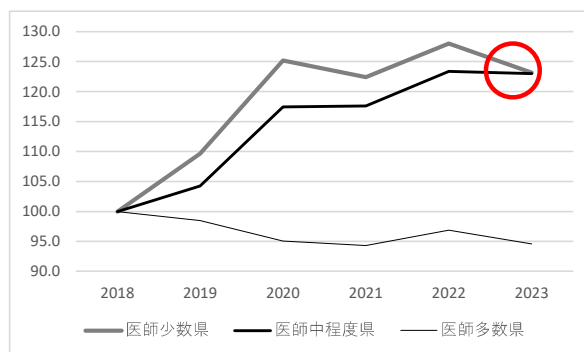
【シーリング設定が専門研修プログラム採用者数に与えた影響の確認】

<新たにシーリングが設定された際の採用者数変化>

採用年	シーリング設定		採用者数		
	前年	当年	前年	当年	変化数
2020	あり	あり	1881	1754	-127
	あり	なし	1261	1440	179
	なし	あり	719	585	-134
2021	なし	なし	13369	14245	876
	あり	あり	2220	2184	-36
	あり	なし	119	159	40
2022	なし	あり	344	270	-74
	なし	なし	15341	15389	48
	あり	あり	2378	2476	98
2023	あり	なし	76	86	10
	なし	あり	-	-	-
	なし	なし	15548	16235	687
2023	あり	あり	2476	2459	-17
	あり	なし	-	-	-
	なし	あり	-	-	-
	なし	なし	16321	16111	-210

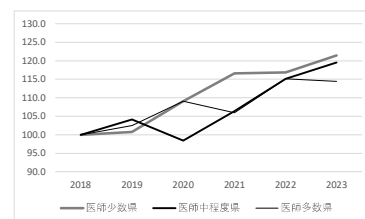
表：シーリングの設定状況別に見た採用者数の変化

<シーリングの有無による都道府県別の採用者数推移>



上図：シーリングのある
右図：シーリングのない
診療科の採用者数の推移

医師多数県 東京、石川、滋賀、京都、大阪、和歌山、鳥取、岡山、徳島、香川、高知、福岡、佐賀、長崎、熊本、沖縄
医師中程度県 北海道、宮城、神奈川、富山、福井、山梨、愛知、兵庫、奈良、鳥取、広島、山口、愛媛、大分、鹿児島
医師少数県 青森、岩手、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、新潟、長野、岐阜、静岡、三重、富山



- シーリングのある領域では、医師多数県における採用数が抑制され、医師少数県及び医師中程度県における採用者数が増加していた。

研究結果

1. データベース解析

【研修プログラム不合格者の動向分析】

○ 不合格者293名のうち、都道府県・基本領域とも変更しなかったものが190名（64.8%）と最多だが、変更したものでは都道府県のみの変更が97名（33.1%）である一方、基本領域の変更は6名（2.0%）にとどまった。

【大学・初期研修・専門研修実施地と勤務地の関係把握】

○ 専門研修地と勤務地が同一のものの割合は2,733名（79.9%）で、初期臨床研修地と同一が2,250名（65.8%）、卒業大学所在地と同一が1,738名（50.8%）に比して、高かった。

5

研究結果

1. データベース解析（参考図表）

不合格となった研修プログラムと最終的に選択された研修プログラムの比較

領域変更	なし	なし	あり	あり	合計
領域					
1 内科	31	22	0	1	54
2 小児科	7	3	0	0	10
3 皮膚科	6	1	0	0	7
4 精神科	19	28	1	1	49
5 外科	18	0	0	0	18
6 整形外科	13	6	0	0	19
7 産婦人科	21	2	0	0	23
8 眼科	14	1	0	0	15
9 耳鼻咽喉科	6	0	0	0	6
10 泌尿器科	0	0	0	0	0
11 脳神経外科	5	1	0	0	6
12 放射線科	4	3	0	0	7
13 麻酔科	4	5	0	0	9
14 病理	2	0	0	0	2
15 臨床検査	5	0	0	0	5
16 救急科	12	0	0	0	12
17 形成外科	10	17	1	1	29
18 リハビリテーション科	6	8	0	0	14
19 総合診療	7	0	1	0	8
総計	190	97	3	3	293

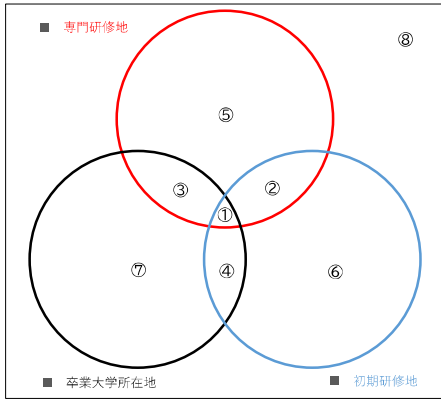
（領域は、不合格となった研修プログラムの領域を示す）

表：不合格となった研修プログラムと最終的に選択された研修プログラムの比較

6

研究結果

1. データベース解析（参考図表）



	卒業大学	初期研修	専門研修	人数	%
①	○	○	○	1389	40.6%
②	×	○	○	743	21.7%
③	○	×	○	257	7.5%
④	○	○	×	33	1.0%
⑤	×	×	○	344	10.1%
⑥	×	○	×	85	2.5%
⑦	○	×	×	59	1.7%
⑧	×	×	×	507	14.8%
合計				3417	100.0%

○：就業都道府県と同一都道府県

×：就業都道府県と異なる都道府県で実施

卒業大学所在地で勤務（①+③+④+⑦） 50.8%

初期研修地で勤務（①+②+④+⑥） 65.8%

専門研修地で勤務（①+②+③+⑤） 79.9%

表：卒業大学所在地、初期研修地、専門研修地と勤務地の一致状況

研究結果

2. アンケート調査

【専攻医調査（有効回答数15,857件・有効回答率46.3%）】

<制約がない場合の専攻医の希望>

*プログラムの募集定員枠がなく、各病院の試験や内定も不要で、自由にプログラムを選べた場合

		専攻領域（19基本領域）の変更			計
		はい	いいえ	わからない	
都道府県 の変更	はい	649	1,126	362	2,137
		4.1%	7.1%	2.3%	13.5%
	いいえ	334	9,854	839	11,027
		2.1%	62.1%	5.3%	69.5%
	わからない	135	1,062	1,496	2,693
		0.9%	6.7%	9.4%	17.0%
計		1,118	12,042	2,697	15,857
		7.1%	75.9%	17.0%	100.0%

表：制約がなければ今とは異なる都道府県・基本領域を希望したか

○ 制約がなければ、他の都道府県・基本領域を選択したという専攻医は2,606名（16.4%）と一定程度みられ、中でも基本領域を変更する希望を示す専攻医は1,118名（7.1%）に対して、都道府県を変更する希望を示す専攻医は2,137名（13.5%）と多かった。

・ 他の都道府県を希望した専攻医2,137名が、もともと希望していた都道府県としては、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県、京都府、福岡県が多かった。中でも、東京都を希望した専攻医は856名で該当者の4割を占め特に多かった。

・ 他の基本領域を希望した専攻医1,118名が、もともと希望していた基本領域としては、内科が189名と最も多く、次いで外科が109名であった。制約がなければ内科を希望した189名のうち、現在の領域は総合診療が33名で最も多かった。

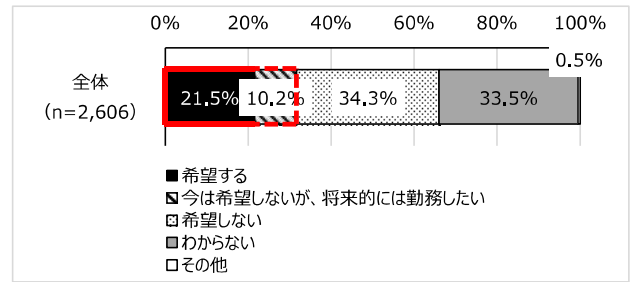
2. アンケート調査

【専攻医調査（有効回答数15,857件・有効回答率46.3%）】

＜専門研修プログラム終了後の希望＞

		人数 (人)	はい	いいえ	わからない
全体		15,857	63.1	10.8	26.0
性別	男性	9,905	61.9	11.8	26.3
	女性	5,952	65.2	9.3	25.5
専門研修 開始年	2020年	4,205	71.5	12.8	15.7
	2021年	3,720	67.3	12.3	20.5
	2022年	3,567	57.2	9.2	33.5
	2023年	3,849	54.8	8.7	36.5
	それ以外	516	68.2	11.6	20.2

表：専門研修プログラム終了後に、当該都道府県に定着するか



図：連携プログラム・特別地域連携プログラム採用者の専門研修終了後における、派遣されていた連携先都道府県での勤務希望

- 専門研修終了後に、当該都道府県に残るかを尋ねた結果、「はい（残る）」が63.1%、「いいえ（残らない）」が10.8%、「わからない」が26.0%であった。
- 希望進路として「専門研修を受けた医療機関の関連医局に入局（継続の場合を含む）」が57.1%、「異なる医局に入局」が3.8%、「医局には入局しない」が15.6%であった。また、「専門研修を受けた医療機関」を挙げたのは12.3%であった。
- 連携プログラム・特別地域連携プログラムで採用された2,606名（16.4%）に絞って、専門研修終了後に派遣されていた連携先都道府県での勤務希望を尋ねた結果、「希望する」が21.5%、「今は希望しないが、将来的には希望したい」が10.2%、「希望しない」が34.3%、「わからない」が33.5%であった。

9

2. アンケート調査

【専攻医調査（有効回答数15,857件・有効回答率46.3%）】

- 専攻領域を決めた時期については、半数近くの専攻医（53.2%）が「臨床研修2年目」であったが、領域によって、決めた時期に特徴がみられ、小児科では「医学部入学前」、外科、産婦人科、脳神経外科では「医学部後半（臨床実習開始後）」の割合が相対的に高かった。
- 基本領域を選択した理由としては、「やりがいを感じるから」（62.6%）が最も多く、次いで「将来にわたって専門性を維持しやすいから」（36.6%）であるが、基本領域によって最も多かった選択理由は異なる結果となった。
- 専門研修を実施する都道府県を選択した理由としては、「出身地の都道府県だから」（32.1%）が最も多く、次いで「自分の希望に最も沿った医療機関・プログラムがあるから」（31.3%）、「出身大学のある都道府県だから」（31.1%）であった。
- 専門研修プログラムを選択する上で重要なこととして、「専門研修プログラムの内容が充実していること」（48.6%）が最も多く、次いで「優れた指導者いること」（41.7%）、「豊富な症例実績があること（量・質）」（27.1%）であった。
- 医師不足地域の医療機関に勤務する場合に必要な支援等として、「勤務地や待遇、住まいの調整、子供の就学案内、配偶者の就業支援など希望に添った対応を行ってくれるドクターバンク（公的な無料マッチング事業）がある」（54.7%）が最も多く、次いで「休診時の代替医を派遣・調整してくれる体制がある」（54.4%）、「診療上のサポート体制がある（専門医への遠隔相談など）」（50.3%）が多かった。

研究結果

2. アンケート調査（参考図表）

	人数 (人)	医学部 入学前	医学部 前半 (臨床 実習開 始前)	医学部 後半 (臨床 実習開 始後)	臨床研 修1年目	臨床研 修2年目	臨床研 修後	その他
全体	15,857	7.4	3.7	15.7	14.4	53.2	4.6	1.0
内科	4,829	3.7	3.4	13.7	17.6	58.5	2.9	0.3
小児科	1,158	22.8	5.4	19.5	9.6	40.2	2.2	0.2
皮膚科	529	7.4	2.6	11.0	12.9	61.4	3.8	0.9
精神科	865	13.8	3.6	9.4	12.6	45.3	12.6	2.8
外科	1,565	7.0	4.0	24.2	13.1	47.5	3.6	0.6
整形外科	1,037	12.9	2.1	14.9	13.0	52.6	4.1	0.5
産婦人科	1,062	10.6	4.2	22.8	12.0	47.6	2.5	0.2
眼科	504	9.9	3.2	15.9	15.3	52.2	3.2	0.4
耳鼻咽喉科	413	4.8	2.2	15.5	9.7	66.3	1.5	0.0
泌尿器科	453	2.0	1.3	16.8	14.8	63.6	1.3	0.2
脳神経外科	355	7.9	7.0	25.4	13.5	43.4	2.0	0.8
放射線科	601	2.0	2.8	15.5	15.5	56.7	5.8	1.7
麻酔科	777	1.8	2.2	13.1	19.7	56.4	5.4	1.4
病理	204	3.9	18.1	17.2	6.4	36.8	12.7	4.9
臨床検査	51	0.0	0.0	2.0	2.0	11.8	51.0	33.3
救急科	553	6.3	3.1	9.0	14.3	58.0	7.2	2.0
形成外科	292	4.5	3.1	13.7	18.2	55.5	4.1	1.0
リハビリテーション科	207	1.0	1.4	8.2	9.7	46.9	23.2	9.7
総合診療	402	5.0	7.5	11.9	7.5	53.7	10.4	4.0

表：専門研修プログラムの専攻領域を決めた時期

11

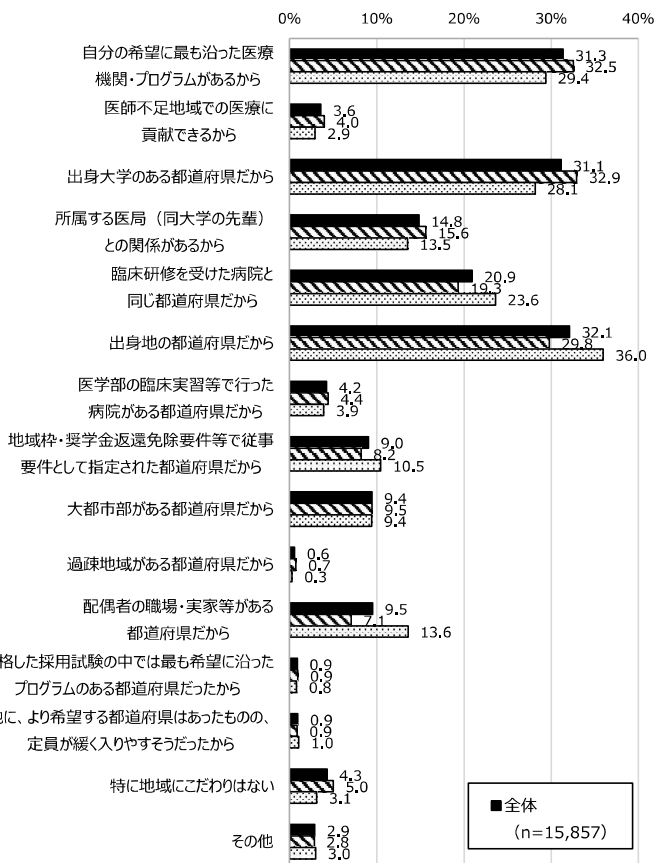
研究結果

2. アンケート調査（参考図表）

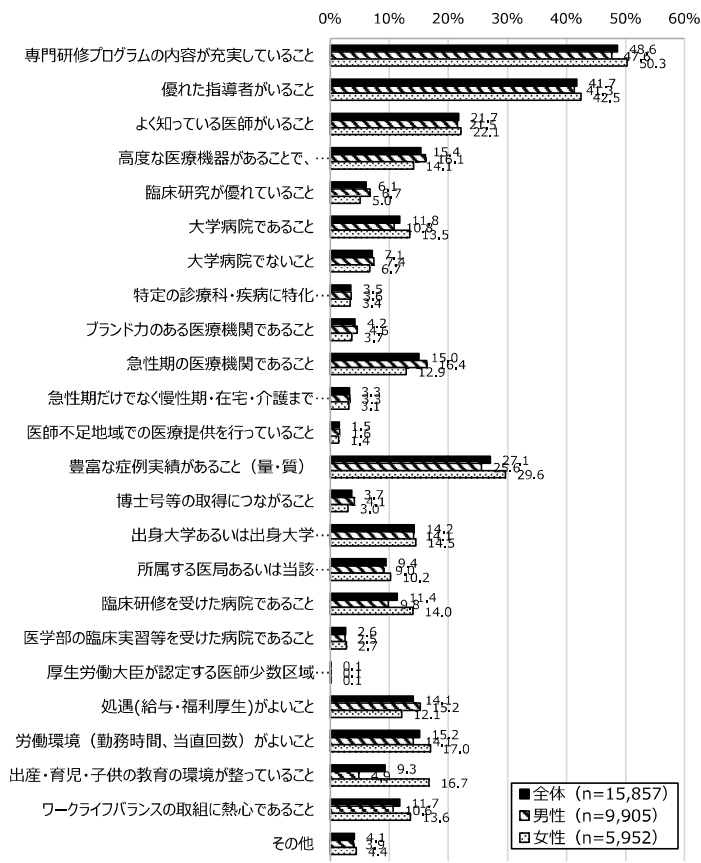
人数 (人)	将来にわたって専門性を維持しやすいから	やりがいを感じるから	適性・才能があるから	生命に直結するから	生命に直結しないから	手技が少ないから	手技が多いから	手技が高度だから	手技が簡単だから	訴訟リスクが小さいから	診療できる疾患が広いから	開業がしやすいから	親族が開業している科と関連があるから	医師が不足しており競争が少ないから	医師が多く業務の分担が期待できるから	医師以外の職種とのタスクシフト・タスクシェアリングが進んでいるから	地域枠の指定の診療科が含まれる基本領域だから	取る機会が多いから	患者とコミュニケーションを取る機会が少ないから	患者とコミュニケーションを取る機会が多いから	給与等処遇が良いから	ワークライフバランスの確保ができるから	ハラスメントが少なそうだから	博士号が取りやすいから	指導・教育体制が充実しているから	専門医が取得しやすいから	先輩や教授等に誘われたから	総合的な診療能力を獲得しやすいと思ったから	地域に貢献できる科だから	試験の中で最も希望した採用した診療科だったから	他に、より希望する診療科はあったもの、合格した診療科はなかったもの	他に、より希望する診療科はなかったもの、定義が緩く入りやすそうだったから	その他
全体	15,857	36.6	62.6	19.1	12.9	4.8	5.1	27.4	6.8	1.0	1.4	19.1	7.1	6.1	5.0	1.5	1.5	1.6	12.2	2.3	4.4	24.4	4.0	0.8	6.6	3.7	8.9	14.3	7.8	0.3	0.5	3.8	
内科	4,829	44.9	57.0	17.6	11.9	1.7	9.3	19.4	3.6	1.1	1.3	23.0	8.9	6.7	4.3	1.9	0.6	1.6	14.7	0.1	2.1	16.1	3.3	0.9	7.5	1.3	8.6	22.6	7.4	0.2	0.5	3.3	
小児科	1,158	15.5	86.0	16.4	10.9	0.3	1.1	6.0	1.0	0.1	0.1	23.9	3.7	4.7	2.0	0.5	0.2	2.7	22.3	0.0	0.3	5.9	4.8	0.5	6.9	1.7	3.9	22.8	12.0	0.6	0.5	3.4	
皮膚科	529	36.7	47.3	21.2	0.2	21.0	1.1	23.1	1.1	3.8	6.4	18.9	21.4	11.5	0.8	1.7	0.2	0.6	12.5	0.0	1.7	52.7	7.4	1.1	4.3	0.2	6.4	3.2	5.7	0.6	0.8	4.3	
精神科	865	42.5	57.9	36.3	1.2	11.7	21.2	0.1	0.0	1.8	2.0	3.4	7.7	6.6	0.8	2.2	3.1	0.9	25.5	0.0	7.1	50.8	9.8	1.4	7.5	4.9	5.9	1.5	6.6	0.5	0.5	6.1	
外科	1,565	24.3	77.7	12.6	26.3	0.5	0.3	51.8	23.3	0.7	0.0	10.5	1.3	1.9	7.9	0.2	0.2	1.2	6.8	0.1	0.8	8.6	1.2	0.4	4.6	1.2	11.4	10.0	4.4	0.1	0.6	2.6	
整形外科	1,037	44.8	66.2	15.5	0.6	12.5	0.4	45.1	6.4	0.5	0.6	13.5	13.4	10.5	0.8	3.7	1.0	1.3	8.0	0.1	8.2	11.2	1.4	0.8	6.8	4.5	12.9	2.3	9.7	0.4	0.5	2.5	
産婦人科	1,062	33.9	81.5	11.7	22.8	0.2	0.1	39.5	1.9	0.9	0.1	15.7	2.2	6.5	8.0	0.8	0.8	2.6	12.1	0.0	12.1	6.3	1.3	0.2	3.6	9.6	8.7	2.1	7.5	0.5	0.1	3.4	
眼科	504	52.8	42.7	15.1	0.4	22.8	0.2	39.3	14.7	0.0	2.6	1.4	12.5	22.0	1.0	0.6	1.4	0.4	4.4	0.2	5.6	46.4	4.4	0.2	4.8	3.4	6.0	1.4	2.2	0.4	0.2	2.8	
耳鼻咽喉科	413	43.1	50.6	10.4	2.4	3.4	0.0	53.5	8.7	0.5	1.5	27.4	23.0	13.8	4.6	1.5	0.7	0.0	9.7	0.0	2.4	31.7	7.7	0.2	5.8	2.9	13.1	2.7	5.6	0.7	0.5	2.2	
泌尿器科	453	45.3	54.1	13.9	2.2	3.1	0.0	51.7	6.6	2.2	1.1	25.2	6.6	4.9	5.5	0.9	1.3	0.2	6.4	0.0	3.5	32.7	6.0	0.7	4.6	7.3	17.2	6.4	3.8	0.2	0.2	4.0	
脳神経外科	355	29.0	75.8	12.4	35.8	0.3	0.3	39.4	36.6	0.6	0.3	12.4	0.6	2.8	5.6	0.3	0.0	0.3	2.0	0.0	4.5	0.0	6.0	0.0	2.8	0.3	9.6	6.5	4.8	0.6	0.6	5.6	
放射線科	601	43.6	49.1	34.1	4.2	6.8	12.0	6.3	3.8	0.7	6.7	30.0	0.3	1.0	10.1	2.3	6.7	0.2	3.2	22.5	4.0	61.9	11.6	2.7	12.1	3.3	12.0	6.7	2.3	0.0	0.8	4.2	
麻酔科	777	34.7	50.3	30.1	23.3	0.1	0.5	41.8	4.6	0.5	0.8	5.7	0.4	1.3	3.3	4.0	2.7	1.8	0.4	18.0	16.2	59.7	1.8	0.6	6.0	6.6	6.8	6.6	0.5	0.3	0.1	3.2	
病理	204	45.1	51.5	34.3	1.5	6.4	11.8	0.0	0.5	1.0	2.5	26.0	0.0	0.5	21.6	0.0	1.5	1.0	0.0	32.4	1.5	53.4	3.4	5.9	5.9	2.5	6.9	4.9	1.5	0.5	0.1	14.2	
臨床検査	51	37.3	13.7	11.8	0.0	3.9	2.0	2.0	3.9	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	17.6	0.0	9.8	0.0	0.0	3.9	0.0	51.0	2.0	7.8	7.8	9.8	31.4	11.8	2.0	2.0	0.0	25.5	
救急科	553	16.3	69.1	17.5	53.9	0.7	0.0	31.6	6.0	1.1	0.5	35.8	1.3	0.7	5.8	1.1	6.0	3.1	6.7	0.7	7.8	35.1	1.3	0.5	6.5	12.7	7.4	38.7	17.0	0.0	1.1	2.2	
形成外科	292	20.2	64.7	28.4	0.0	25.3	0.0	61.0	24.3	1.4	1.0	17.5	7.2	2.4	0.7	0.3	0.7	0.7	2.7	0.0	2.7	28.1	3.4	0.3	4.5	1.7	4.8	0.7	2.4	0.7	1.7	4.8	
リハビリテーション科	207	38.2	53.1	23.2	0.5	18.8	11.6	0.5	0.0	1.9	10.6	29.0	1.9	3.9	26.1	0.5	11.1	0.0	31.4	0.0	4.3	62.8	13.0	1.4	5.8	15.9	11.6	18.4	19.3	1.0	1.4	7.2	
総合診療	402	17.2	59.7	28.9	2.7	0.7	6.0	1.5	0.2	1.7	1.0	42.8	14.2	6.0	8.2	0.7	3.5	6.2	31.8	0.0	2.2	25.9	7.0	0.0	14.2	8.7	6.2	63.9	44.0	0.7	1.2	8.5	

表：現在の基本領域を選択した理由（複数回答）

2. アンケート調査（参考図表）

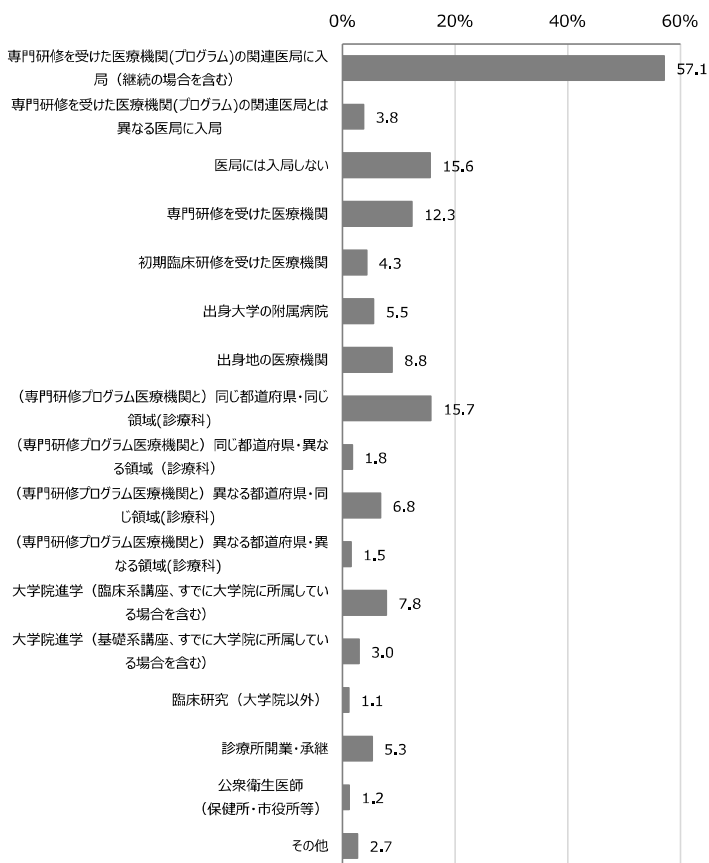


図：専門研修を実施する都道府県を選択した理由（複数回答）

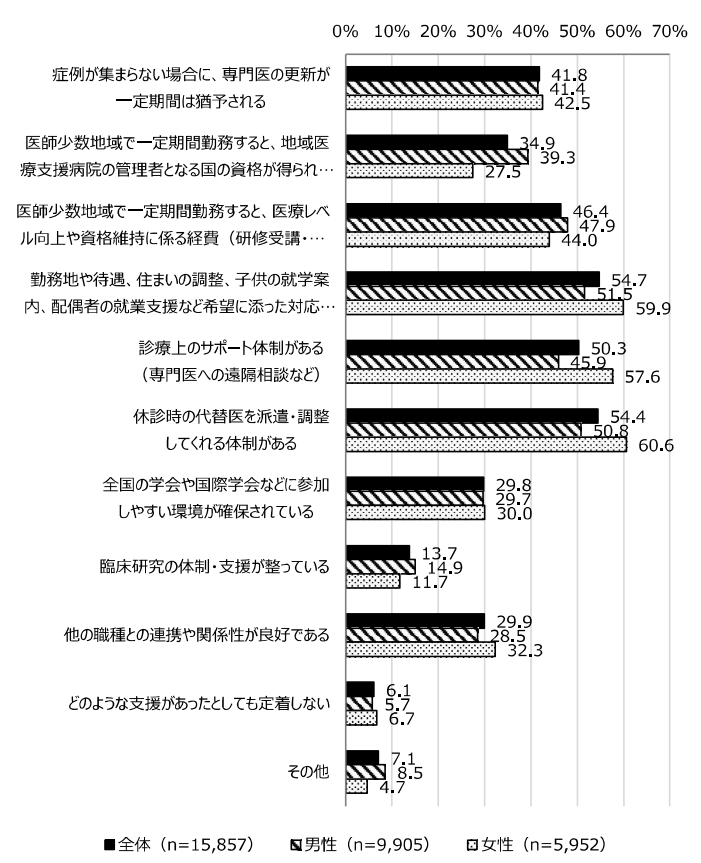


図：専門研修プログラムを選択する際に重要なこと（複数回答）

2. アンケート調査（参考図表）



図：専門研修プログラム終了後の希望進路（複数回答）



図：医師不足地域の医療機関に勤務する場合に必要な支援等（複数回答）

3. 海外調査

- ドイツでは、専門研修過程ではなく、専門医の開業許可時に制約を設けるといった対応をしている。その際、政府ではなく、当事者である州医師会・保険者団体等が需要計画をもとに過剰地域での開業を認めないといった対応をしている。
- フランスでは、専門研修の養成講座で地方・診療科の募集数を設定している。開業については自由開業が認められている。

考察・結論

考察

- 2020年度～2023年度の4年間に専門研修プログラムに登録した専攻医15,876名の回答が得られた。
- 制約がない場合、16.4%が専門研修プログラムにおいて、別の都道府県・基本領域を希望したと回答した。
→必ずしもシーリングによる直接的な効果に限ったものではないことに留意する必要があるが、**シーリングは医師偏在対策として専攻医の都道府県・基本領域の選択行動に一定の効果があったと評価できる。**
 - <地域偏在>
 - ・シーリングのある領域では、シーリングのない領域と比較して、医師多数県での採用者数が抑制されている。
 - ・一方で、医師少数県の採用者数の増加については、地域によってばらつきがあり、特に東北・東海・甲信越地方の医師少数県においては、シーリングによる効果が十分に発揮されているとは言えない。
 - <診療科偏在>
 - ・シーリングによる効果の可能性が示唆されたものの、対象となる都道府県や採用上限数等、設定方法により大きく異なってくると考えられ、本研究で十分に解析することは困難であった。
- 専攻医は都道府県を変更してでも基本領域を優先する意向が強いことがうかがえる。

結論

- 現行のシーリングは、医師の地域偏在対策・診療科偏在対策において、専攻医の選択行動に一定の効果があると推察される。
- 今後、今回得られた結果も踏まえ、地域枠をはじめとしたその他の医師偏在対策の効果を除いたシーリングによる効果の解析等を含む、他の視点からの継続的な解析が必要である。
- そのうえで、専攻医の意向等を踏まえた適切な医師偏在対策を行うことが重要である。

本県の専門研修の運用状況に関するデータ集

令和6年度専攻医の採用数（滋賀県）

	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	救急科	形成外科	テーパリ リハビリ テーション科	総合診療	基幹施設 合計	
滋賀医科大学医学部附属病院	19	3	4	5	7	3	3	6	2	5	0	2	5	1	8	0	0	0	73	
市立大津市民病院	0												2						2	
大津赤十字病院	8	3			2	1	0					1	2		3				20	
JCHO滋賀病院													0					0	0	
淡海医療センター	1					0			0				0						1	
滋賀県立総合病院	3								0				2						5	
済生会滋賀県病院	4					1							0		0				5	
滋賀県立精神医療センター				1															1	
近江八幡市立総合医療センター	3					0				0			1						4	
東近江総合医療センター	0																		0	
彦根市立病院	0																		0	
市立長浜病院	0																		0	
高島市民病院																		1	1	
(以下診療所)																				
大津ファミリークリニック																			0	0
弓削メディカルクリニック																			1	1
浅井東診療所																			2	2
にしあざい診療所																			0	0
診療科 合計	38	6	4	6	9	5	3	6	2	5	0	3	12	1	11	0	0	4	115	
R6シーリング数		7																		

※本県に基幹施設の無い臨床検査は除く。

参考：令和5年度新規登録者数 96名

診療科別専攻医採用数の推移（R2～R6）

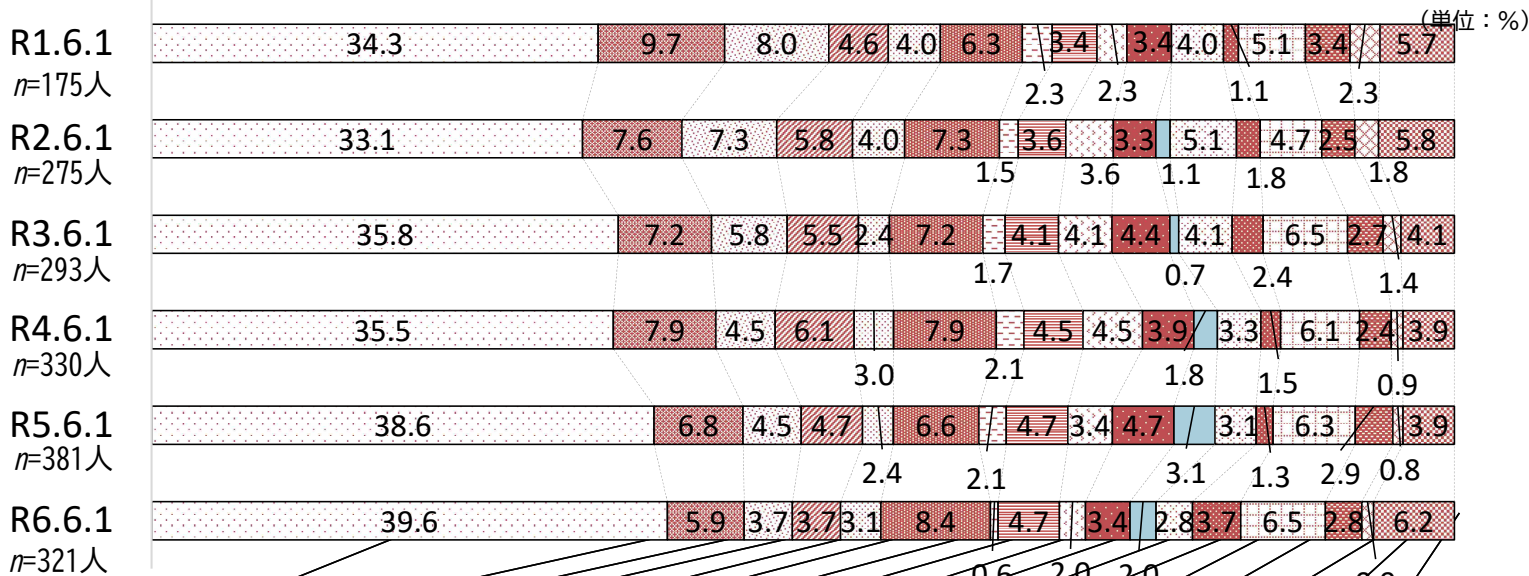
滋賀県「専門研修運用状況調査」

(単位:人)

	内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	整形外科	脳神経外科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	形成外科	泌尿器科	救急科	麻酔科	放射線科	病理診断科	総合診療科	合計
R2	32	3	6	5	6	9	1	4	3	3	0	5	1	1	1	1	6	87
R3	32	6	2	5	1	9	2	2	1	5	0	4	5	12	3	0	5	94
R4	40	8	3	1	5	16	3	4	3	4	0	1	0	14	3	1	5	113
R5	43	6	2	4	4	7	0	5	0	4	2	3	1	3	3	1	7	96
R6	38	9	6	3	6	5	0	6	2	4	0	5	11	12	3	1	4	115
R4～6の 平均値	41	8	4	3	5	10	1	5	2	4	1	3	4	10	3	1	6	108

県内医療機関で勤務している専攻医（診療科別の割合）

滋賀県「専門研修運用状況調査（令和6年6月1日現在）」



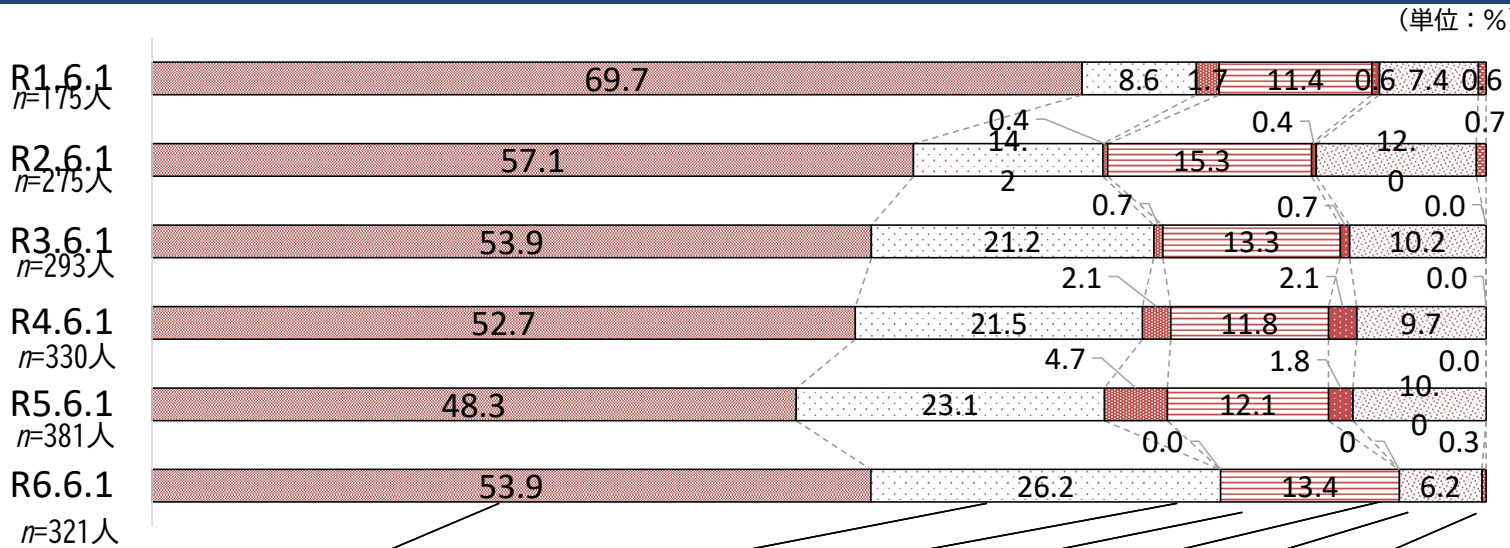
(単位：人)

	内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	整形外科	脳神経外科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	形成外科	泌尿器科	救急科	麻酔科	放射線科	病理診断科	総合診療科	合計
R1.6.1	60	17	14	8	7	11	4	6	4	6	0	7	2	9	6	4	10	175
R2.6.1	91	21	20	16	11	20	4	10	10	9	3	14	5	13	7	5	16	275
R3.6.1	105	21	17	16	7	21	5	12	12	13	2	12	7	19	8	4	12	293
R4.6.1	117	26	15	20	10	26	7	15	15	13	6	11	5	20	8	3	13	330
R5.6.1	147	26	17	18	9	25	8	18	13	18	12	12	5	24	11	3	15	381
R6.6.1	127	19	12	12	10	27	2	15	6	11	6	9	12	21	9	3	20	321

※県内医療機関で勤務している専攻医の人数であるため、県内基幹施設の専門研修プログラム登録数とは一致しない。
 ※R6. 6. 1時点の専攻医数は基幹施設に勤務する専攻医のみ（連携施設で勤務する専攻医が未反映。今後追加で調査する予定。）

県内医療機関で勤務している専攻医（圏域別の割合）

滋賀県「専門研修運用状況調査（令和6年6月1日現在）」



(単位：人)

	大津	湖南	甲賀	東近江	湖東	湖北	高島	合計
R1.6.1	122	15	3	20	1	13	1	175
R2.6.1	157	39	1	42	1	33	2	275
R3.6.1	158	62	2	39	2	30	0	293
R4.6.1	174	71	7	39	7	32	0	330
R5.6.1	184	88	18	46	7	38	0	381
R6.6.1	173	84	0	43	0	20	1	321

※県内医療機関で勤務している専攻医の人数であるため、県内基幹施設の専門研修プログラム登録数とは一致しない。
 ※R6. 6. 1時点の専攻医数は基幹施設に勤務する専攻医のみ（連携施設で勤務する専攻医が未反映。今後追加で調査する予定。）

県内医療機関で勤務している専攻医（研修年数別）

滋賀県「専門研修運用状況調査（令和6年6月1日現在）」

（単位：人）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	計
内科	37	51	37	2	-	127
小児科	6	4	2	-	-	12
皮膚科	5	3	2	1	0	11
精神科	6	1	3	-	-	10
外科	11	5	2	1	-	19
整形外科	3	3	18	3	-	27
産婦人科	3	4	4	1	-	12
眼科	8	6	1	-	-	15
耳鼻咽喉科	2	1	2	1	-	6
泌尿器科	5	3	1	-	-	9
脳神経外科	0	0	2	0	-	2
放射線科	1	4	4	-	-	9
麻酔科	5	1	9	6	-	21
病理	1	1	1	-	-	3
救急科	9	2	1	-	-	12
形成外科	1	4	1	-	-	6
リハビリテーション科	0	0	0	-	-	0
総合診療	4	11	5	-	-	20
計	107	104	95	15	0	321

※県内医療機関で勤務している専攻医の人数であるため、県内基幹施設の専門研修プログラム登録数とは一致しない。

※R6.6.1時点の専攻医数は基幹施設に勤務する専攻医のみ（連携施設で勤務する専攻医が未反映。今後追加で調査する予定。）

令和7年度（2025年度）の専攻医募集定員（予定）

	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	救急科	形成外科	リハビリテーション科	総合診療	基幹施設合計	
滋賀医科大学医学部附属病院	21	10	6	7	12	6	10	4	6	7	7	6	15	2	10	3	2	5	139	
市立大津市民病院	4												2						6	
大津赤十字病院	16	3			10	5	3					3	3		4			6	53	
JCHO滋賀病院																		2	2	
淡海医療センター	4					3			1				4						12	
滋賀県立総合病院	4								2				2						8	
済生会滋賀県病院	7					9							5		5				26	
滋賀県立精神医療センター				2															2	
近江八幡市立総合医療センター	10					3				2			5						20	
東近江総合医療センター	3																		3	
彦根市立病院	3																		3	
市立長浜病院	3																		3	
高島市民病院																		2	2	
（以下診療所）																				
大津ファミリークリニック																			2	2
弓削メディカルクリニック																			8	8
浅井東診療所																			5	5
にしあざい診療所																			2	2
診療科 合計	75	13	6	9	22	26	13	4	9	9	7	9	36	2	19	3	2	32	296	
R7シーリング数		7																		

※本県に基幹施設の無い臨床検査は除く。
※募集定員のシーリング調整前。

参考：令和6年度募集定員 288名

【新規基幹施設予定(R7~)】
大津赤十字病院(総合診療)

**令和7年度
専門研修プログラムにおける
連携施設の状況一覧**

内科

内科 1/2

圏域	連携施設	A群					
		大津			湖南		
		市立大津市民病院	大津赤十字病院	滋賀医科大学医学部附属病院	淡海医療センター	滋賀県立総合病院	済生会滋賀県病院
	RO定員数	4	16	21	4	4	7
	研修期間(月数)	36	36~48	36	36	36	36
	研修期間のうち、県外期間(月数)	0	0	0	12	0	0
A群	大津	打出病院					
		市立大津市民病院			○		
		大津赤十字病院			○		
		大津赤十字志賀病院		○			
		堅田病院					
		滋賀医科大学医学部附属病院	○	○		○	○
		滋賀県病院					
		地域医療機能推進機構滋賀病院			○	○	
		瀬田川病院					
		ひかり病院					
		琵琶湖病院					
		琵琶湖大橋病院					
		琵琶湖中央病院					
		琵琶湖養育院病院					
		山田整形外科病院					
	大津FC						
	湖南	桂川レディースクリニック					
		近江草津徳洲会病院			○		
		淡海医療センター			○		○
		淡海ふれあい病院				○	
		滋賀県立精神医療センター					
		びわこ学園医療福祉センター草津					
		南草津野村病院					
		南草津病院					○
		滋賀県立小原保健医療センター		○	○		○
		滋賀県立総合病院		○	○		○
		済生会守山市民病院			○	○	○
		済生会滋賀県病院			○	○	○
		湖南病院					
		びわこ学園医療福祉センター野洲			○		○
市立野洲病院				○		○	
こびらい生協診療所					○		
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院					
		公立甲賀病院			○	○	
		甲南病院			○		
		国立病院機構紫香楽病院			○		
		水口病院					
		生田病院					
		甲西リハビリ病院					
		あらまき内科クリニック					○
		湖南市立石部診療所					○
		医療生協こうせい駅前診療所					○
	東近江	ウォーリス記念病院			○		
		近江八幡市立総合医療センター			○		○
		滋賀八幡病院				○	
		青葉病院					
		近江温泉病院					
		神崎中央病院					
		国立病院機構東近江総合医療センター				○	
		湖東記念病院			○		
		東近江敬愛病院					
		東近江市立能登川病院			○		
	湖東	日野記念病院					
		竜王町国民健康保険診療所					
		湖東診療所					
		水源寺診療所					
		東近江市立蒲生医療センター					
		弓削MC					
		彦根市立病院	○		○		○
		彦根中央病院					
		友仁山崎病院			○		
		徳田医院					
湖北	豊郷病院			○			
	市立長浜病院			○			
	セフィロト病院						
	長浜赤十字病院		○	○		○	
	長浜市立湖北病院						
	中之郷診療所						
	にしあさい診療所						
	ケアセンターいぶき						
	近江診療所						
	浅井東診療所						
湖西	今津病院						
	高島市民病院		○	○		○	
	朽木診療所						
	マキノ病院						
	京都府	6	8	7	2	7	5
	大阪府	1	8	11	2	8	2
	兵庫県		2	1		2	1
	奈良県			1		1	
	和歌山県		2	1		1	
	福井県		1			1	
岡山県			1		1		
神奈川県			2				
北海道							
沖縄県							
鹿児島県							
東京都			1				
	県外計	7	21	25	4	21	8
	A群計	1	3	9	4	4	7
	B群計	1	2	14	1	6	4
	合計(A群+B群+県外)	9	26	48	9	31	19

内科

内科 2/2

圏域	連携施設	B群				連携病院数
		東近江		湖東	湖北	
		近江八幡市立総合医療センター	国立病院機構東近江総合医療センター	彦根市立病院	市立長浜病院	
	R6定員数	10	3	3	3	
	研修期間(月数)	36	36	36	36	
	研修期間のうち、県外期間(月数)	0	0	0	0	
A群	打出病院					14
	市立大津市民病院			○		
	大津赤十字病院					
	大津赤十字志賀病院					
	堅田病院					
	滋賀医科大学医学部附属病院	○	○	○	○	
	滋賀里病院					
	地域医療機能推進機構滋賀病院					
	瀬田川病院					
	ひかり病院					
	琵琶湖病院					
	琵琶湖大橋病院					
	琵琶湖中央病院					
	琵琶湖養育院病院					
	山田整形外科病院					
	大津FC					
	桂川レディースクリニック					
	近江草津徳洲会病院					
	淡海医療センター					
	淡海ふれあい病院					
	滋賀県立精神医療センター					
	びわこ学園医療福祉センター草津					
	南草津野村病院					
	南草津病院					
	滋賀県立小原保健医療センター					
	滋賀県立総合病院	○		○		
	済生会守山市民病院					
済生会滋賀県病院	○					
湖南病院						
びわこ学園医療福祉センター野洲						
市立野洲病院						
こびらい生協診療所						
B群	甲賀市立信楽中央病院					20
	公立甲賀病院					
	甲南病院					
	国立病院機構紫香楽病院					
	水口病院					
	生田病院					
	甲西リハビリ病院					
	あまき内科クリニック					
	湖南市立石部診療所					
	医療生協こうせい駅前診療所					
	ウォーリス記念病院	○				
	近江八幡市立総合医療センター					
	滋賀八幡病院					
	青葉病院					
	近江温泉病院					
	神崎中央病院					
	国立病院機構東近江総合医療センター	○				
	湖東記念病院					
	東近江敬愛病院					
	東近江市立能登川病院	○				
	日野記念病院					
	竜王町国民健康保険診療所					
	湖東診療所					
	水源寺診療所					
	東近江市立蒲生医療センター	○				
	弓削MC	○				
	彦根市立病院				○	
	彦根中央病院					
	友仁山崎病院					
	徳田医院					
	豊郷病院					
	市立長浜病院			○		
	セフィロト病院					
長浜赤十字病院						
長浜市立湖北病院				○		
中之郷診療所						
にしあさい診療所						
ケアセンターいぶき						
近江診療所						
浅井東診療所						
今津病院						
高島市民病院						
朽木診療所						
マキノ病院						
県外	京都府	10		1	1	
	大阪府	4		1		
	兵庫県					
	奈良県			1		
	和歌山県					
	福井県			1		
	岡山県					
	神奈川県					
	北海道					
	沖縄県					
鹿児島県						
東京都						
	県外計	14		4	1	
	A群計	3	1	3	1	
	B群計	5		1	2	
	合計(A群+B群+県外)	22	1	8	4	

令和7年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

小児科

圏域		A群		連携病院数
		大津		
連携施設		大津赤十字病院	滋賀医科大学医学部附属病院	
R6定員数		3	10	
研修期間(月数)		36	36	
研修期間のうち、県外期間(月数)		0	0	
A群	大津	打出病院		
		市立大津市民病院		
		大津赤十字病院		
		大津赤十字志賀病院		
		堅田病院		
		滋賀医科大学医学部附属病院	○	
		滋賀里病院		
		地域医療機能推進機構滋賀病院		○
		瀬田川病院		
		ひかり病院		
		琵琶湖病院		
		琵琶湖大橋病院		
		琵琶湖中央病院		
		琵琶湖養育院病院		
	山田整形外科病院			
	大津FC			
	桂川レディースクリニック			
	湖南	近江草津徳洲会病院		○
		淡海医療センター		
		淡海ふれあい病院		
		滋賀県立精神医療センター		
		ひわこ学園医療福祉センター草津		○
		南草津野村病院		
		南草津病院		
		滋賀県立小児保健医療センター	○	
		滋賀県立総合病院		○
		済生会守山市民病院		○
済生会滋賀県病院			○	
湖南病院				
ひわこ学園医療福祉センター野洲			○	
市立野洲病院				
こひらい生協診療所				
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院		
		公立甲賀病院		
		甲南病院		
		国立病院機構紫香薬病院		○
		水口病院		
		生田病院		
		甲西リハビリ病院		
		あらまき内科クリニック		
		湖南市立石部診療所		
		医療生協こうせい駅前診療所		
	東近江	ウォーリス記念病院		
		近江八幡市立総合医療センター		○
		滋賀八幡病院		
		青葉病院		
		近江温泉病院		
		神崎中央病院		
		国立病院機構東近江総合医療センター		○
		湖東記念病院		○
		東近江敬愛病院		
		東近江市立能登川病院		
		日野記念病院		○
		竜王町国民健康保険診療所		
		湖東診療所		
		永源寺診療所		
	東近江市立蒲生医療センター			
	弓削MC			
	湖東	彦根市立病院	○	○
彦根中央病院				
友仁山崎病院				
徳田医院				
豊郷病院				
湖北	市立長浜病院			
	セフィロト病院			
	長浜赤十字病院		○	
	長浜市立湖北病院		○	
	中之郷診療所			
	にしあざい診療所			
	ケアセンターいぶき			
	近江診療所			
湖西	浅井東診療所			
	今津病院			
	高島市民病院			
	朽木診療所			
マキノ病院				
県外	京都府	1	1	
	大阪府			
	兵庫県	1		
	奈良県	1		
	静岡県		1	
	北海道			
	沖縄県			
	鹿児島県			
県外計		3	2	
A群計		2	6	
B群計		1	8	
合計(A群+B群+県外)		6	16	

皮膚科

圏域		A群		連携病院数
		大津		
連携施設		基幹施設	滋賀医科大学医学部附属病院	
R6定員数		6		
研修期間(月数)		60		
研修期間のうち、県外期間(月数)		0		
A群	大津	打出病院		2
		市立大津市民病院		
		大津赤十字病院		
		大津赤十字志賀病院		
		堅田病院		
		滋賀医科大学医学部附属病院		
		滋賀里病院		
		地域医療機能推進機構滋賀病院	○	
		瀬田川病院		
		ひかり病院		
		琵琶湖病院		
		琵琶湖大橋病院		
		琵琶湖中央病院		
		琵琶湖養育院病院		
		山田整形外科病院		
	大津FC			
	湖南	桂川レディースクリニック		
		近江草津徳洲会病院	○	
		淡海医療センター		
		淡海ふれあい病院		
		滋賀県立精神医療センター		
		びわこ学園医療福祉センター草津		
		南草津野村病院		
		南草津病院		
		滋賀県立小児保健医療センター		
		滋賀県立総合病院		
		済生会守山市民病院		
済生会滋賀県病院				
湖南病院				
びわこ学園医療福祉センター野洲				
市立野洲病院				
こびらい生協診療所				
B群	甲賀	甲賀市立信達中央病院	○	5
		公立甲賀病院		
		甲南病院		
		国立病院機構紫香楽病院		
		水口病院		
		生田病院		
		甲西リハビリ病院		
		あまき内科クリニック		
		湖南市立石部診療所		
		医療生協こうせい駅前診療所		
		ウォーリス記念病院		
		近江八幡市立総合医療センター		
	滋賀八幡病院			
	青葉病院			
	近江温泉病院			
	神崎中央病院			
	国立病院機構東近江総合医療センター	○		
	湖東記念病院			
	東近江敬愛病院	○		
	東近江市立能登川病院			
	日野記念病院	○		
	竜王町国民健康保険診療所			
	湖東診療所			
	永源寺診療所			
	東近江市立蒲生医療センター			
	月削MC			
	湖東	彦根市立病院	○	
彦根中央病院				
太仁山崎病院				
徳田医院				
豊郷病院				
湖北		市立長浜病院		
		セフィロト病院		
		長浜赤十字病院		
		長浜市立湖北病院		
		中之郷診療所		
	にしあざい診療所			
	ケアセンターいふき			
湖西	近江診療所			
	浅井東診療所			
	今津病院			
	高島市民病院			
	朽木診療所			
マキノ病院				
県外	大阪府		1	
	兵庫県			
	奈良県			
	和歌山県			
	三重県			
	愛知県		1	
	福井県			
	静岡県			
	石川県			
	岐阜県			
	岡山県			
	福岡県			
	神奈川県			
	北海道			
	沖縄県			
	鹿児島県		1	
	東京都			
	県外計			3
	A群計			2
	B群計			5
合計(A群+B群+県外)			10	

令和7年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

精神科

圏域		A群		連携病院数
		大津	湖南	
		連携施設	滋賀医科大学医学部附属病院	県立精神医療センター
		R6定員数	7	2
		研修期間(月数)	36	36
		研修期間のうち、県外期間(月数)	0	0
A群	大津	打出病院		
		市立大津市民病院		
		大津赤十字病院		
		大津赤十字志賀病院		
		堅田病院		
		滋賀医科大学医学部附属病院		○
		滋賀里病院	○	○
		地域医療機能推進機構滋賀病院		
		瀬田川病院	○	○
		ひかり病院		
		琵琶湖病院	○	○
		琵琶湖大橋病院		
		琵琶湖中央病院		
		琵琶湖養育院病院		
	山田整形外科病院			
	大津FC			
	桂川レディースクリニック			
	湖南	近江草津徳洲会病院		
		淡海医療センター		
		淡海ふれあい病院		
		滋賀県立精神医療センター	○	
		びわこ学園医療福祉センター草津		
		南草津野村病院		
		南草津病院		
		滋賀県立小児保健医療センター		
		滋賀県立総合病院		
済生会守山市民病院				
済生会滋賀県病院				
湖南病院		○	○	
びわこ学園医療福祉センター野洲				
市立野洲病院				
こびらい生協診療所				
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院		
		公立甲賀病院		
		甲南病院		
		国立病院機構紫香楽病院		
		水口病院	○	○
		生田病院		
		甲西リハビリ病院		
		あらかま内科クリニック		
		湖南市立石部診療所		
		医療生協こうせい駅前診療所		
	東近江	ヴォーリス記念病院		
		近江八幡市立総合医療センター	○	○
		滋賀八幡病院		
		青葉病院		
		近江温泉病院		
		神崎中央病院		
		国立病院機構東近江総合医療センター		
		湖東記念病院		
		東近江敬愛病院		
		東近江市立能登川病院		
		日野記念病院		
		童王町国民健康保険診療所		
		湖東診療所		
		永源寺診療所		
	東近江市立蒲生医療センター			
	弓削IMC			
湖東	彦根市立病院			
	彦根中央病院			
	友仁山崎病院			
	徳田医院			
湖北	豊郷病院	○	○	
	市立長浜病院			
	セフィロト病院	○	○	
	長浜赤十字病院	○	○	
	長浜市立湖北病院			
	中之郷診療所			
	にしあざい診療所			
湖西	ケアセンターいぶき			
	近江診療所			
	浅井東診療所			
	今津病院			
県外	高島市民病院			
	朽木診療所			
	マキノ病院			
	三重県	1		
	愛知県	1		
	岐阜県	4		
		京都府		1
		大阪府		1
		栃木県		1
		県外計	6	3
A群計		5		5
B群計		5		5
合計(A群+B群+県外)		16		13

令和7年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

外科

圏域	A群		連携病院数		
	大津				
	連携施設	基幹施設			
		大津赤十字病院	滋賀医科大学医学部附属病院		
	R6定員数	10	12		
	研修期間(月数)	36	36		
	研修期間のうち、県外期間(月数)	0	0		
A群	大津	打出病院			4
		市立大津市民病院			
		大津赤十字病院		○	
		大津赤十字志賀病院			
		堅田病院			
		滋賀医科大学医学部附属病院			
		滋賀里病院			
		地域医療機能推進機構滋賀病院		○	
		瀬田川病院			
		ひかり病院			
		琵琶湖病院			
		琵琶湖大橋病院			
		琵琶湖中央病院			
		琵琶湖養育院病院			
		山田整形外科病院			
		大津FC			
	桂川レディースクリニック				
	湖南	近江草津徳洲会病院		○	
		淡海医療センター			
		淡海ふれあい病院			
		滋賀県立精神医療センター			
		ひわご学園医療福祉センター草津			
		南草津野村病院			
		南草津病院			
		滋賀県立小児保健医療センター			
		滋賀県立総合病院	○		
		済生会守山市民病院			
		済生会滋賀県病院			
		湖南病院			
		ひわご学園医療福祉センター野洲			
		市立野洲病院			
		こびらい生協診療所			
B群		甲賀	甲賀市立信楽中央病院	○	○
	公立甲賀病院				
	甲南病院				
	国立病院機構紫香楽病院				
	水口病院				
	生田病院				
	甲西リハビリ病院				
	あまき内科クリニック				
	湖南市立石部診療所				
	医療生協こうせい駅前診療所				
	東近江	ウォーリス記念病院			
		近江八幡市立総合医療センター		○	
		滋賀八幡病院			
		青葉病院			
		近江温泉病院			
		神崎中央病院			
		国立病院機構東近江総合医療センター		○	
		湖東記念病院		○	
		東近江敬愛病院			
		東近江市立能登川病院			
		日野記念病院		○	
		竜王町国民健康保険診療所			
	湖東	湖東診療所			
		永源寺診療所			
		東近江市立蒲生医療センター			
		月削MC			
		彦根市立病院	○		
		彦根中央病院			
		友仁山崎病院			
		徳田医院			
		豊郷病院		○	
		湖北	市立長浜病院	○	
セフィロト病院					
長浜赤十字病院	○		○		
長浜市立湖北病院					
中之郷診療所					
にしあざい診療所					
ケアセンターいぶき					
近江診療所					
湖西	浅井東診療所				
	今津病院				
	高島市民病院	○			
	朽木診療所				
		マキノ病院			
県外	京都府			8	
	大阪府			3	
	兵庫県			1	
	静岡県			1	
	高知県			1	
	石川県			1	
	北海道				
	沖縄県				
	鹿児島県				
		県外計			15
	A群計	1		3	
	B群計	5		7	
	合計(A群+B群+県外)	6		25	

令和7年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

整形外科

圏域	A群					連携病院数	
	大津		湖南		東近江		
	連携施設	基幹施設	大津赤十字病院	滋賀医科大学医学部附属病院	淡海医療センター		済生会滋賀県病院
R6定員数		5	6	3	9	3	
研修期間(月数)		48	45	48	48	45	
研修期間のうち、県外期間(月数)		0	0	0	12	0	
A群	大津	打出病院					
		市立大津市民病院				○	
		大津赤十字病院		○	○		○
		大津赤十字志賀病院					
		堅田病院					
		滋賀医科大学医学部附属病院			○		○
		滋賀里病院					
		地域医療機能推進機構滋賀病院		○	○		○
		瀬田川病院					
		ひかり病院					
		琵琶湖病院					
		琵琶湖大橋病院				○	
		琵琶湖中央病院					
		琵琶湖養育院病院					
	山田整形外科病院						
	大津FC						
	桂川レディースクリニック						
	湖南	近江草津徳洲会病院					
		淡海医療センター		○			○
		淡海ふれあい病院					
		滋賀県立精神医療センター					
		ひわこ学園医療福祉センター草津					
		南草津野村病院					
		南草津病院					
		滋賀県立小児保健医療センター	○	○	○		○
		滋賀県立総合病院	○	○	○		○
		済生会守山市民病院					
済生会滋賀県病院							
湖南病院							
ひわこ学園医療福祉センター野洲							
市立野洲病院							
こひらい生協診療所							
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院					
		公立甲賀病院	○	○	○		○
		甲南病院					
		国立病院機構紫香楽病院					
		水口病院					
		生田病院					
		甲西リハビリ病院					
		あらまき内科クリニック					
		湖南市立石部診療所					
		医療生協こうせい駅前診療所					
	東近江	ヴォーリス記念病院					
		近江八幡市立総合医療センター		○			
		滋賀八幡病院					
		青葉病院					
		近江温泉病院					
		神崎中央病院					
		国立病院機構東近江総合医療センター		○	○		○
		湖東記念病院		○	○		○
		東近江敬愛病院					
		東近江市立能登川病院					
		日野記念病院					
		竜王町国民健康保険診療所					
		湖東診療所					
	永源寺診療所						
	東近江市立蒲生医療センター						
	弓削MC						
	湖東	彦根市立病院					
		彦根中央病院					
		友仁山崎病院					
		徳田医院					
		豊郷病院					
		市立長浜病院	○	○			○
		セフィロト病院					
長浜赤十字病院		○	○			○	
長浜市立湖北病院							
中之郷診療所							
湖北	にしあざい診療所						
	ケアセンターいぶき						
	近江診療所						
	浅井東診療所						
	今津病院						
	高島市民病院	○					
	朽木診療所						
マキノ病院							
県外	京都府	7	5	4	5		
	大阪府		2	1	5		
	兵庫県		1				
	神奈川県		1				
	北海道		1				
	宮城県		1				
	福井県	2					
県外計	9	11	5	10			
A群計	2	5	5	2	6		
B群計	4	6	3	5	5		
合計(A群+B群+県外)	15	22	13	12	11		

令和7年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

産婦人科

圏域		A群		連携病院数	
		大津			
連携施設		基幹施設	大津赤十字病院	滋賀医科大学医学部附属病院	連携病院数
R6定員数			3	10	
研修期間(月数)			36	36	
研修期間のうち、県外期間(月数)			0	0	
A群	大津	打出病院			5
		市立大津市民病院			
		大津赤十字病院		○	
		大津赤十字志賀病院			
		堅田病院			
		滋賀医科大学医学部附属病院			
		滋賀里病院			
		地域医療機能推進機構滋賀病院			
		瀬田川病院			
		ひかり病院			
		琵琶湖病院			
		琵琶湖大橋病院			
		琵琶湖中央病院			
		琵琶湖養育院病院			
	山田整形外科病院				
	大津FC				
	桂川レディースクリニック	○			
	湖南	近江草津徳洲会病院			
		淡海医療センター	○	○	
		淡海ふれあい病院			
		滋賀県立精神医療センター			
		びわこ学園医療福祉センター草津			
		南草津野村病院			
		南草津病院			
		滋賀県立小児保健医療センター			
		滋賀県立総合病院	○	○	
		済生会守山市民病院			
済生会滋賀県病院			○		
湖南病院					
びわこ学園医療福祉センター野洲					
市立野洲病院					
B群	甲賀	こびらい生協診療所			5
		甲賀市立信楽中央病院			
		公立甲賀病院		○	
		甲南病院			
		国立病院機構紫香楽病院			
		水口病院			
		生田病院			
		甲西リハビリ病院			
		あらまき内科クリニック			
		湖南市立石部診療所			
	医療生協こうせい駅前診療所				
	東近江	ワオーリス記念病院			
		近江八幡市立総合医療センター		○	
		滋賀八幡病院			
		青葉病院			
		近江温泉病院			
		神崎中央病院			
		国立病院機構東近江総合医療センター		○	
		湖東記念病院			
		東近江敬愛病院			
		東近江市立能登川病院			
		日野記念病院			
		竜王町国民健康保険診療所			
		湖東診療所			
		永源寺診療所			
	東近江市立蒲生医療センター				
	弓削MC				
湖東	彦根市立病院				
	彦根中央病院				
	友仁山崎病院				
	徳田医院				
	豊郷病院				
湖北	市立長浜病院				
	セフィロト病院				
	長浜赤十字病院	○	○		
	長浜市立湖北病院				
	中之郷診療所				
	にしあざい診療所				
	ケアセンターいぶき				
湖西	近江診療所				
	浅井東診療所				
	今津病院		○		
京都市	高島市民病院				
	朽木診療所				
	マキノ病院				
	京都府	3			
	北海道				
県外	沖縄県				
	鹿児島県				
	県外計	3			
A群計			3	4	
B群計			1	5	
合計(A群+B群+県外)			7	9	

眼科

圏域		A群		連携病院数
		大津		
		基幹施設	滋賀医科大学医学部附属病院	
		連携施設		
		R6定員数	4	
		研修期間(月数)	48	
		研修期間のうち、県外期間(月数)	12	
A群	大津	打出病院		2
		市立大津市民病院		
		大津赤十字病院		
		大津赤十字志賀病院		
		堅田病院		
		滋賀医科大学医学部附属病院		
		滋賀里病院		
		地域医療機能推進機構滋賀病院	○	
		瀬田川病院		
		ひかり病院		
		琵琶湖病院		
		琵琶湖大橋病院		
		琵琶湖中央病院		
		琵琶湖養育院病院		
	山田整形外科病院			
	大津FC			
	桂川レディースクリニック			
	湖南	近江草津徳洲会病院		
		淡海医療センター	○	
		淡海ふれあい病院		
		滋賀県立精神医療センター		
		びわこ学園医療福祉センター草津		
		南草津野村病院		
		南草津病院		
		滋賀県立小児保健医療センター		
		滋賀県立総合病院		
済生会守山市民病院				
済生会滋賀県病院				
湖南病院				
びわこ学園医療福祉センター野洲				
市立野洲病院				
こひらい生協診療所				
甲賀	甲賀市立信楽中央病院			
	公立甲賀病院	○		
	甲南病院			
	国立病院機構紫香楽病院			
	水口病院			
	生田病院			
	甲西リハビリ病院			
	あらまき内科クリニック			
	湖南市立石部診療所			
	医療生協こうせい駅前診療所			
	東近江	ワオーリス記念病院		
		近江八幡市立総合医療センター	○	
		滋賀八幡病院		
		青葉病院		
近江温泉病院				
神崎中央病院				
国立病院機構東近江総合医療センター		○		
湖東記念病院				
東近江敬愛病院				
東近江市立能登川病院				
日野記念病院				
竜王町国民健康保険診療所				
湖東診療所				
永源寺診療所				
東近江市立蒲生医療センター				
弓削MC				
湖東	彦根市立病院	○		
	彦根中央病院			
	友仁山崎病院			
	徳田医院			
	豊郷病院	○		
湖北	市立長浜病院			
	セフィロト病院			
	長浜赤十字病院			
	長浜市立湖北病院			
	中之郷診療所			
	にしあざい診療所			
	ケアセンターいぶき			
近江診療所				
浅井東診療所				
湖西	今津病院			
	高島市民病院			
	朽木診療所			
	マキノ病院			
県外	京都府		1	
	大阪府			
	北海道			
	沖縄県			
	鹿児島県			
		県外計		1
		A群計		2
		B群計		5
		合計(A群+B群+県外)		8

令和7年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

耳鼻咽喉科

圏域	A群			連携病院数		
	基幹施設	大津	湖南			
	連携施設	滋賀医科大学医学部附属病院	淡海医療センター	滋賀県立総合病院		
	R6定員数	6	1	2		
	研修期間(月数)	48	48	48		
	研修期間のうち、県外期間(月数)	0	0	12		
A群	大津	打出病院				
		市立大津市民病院				
		大津赤十字病院			○	
		大津赤十字志賀病院				
		堅田病院				
		滋賀医科大学医学部附属病院		○		
		滋賀里病院				
		地域医療機能推進機構滋賀病院	○			
		瀬田川病院				
		ひかり病院				
		琵琶湖病院				
		琵琶湖大橋病院				
		琵琶湖中央病院				
		琵琶湖養育院病院				
	山田整形外科病院					
	大津FC					
	桂川レディースクリニック					
	湖南	近江草津徳洲会病院				
		淡海医療センター	○			
		淡海ふれあい病院				
		滋賀県立精神医療センター				
		びわこ学園医療福祉センター草津				
		南草津野村病院				
		南草津病院				
		滋賀県立小児保健医療センター			○	
		滋賀県立総合病院				
		済生会守山市民病院				
済生会滋賀県病院						
湖南病院						
びわこ学園医療福祉センター野洲						
市立野洲病院						
こひらい生協診療所						
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院				
		公立甲賀病院	○			
		甲南病院				
		国立病院機構紫香楽病院				
		水口病院				
		生田病院				
		甲西リハビリ病院				
		あらまき内科クリニック				
		湖南市立石部診療所				
		医療生協こうせい駅前診療所				
		東近江	ワオーリス記念病院			
			近江八幡市立総合医療センター			
			滋賀八幡病院			
	青葉病院					
	近江温泉病院					
	神崎中央病院					
	国立病院機構東近江総合医療センター		○			
	湖東記念病院					
	東近江敬愛病院					
	東近江市立能登川病院					
	日野記念病院		○			
	竜王町国民健康保険診療所					
	湖東診療所					
	永源寺診療所					
	東近江市立蒲生医療センター					
	弓削MC					
	湖東	彦根市立病院	○			
彦根中央病院						
友仁山崎病院						
徳田医院						
豊郷病院						
湖北	市立長浜病院	○				
	セフィロト病院					
	長浜赤十字病院	○				
	長浜市立湖北病院					
	中之郷診療所					
	にしあざい診療所					
	ケアセンターいぶき					
近江診療所						
浅井東診療所						
湖西	今津病院					
	高島市民病院					
	朽木診療所					
県外	マキノ病院					
	京都府	2	1	1		
	大阪府	1		1		
	和歌山県			1		
	鳥取県		1			
岡山県			1			
	県外計	3	2	4		
	A群計	2	1	2		
	B群計	6				
	合計(A群+B群+県外)	11	3	6		

令和7年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

泌尿器科

圏域		A群		B群		連携病院数
		大津		東近江		
		基幹施設	滋賀医科大学医学部附属病院	近江八幡市立総合医療センター		
		連携施設				
		R6定員数	7	2		
		研修期間(月数)	48	48		
		研修期間のうち、県外期間(月数)	0	12		
A群	大津	打出病院				
		市立大津市民病院	○			
		大津赤十字病院				
		大津赤十字志賀病院				
		堅田病院				
		滋賀医科大学医学部附属病院				
		滋賀里病院				
		地域医療機能推進機構滋賀病院	○			
		瀬田川病院				
		ひかり病院				
		琵琶湖病院				
		琵琶湖大橋病院				
		琵琶湖中央病院				
		琵琶湖養育院病院				
	山田整形外科病院					
	大津FC					
	桂川レディースクリニック					
	湖南	近江草津徳洲会病院				
		淡海医療センター	○			
		淡海ふれあい病院				
		滋賀県立精神医療センター				
		びわこ学園医療福祉センター草津				
		南草津野村病院				
		南草津病院				
		滋賀県立小児保健医療センター				
		滋賀県立総合病院				
		済生会守山市民病院				
済生会滋賀県病院		○				
湖南病院						
びわこ学園医療福祉センター野洲						
市立野洲病院	○					
こびらい生協診療所						
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院				
		公立甲賀病院	○			
		甲南病院				
		国立病院機構紫香楽病院				
		水口病院				
		生田病院				
		甲西リハビリ病院				
		あらまき内科クリニック				
		湖南市立石部診療所				
		医療生協こうせい駅前診療所				
		東近江	ワオーリス記念病院			
	近江八幡市立総合医療センター					
	滋賀八幡病院					
	青葉病院					
	近江温泉病院					
	神崎中央病院					
	国立病院機構東近江総合医療センター		○			
	湖東記念病院					
	東近江敬愛病院					
	東近江市立能登川病院					
	日野記念病院		○			
	竜王町国民健康保険診療所					
	湖東診療所					
	永源寺診療所					
	東近江市立蒲生医療センター					
	弓削MC					
	湖東	彦根市立病院	○			
彦根中央病院						
友仁山崎病院						
徳田医院						
豊郷病院		○				
湖北	市立長浜病院	○				
	セフィロト病院					
	長浜赤十字病院	○				
	長浜市立湖北病院		○			
	中之郷診療所					
	にしあざい診療所					
	ケアセンターいぶき					
近江診療所						
浅井東診療所						
湖西	今津病院					
	高島市民病院	○				
	朽木診療所					
		マキノ病院				
県外	京都府		1		8	
	和歌山県				1	
	北海道					
	沖縄県					
	鹿児島県					
		県外計	1		9	
		A群計	5			
		B群計	8		1	
		合計(A群+B群+県外)	14		10	

脳神経外科

圏域		A群		連携 病院数
		連携施設	基幹施設	
		滋賀医科大学医学部附属病院		
R6定員数		7		
研修期間(月数)		48		
研修期間のうち、県外期間(月数)		0		
A群	大津	打出病院		3
		市立大津市民病院		
		大津赤十字病院	○	
		大津赤十字志賀病院		
		堅田病院		
		滋賀医科大学医学部附属病院		
		滋賀里病院		
		地域医療機能推進機構滋賀病院		
		瀬田川病院		
		ひかり病院		
		琵琶湖病院		
		琵琶湖大橋病院		
		琵琶湖中央病院		
		琵琶湖養育院病院		
		山田整形外科病院		
	大津FC			
	桂川レディースクリニック			
	湖南	近江草津徳洲会病院		
		淡海医療センター	○	
		淡海ふれあい病院		
		滋賀県立精神医療センター		
		びわこ学園医療福祉センター草津		
		南草津野村病院		
		南草津病院		
		滋賀県立小児保健医療センター		
		滋賀県立総合病院		
		済生会守山市民病院		
		済生会滋賀県病院	○	
		湖南病院		
		びわこ学園医療福祉センター野洲		
市立野洲病院				
こひらい生協診療所				
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院	○	5
		公立甲賀病院		
		甲南病院		
		国立病院機構紫香楽病院		
		水口病院		
		生田病院		
		甲西リハビリ病院		
		あらかま内科クリニック		
		湖南市立石部診療所		
		医療生協こうせい駅前診療所		
	東近江	フォーリス記念病院		
		近江八幡市立総合医療センター	○	
		滋賀八幡病院		
		青葉病院		
		近江温泉病院		
		神崎中央病院		
		国立病院機構東近江総合医療センター		
		湖東記念病院	○	
		東近江敬愛病院		
		東近江市立能登川病院		
	日野記念病院			
	湖東	竜王町国民健康保険診療所		
		湖東診療所		
		永源寺診療所		
		東近江市立蒲生医療センター		
		弓削MC		
		彦根市立病院		
		彦根中央病院		
		友仁山崎病院		
		徳田医院		
豊郷病院				
湖北	市立長浜病院			
	セフィロト病院			
	長浜赤十字病院	○		
	長浜市立湖北病院			
	中之郷診療所			
	ICLあさい診療所			
	ケアセンターいふき			
	近江診療所			
	浅井東診療所			
	今津病院			
湖西	高島市民病院	○		
	朽木診療所			
	マキノ病院			
県外	京都府		6	
	大阪府		5	
	兵庫県			
	奈良県		1	
	和歌山県			
	三重県			
	愛知県			
	福井県			
	静岡県		1	
	石川県			
	岐阜県			
	岡山県		1	
	三重県		1	
	福岡県		1	
	鹿児島県			
		県外計		16
A群計			3	
B群計			5	
合計(A群+B群+県外)			24	

放射線科

圏域	A群			連携病院数	
	大津				
	連携施設	大津赤十字病院	滋賀医科大学医学部附属病院		
	R6定員数	3	6		
	研修期間(月数)	36	36		
	研修期間のうち、県外期間(月数)	0	0		
A群	大津	打出病院			4
		市立大津市民病院	○		
		大津赤十字病院			
		大津赤十字志賀病院			
		堅田病院			
		滋賀医科大学医学部附属病院	○		
		滋賀里病院			
		地域医療機能推進機構滋賀病院			
		瀬田川病院			
		ひかり病院			
		琵琶湖病院			
		琵琶湖大橋病院			
		琵琶湖中央病院			
		琵琶湖養育院病院			
		山田整形外科病院			
	大津FC				
	桂川レディースクリニック				
	湖南	近江草津徳洲会病院			
		淡海医療センター		○	
		淡海ふれあい病院			
		滋賀県立精神医療センター			
		びわこ学園医療福祉センター草津			
		南草津野村病院			
		南草津病院			
		滋賀県立小児保健医療センター			
		滋賀県立総合病院	○	○	
		済生会守山市民病院			
		済生会滋賀県病院			
		湖南病院			
		びわこ学園医療福祉センター野洲			
市立野洲病院					
こびらい生協診療所					
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院			6
		公立甲賀病院		○	
		甲南病院			
		国立病院機構紫香楽病院			
		水口病院			
		生田病院			
		甲西リハビリ病院			
		あらかま内科クリニック			
		湖南市立石部診療所			
		医療生協こうせい駅前診療所			
	東近江	ヴォーリス記念病院			
		近江八幡市立総合医療センター		○	
		滋賀八幡病院			
		青葉病院			
		近江温泉病院			
		神崎中央病院			
		国立病院機構東近江総合医療センター		○	
		湖東記念病院			
		東近江敬愛病院			
		東近江市立能登川病院			
		日野記念病院			
		童王町国民健康保険診療所			
		湖東診療所			
		永源寺診療所			
		東近江市立蒲生医療センター			
	弓削IMC				
	湖東	彦根市立病院			
		彦根中央病院			
		友仁山崎病院			
		徳田医院			
豊郷病院					
湖北	市立長浜病院		○		
	セフィロト病院				
	長浜赤十字病院		○		
	長浜市立湖北病院				
	中之郷診療所				
	にしあざい診療所				
湖西	ケアセンターいぶき				
	近江診療所				
	浅井東診療所				
	今津病院				
県外	高島市民病院		○	9	
	朽木診療所				
	マキノ病院				
	京都府	4	5		
	大阪府		2		
	兵庫県	2	1		
	愛知県		1		
	北海道				
沖縄県					
鹿児島県					
	県外計	6	9		
	A群計	3	2		
	B群計		6		
	合計(A群+B群+県外)	9	17		

麻酔科

圏域	連携施設 基幹施設	A群						B群	連携病院数
		大津			湖南			東近江	
		市立大津市民病院	大津赤十字病院	滋賀医科大学医学部附属病院	淡海医療センター	滋賀県立総合病院	済生会滋賀県病院	近江八幡市立総合医療センター	
	R6定員数	2	3	15	4	2	5	5	
	研修期間(月数)	48	48	48	48	48	48	48	
	研修期間のうち、県外期間(月数)	0	0	0	0	0	0	0	
A群	打出病院								
	市立大津市民病院		○	○					
	大津赤十字病院	○				○			
	大津赤十字志賀病院								
	登田病院								
	滋賀医科大学医学部附属病院				○				
	滋賀県病院								
	地域医療機能推進機構滋賀病院			○					
	瀬田川病院								
	ひかり病院								
	琵琶湖病院								
	琵琶湖大橋病院								
	琵琶湖中央病院								
	琵琶湖養育院病院								
	山田整形外科病院								
	大津FC								
	桂川レディースクリニック								
	近江草津徳洲会病院			○					
	淡海医療センター			○					
	淡海ふれあい病院					○	○		
滋賀県立精神医療センター									
びわこ学園医療福祉センター草津									
南草津野村病院									
南草津病院									
滋賀県立小原保健医療センター			○						
滋賀県立総合病院	○	○							
済生会守山市民病院									
済生会滋賀県病院						○			
湖南病院									
びわこ学園医療福祉センター野洲									
市立野洲病院									
こひらい生協診療所									
B群	甲賀市立信楽中央病院			○					
	公立甲賀病院			○					
	甲南病院								
	国立病院機構紫香楽病院								
	水口病院								
	生田病院								
	甲西リハビリ病院								
	あらまき内科クリニック								
	湖南市立石部診療所								
	医療生協こうせい駅前診療所								
	ウォーリス記念病院								
	近江八幡市立総合医療センター					○			
	滋賀八幡病院								
	青葉病院								
	近江温泉病院								
	神崎中央病院								
	国立病院機構東近江総合医療センター			○					
	湖東記念病院			○					
	東近江敬愛病院								
	東近江市立能登川病院								
日野記念病院			○						
滝川市民健康保険診療所									
湖東診療所									
永源寺診療所									
東近江市立蒲生医療センター									
昌削IMC									
湖東	彦根市立病院			○					
	彦根中央病院								
	友仁山崎病院								
	徳田医院								
	豊郷病院								
	市立長浜病院			○					
	セフィロト病院								
	長浜赤十字病院			○					
	長浜市立湖北病院								
	中之郷診療所								
湖北	にしあざい診療所								
	ケアセンターいぶき								
	近江診療所								
	津井診療所								
	今津病院								
湖西	高島市民病院			○					
	朽木診療所								
	マキノ病院								
県外	京都府		5	6	1		5	5	
	大阪府			1	6		1	2	
	和歌山県				1				
	石川県				1				
	神奈川県								
	北海道								
	沖縄県								
	鹿児島県								
	東京都		1						
	県外計		6	7	9		6	7	
A群計		2	2	6	1	2	1	2	
B群計				8			2	1	
合計(A群+B群+県外)		8	9	23	1	2	9	10	

令和7年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

病理

圏域		A群		連携病院数
		大津		
		基幹施設	滋賀医科大学医学部附属病院	
		連携施設		
		R6定員数	2	
		研修期間(月数)	36	
		研修期間のうち、県外期間(月数)	6	
A群	大津	打出病院		5
		市立大津市民病院	○	
		大津赤十字病院		
		大津赤十字志賀病院		
		堅田病院		
		滋賀医科大学医学部附属病院		
		滋賀里病院		
		地域医療機能推進機構滋賀病院	○	
		瀬田川病院		
		ひかり病院		
		琵琶湖病院		
		琵琶湖大橋病院		
		琵琶湖中央病院		
		琵琶湖養育院病院		
		山田整形外科病院		
	大津FC			
	桂川レディースクリニック			
	湖南	近江草津徳洲会病院		
		淡海医療センター	○	
		淡海ふれあい病院		
		滋賀県立精神医療センター		
		ひわこ学園医療福祉センター草津		
		南草津野村病院		
		南草津病院		
		滋賀県立小児保健医療センター		
		滋賀県立総合病院	○	
		済生会守山市民病院		
済生会滋賀県病院		○		
湖南病院				
ひわこ学園医療福祉センター野洲				
市立野洲病院				
こひらい生協診療所				
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院		6
		公立甲賀病院	○	
		甲南病院		
		国立病院機構紫香薬病院		
		水口病院		
		生田病院		
		甲西リハビリ病院		
		あらまき内科クリニック		
		湖南市立石部診療所		
		医療生協こうせい駅前診療所		
		東近江	ウォーリス記念病院	
	近江八幡市立総合医療センター		○	
	滋賀八幡病院			
	青葉病院			
	近江温泉病院			
	神崎中央病院			
	国立病院機構東近江総合医療センター		○	
	湖東記念病院			
	東近江敬愛病院			
	東近江市立能登川病院			
	日野記念病院		○	
	竜王町国民健康保険診療所			
	湖東診療所			
	永源寺診療所			
	東近江市立蒲生医療センター			
	弓削MC			
	湖東	彦根市立病院	○	
		彦根中央病院		
		友仁山崎病院		
		徳田医院		
	湖北	市立長浜病院		
		セフィロト病院		
		長浜赤十字病院	○	
長浜市立湖北病院				
中之郷診療所				
にしあざい診療所				
ケアセンターいぶき				
近江診療所				
浅井東診療所				
今津病院				
湖西	高島市民病院			
	朽木診療所			
	マキノ病院			
県外	大阪府	3		
	兵庫県	1		
	京都府	1		
	神奈川県			
	北海道			
	沖縄県			
	鹿児島県			
	東京都	3		
	県外計	8		
	A群計	5		
B群計	6			
合計(A群+B群+県外)	19			

令和7年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

救急科

圏域	A群			連携 病院 数		
	連携施設 基幹施設	大津			湖南	
		大津赤十字病院	滋賀医科大学医学部附属病院		済生会滋賀県病院	
	R6定員数	4	10	5		
	研修期間(月数)	36	36	36		
	研修期間のうち、県外期間(月数)	0	3	0		
A群	大津	打出病院				
		市立大津市民病院			○	
		大津赤十字病院				
		大津赤十字志賀病院				
		堅田病院				
		滋賀医科大学医学部附属病院			○	
		滋賀里病院				
		地域医療機能推進機構滋賀病院				
		瀬田川病院				
		ひかり病院				
		琵琶湖病院				
		琵琶湖大橋病院				
		琵琶湖中央病院				
		琵琶湖養育院病院				
		山田整形外科病院				
		大津FC				
	桂川レディースクリニック					
	湖南	近江草津徳洲会病院				
		淡海医療センター				
		淡海ふれあい病院				
		滋賀県立精神医療センター				
		びわこ学園医療福祉センター草津				
		南草津野村病院				
		南草津病院				
		滋賀県立小児保健医療センター				
		滋賀県立総合病院				
		済生会守山市民病院				
		済生会滋賀県病院		○		
		湖南病院				
		びわこ学園医療福祉センター野洲				
		市立野洲病院				
		こひらい生協診療所				
B群		甲賀	甲賀市立信楽中央病院			
	公立甲賀病院			○		
	甲南病院					
	国立病院機構紫香薬病院					
	水口病院					
	生田病院					
	甲西リハビリ病院					
	あらまき内科クリニック					
	湖南市立石部診療所					
	医療生協こうせい駅前診療所					
	東近江		ウォーリス記念病院			
			近江八幡市立総合医療センター			○
		滋賀八幡病院				
		青葉病院				
		近江温泉病院				
		神崎中央病院				
		国立病院機構東近江総合医療センター		○		
		湖東記念病院				
		東近江敬愛病院				
		東近江市立能登川病院				
		日野記念病院				
		竜王町国民健康保険診療所				
		湖東診療所				
		永源寺診療所				
	東近江市立蒲生医療センター					
	弓削MC					
	湖東	彦根市立病院				
		彦根中央病院				
		友仁山崎病院				
		徳田医院				
		豊郷病院				
		湖北	市立長浜病院			
セフィロト病院						
長浜赤十字病院			○	○		
長浜市立湖北病院						
中之郷診療所						
にしあざい診療所						
ケアセンターいぶき						
近江診療所						
浅井東診療所						
今津病院						
湖西		高島市民病院				
	朽木診療所					
	マキノ病院					
	京都府	2	5	1		
県外	兵庫県			1		
	三重県					
	愛知県	1				
	福岡県		1	1		
	神奈川県					
	北海道					
	沖縄県		2			
	鹿児島県					
	県外計	3	8	3		
	A群計		1	2		
	B群計	1	3	1		
	合計(A群+B群+県外)	4	12	6		

形成外科

圏域		A群		連携病院数
		大津		
		基幹施設	滋賀医科大学医学部附属病院	
		連携施設		
		R6定員数	3	
		研修期間(月数)	48	
		研修期間のうち、県外期間(月数)	0	
A群	大津	打出病院		2
		市立大津市民病院		
		大津赤十字病院		
		大津赤十字志賀病院		
		堅田病院		
		滋賀医科大学医学部附属病院		
		滋賀里病院		
		地域医療機能推進機構滋賀病院	○	
		瀬田川病院		
		ひかり病院		
		琵琶湖病院		
		琵琶湖大橋病院		
		琵琶湖中央病院		
		琵琶湖養育院病院		
	山田整形外科病院			
	大津FC			
	桂川レディースクリニック			
	湖南	近江草津徳洲会病院		
		淡海医療センター		
		淡海ふれあい病院		
		滋賀県立精神医療センター		
		びわこ学園医療福祉センター草津		
		南草津野村病院		
		南草津病院		
		滋賀県立小児保健医療センター		
		滋賀県立総合病院	○	
済生会守山市民病院				
済生会滋賀県病院				
湖南病院				
びわこ学園医療福祉センター野洲				
市立野洲病院				
こひらい生協診療所				
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院		4
		公立甲賀病院		
		甲南病院		
		国立病院機構紫香楽病院		
		水口病院		
		生田病院		
		甲西リハビリ病院		
		あらまき内科クリニック		
		湖南市立石部診療所		
		医療生協こうせい駅前診療所		
	東近江	ワオーリス記念病院		
		近江八幡市立総合医療センター		
		滋賀八幡病院		
		青葉病院		
		近江温泉病院		
		神崎中央病院		
		国立病院機構東近江総合医療センター	○	
		湖東記念病院		
		東近江敬愛病院		
		東近江市立能登川病院	○	
		日野記念病院		
		竜王町国民健康保険診療所		
	湖東診療所			
	永源寺診療所			
	東近江市立蒲生医療センター			
	弓削MC			
湖東	彦根市立病院			
	彦根中央病院			
	友仁山崎病院			
	徳田医院			
	豊郷病院			
湖北	市立長浜病院	○		
	セフィロト病院			
	長浜赤十字病院	○		
	長浜市立湖北病院			
	中之郷診療所			
	にしあざい診療所			
	ケアセンターいぶき			
近江診療所				
浅井東診療所				
湖西	今津病院			
	高島市民病院			
	朽木診療所			
県外	マキノ病院			
	京都府	1		
	大阪府	1		
	北海道			
	沖縄県			
		鹿児島県		
		県外計	2	
		A群計	2	
		B群計	4	
		合計(A群+B群+県外)	8	

リハビリテーション科

圏域		A群		連携 病院数	
		大津			
		基幹施設	滋賀医科大学医学部附属病院		
		連携施設			
		R6定員数	2		
		研修期間(月数)	36		
		研修期間のうち、県外期間(月数)	0		
A群	大津	打出病院		3	
		市立大津市民病院			
		大津赤十字病院			
		大津赤十字志賀病院			
		堅田病院			
		滋賀医科大学医学部附属病院			
		滋賀里病院			
		地域医療機能推進機構滋賀病院			
		瀬田川病院			
		ひかり病院			
		琵琶湖病院			
		琵琶湖大橋病院			
		琵琶湖中央病院			
		琵琶湖養育院病院			
	山田整形外科病院				
	大津FC				
	桂川レディースクリニック				
	湖南	近江草津徳洲会病院			
		淡海医療センター			
		淡海ふれあい病院			
		滋賀県立精神医療センター			
		びわこ学園医療福祉センター草津			
		南草津野村病院			
		南草津病院			
		滋賀県立小児保健医療センター	○		
		滋賀県立総合病院	○		
		済生会守山市民病院	○		
済生会滋賀県病院					
湖南病院					
びわこ学園医療福祉センター野洲					
市立野洲病院					
こひらい生協診療所					
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院		2	
		公立甲賀病院	○		
		甲南病院			
		国立病院機構紫香楽病院			
		水口病院			
		生田病院			
		甲西リハビリ病院			
		あらまき内科クリニック			
		湖南市立石部診療所			
		医療生協こうせい駅前診療所			
		東近江	ワオーリス記念病院		○
			近江八幡市立総合医療センター		
			滋賀八幡病院		
	青葉病院				
	近江温泉病院				
	神崎中央病院				
	国立病院機構東近江総合医療センター				
	湖東記念病院				
	東近江敬愛病院				
	東近江市立能登川病院				
	日野記念病院				
	竜王町国民健康保険診療所				
	湖東診療所				
	永源寺診療所				
	東近江市立蒲生医療センター				
	弓削MC				
	湖東	彦根市立病院			
彦根中央病院					
友仁山崎病院					
徳田医院					
豊郷病院					
湖北	市立長浜病院				
	セフィロト病院				
	長浜赤十字病院				
	長浜市立湖北病院				
	中之郷診療所				
	にしあざい診療所				
	ケアセンターいぶき				
湖西	近江診療所				
	浅井東診療所				
	今津病院				
	高島市民病院				
県外	朽木診療所				
	マキノ病院				
	京都府				
	北海道				
	沖縄県				
		鹿児島県		1	
		県外計		1	
		A群計		3	
		B群計		2	
		合計(A群+B群+県外)		6	

総合診療科

圏域	連携施設	A群					B群				連携病院数
		大津					東近江	湖北		湖西	
		大津赤十字病院	滋賀医科大学医学部附属病院	地域医療機能推進機構滋賀病院	大津FC	弓削MC	浅井東診療所	にしあざい診療所	高島市民病院		
	R6定員数	6	5	2	2	8	5	2	2		
	研修期間(月数)	36	36	48	48	36	36	48	36		
	研修期間のうち、県外期間(月数)	0	0	0	24	0	24	0	0		
A群	打出病院										
	市立大津市民病院										
	大津赤十字病院										
	大津赤十字志賀病院	○				○				○	
	聖田病院										
	滋賀医科大学医学部附属病院	○		○							
	滋賀星病院										
	地域医療機能推進機構滋賀病院		○								
	瀬田川病院										
	ひかり病院										
	琵琶湖病院										
	琵琶湖大徳病院										
	琵琶湖中央病院										
	琵琶湖養育院病院										
	山田整形外科病院										
	大津FC										
	緑川レディースクリニック										
	ヒースホームケアクリニック	○									
	近江草津徳洲会病院										
	淡海医療センター										
淡海ふれあい病院											
滋賀県立精神医療センター											
びわこ学園医療福祉センター草津											
南草津野村病院											
南草津病院											
滋賀県立小児保健医療センター											
滋賀県立総合病院											
済生会守山市民病院											
済生会滋賀県病院						○					
湖南病院											
びわこ学園医療福祉センター野洲											
市立野洲病院											
こびらい生協診療所											
B群	甲賀市立信楽中央病院					○					
	公立甲賀病院		○			○					
	甲南病院					○					
	国立病院機構紫香楽病院					○					
	水口病院					○					
	生田病院					○					
	甲西リハビリ病院					○					
	あらかま内科クリニック					○					
	湖南市立石部診療所					○					
	医療生協こうせい駅前診療所					○					
	ウォーリス記念病院					○					
	近江八幡市立総合医療センター					○					
	滋賀八幡病院					○					
	香葉病院					○					
	近江温泉病院					○					
	神崎中央病院					○					
	国立病院機構東近江総合医療センター		○			○					
	湖東記念病院					○					
	東近江敬愛病院					○					
	東近江市立能登川病院					○					
日野記念病院					○						
電王町国民健康保険診療所					○						
湖東診療所					○						
永源寺診療所					○						
東近江市立瑞生医療センター					○						
弓削MC	○	○	○								
湖東	彦根市立病院					○					
	彦根中央病院					○					
	友仁山崎病院					○					
	徳田医院					○					
	豊郷病院					○					
湖北	市立長浜病院					○		○			
	セフィロト病院					○		○			
	長浜赤十字病院	○	○			○	○	○			
	長浜市立湖北病院					○		○			
	中之郷診療所					○		○			
	にしあざい診療所					○		○			
湖西	ケアセンターいふき					○		○			
	近江診療所					○		○			
	浅井東診療所	○	○	○							
	今津病院										
県外	高島市民病院									○	
	朽木診療所										
	マキノ病院										
	京都府				2	1		1			
	大阪府							1			
	兵庫県	1									
	奈良県										
	和歌山県										
	三重県										
	愛知県										
	福井県										
	静岡県										
	石川県										
	岐阜県	6									
	岡山県										
福岡県											
神奈川県											
北海道	2		1								
沖縄県	1										
鹿児島県											
東京都											
	県外計	10	1		2	1		2			
	A群計	3		1		2				1	
	B群計	3	5	2		19	1	5		1	
	合計(A群+B群+県外)	16	7	3	2	22	3	5		2	